

1. 景気の現状に対する判断理由等

景気の現状に対する判断の理由及びそれに対する追加説明等について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北海道)		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・3月でまん延防止等重点措置が全国的に解除されたことに加えて、春らしい陽気となったことで前年の2倍ほどの人出がみられ、売上もコロナ禍前の50%を上回る日がみられるところまでばん回している。4月の売上は前年比で261%、前々年比で441%、2019年比で25.3%となっている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が解除されたことで徐々に人出が増え、回復基調に入ってきた。ただし、新規感染者数が高止まりしていることもあって、満足な購買状況にはなく、回復までには相当な時間が掛かりそうだ。そのようななか、経済回復を早期に実現しなければならぬことから、感染症対策を万全にした上で4月28日からイベントを開催することになった。行政に頼るだけではなく、民間側がイベントを安全に実施する見本をみせていくことで、消費者の閉ざされた気持ちを明るくしていきたい。これからもそのようなイベントを多数実施していきたい。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・りんごの出荷が増え始めた。気温上昇に伴って当社商材の出荷も増えている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・少しずつコロナ禍前の売上に近づいているが、まだまだ予断を許さない状況にある。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・前月、前々月は週によって来客数の増えた週もみられたが、新型コロナウイルスの影響を受けていた。4月は新規感染者数が増えても、来客数にそれほど影響がみられなくなっており、前月や前々月と比べて来客数が安定している。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・気温の上昇とともに、駅周辺の来街者、店舗の来客数が増加している。それに伴って買上客数、売上も増加傾向にある。
		スーパー（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染状況による良さあしがみられる。3か月前はまん延防止等重点措置の適用で客足が大きく落ち込んだが、4月はまん延防止等重点措置が解除され、小康状態にあるため、景気がやや良くなっている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・1月末～3月中旬までまん延防止等重点措置が適用されていたことを踏まえても、4月の客の消費金額は確実に増えてきている。コロナ禍前ほどではないが、衣料品の売上も上向きになっており、今後の政府の施策次第で一層の伸長も期待できる。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・客の購買の様子や行動している時間帯から、景気はやや持ち直している。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・売上、客単価共に、前年、前々年を超えて推移しているため、景気は良くなってきている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除されたことで人の動きが若干回復している。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・購入金額が大きいわけではないが、来客数が前年比118%となるなど、客が戻ってきており、客単価の落ち込みをカバーしている。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・僅かではあるが、予約客などが増加しつつある。ただ、コロナ禍前の水準にはまだまだ及ばない。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・週末の来客数が増加傾向にある。特に桜が開花した週末の23～24日はゴールデンウィーク並みの来客数がみられた。新型コロナウイルスの新規感染者数は高止まりしているが、感染症対策を万全にしていることもあって、客も店も現状に慣れ始めてきている。
	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除された後、航空機利用が増加している。特に春休みは家族連れや若い世代の動きが目立った。4月は年間でもビジネス客の動きが鈍る時期の1つであるため、大きな伸びはみられないが、新聞に旅行広告が復活したこともあり、観光需要の取り込みがようやく本格的になり始めている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者が高止まり状態にあるが、人流抑制策などが行われていないことから、少しずつ問合せが増えてきている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・県民割などにより近場の観光需要については徐々に復調傾向にある。一方、遠方への観光需要については、幾分上向きではあるものの、いまだに低調である。特に都市部への観光需要については回復するような動きがみられない。
		タクシー運転手	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が解除され、人流が戻り始めていたが、当地において過去最大の新規感染者数を記録するなど、感染状況の高止まりが続いているため、現在は人流がストップしている。3か月前に比べると景気はやや良くなっているが、景気回復の実感をつかめない状態となっている。
		観光名所（従業員）	来客数の動き	・利用客が前年の160%程度まで増えている。接客していても、3か月前は客がかしこまって過ごしていたが、現在は笑顔で過ごす様子もみられるなど、のびのびと楽しんでいる。もちろん感染症対策を取った上だが、出掛けやすい環境になっていると捉えている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・気温の上昇とともに外出の動きが活発化しており、来客数も増加傾向になっている。それに伴い売上も増加している。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	来客数の動き	・コロナ禍ではあるが、旅行の機運が高まっている。予約件数も前年と比較してかなり増加している。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況がなかなか収束しないにもかかわらず、当地においてはかなりの観光客が押し寄せてきている。これからゴールデンウィークを迎えて、ホテル、旅館、飲食店では相当な混雑が見込まれるなど、観光関連業界の景気はやや上向きとなっている。
		商店街（代表者）	単価の動き	・買上単価の2極化が進んでいる。生活必需品の単価が低下している一方で、趣味やし好品などの選択的分野では商材の単価が上昇している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・人流抑制策などの規制は解除されたが、当区域においては昼夜共に客足が依然として遠のいたままである。特に昼間は、期待していた旅行客の増加もほとんどみられない。地元客による乗合バスや駐車場の利用なども減少したままであり、物販店、飲食店、宿泊業にとって厳しい状況が続いている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	お客様の様子	・年末年始や年度末は人の移動が活発であり、卒業旅行などの動きもみられたが、4月は客の動きが緩慢になっている。団体での旅行もみられず、どうしても一服感が漂っている。道民割や県民割などを利用した近隣への旅行は活発に動いているが、飛行機を利用して移動するような旅行は余り動きがみられない。
		百貨店（マネージャー）	来客数の動き	・来客数の動きをみると、1月は前年比93%、2月は前年比89%、3月は前年比92%、4月が30日現在で前年比92%となっており、3か月前と変わらずに推移している。ただし、買上客数の動きをみると、1月は前年比103%、2月が前年比96%、3月が前年比97%、4月が30日現在で前年比107%と上向き傾向になりつつあるため、回復傾向と考えることもできる。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・経済活動が活発化しているため、景気は上向きに見えるが、商品価格の高騰などにより、客の買上点数が減少している。節約志向が強まっているため、景気はさほど変わっていない。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・4月に入りメーカーの小物商材、部品が値上がりしていることで、レジ周り商材の買い控えにつながっている。また、当地の新型コロナウイルス新規感染者数が多いことが影響しているのが、客足が鈍っている。
		自動車備品販売店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染対策が徐々に緩和されてきているが、売上は3か月前と同じような実績となっており、変化はみられない。むしろ若干悪くなっている雰囲気もうかがえる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（経営者）	販売量の動き	・石油製品価格が高止まりしていることで販売量が減少している。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・売上は前年並みであり、3年前の60%ほどにとどまっている。昼は例年を超えそうになっているが、夜の客が少ない。知り合いの低価格洋食店は客足が良く活況のようだが、高級店は客足が戻ってこない。また、あるホテルでは宿泊客が戻っていることで、人手の足りなかった調理スタッフの募集を始めたようだ。飲食業界全体的には客が増えつつあるが、症状の出にくい20～30歳代の客への接客について正直なところ心配な面もある。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除され、平常を取り戻しているが、客足は伸び悩んでいる。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が余り変わらないことに加えて、ウクライナ情勢によって随所に影響が出ており、景気が上向いてこない。行政の指針も期待できるものが何もない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・例年4月になり、暖かくなってくると雪のあった時期と比べてタクシーの利用客が大きく減少することになる。今年は緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除されているため、タクシー1台当たりの売上は前年から約15%ほどのプラスとなったが、乗務員不足でタクシーの稼働が15%ほどのマイナスとなったため、会社の売上は前年並みであった。コロナ禍前との比較では30%のマイナスであり、なかなか以前の状況に戻ってこない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・3月21日にまん延防止等重点措置が解除されたが、いまだに動きらしい動きがみられず、苦労している。この先も今のような状況が続くとみられるため、客の動きを注視していきたい。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・2～3月と比べれば売上は良くなっているが、前年の数字をクリアできていない。
		美容室（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルス新規感染者数が増えて、まん延防止等重点措置が再び適用されることになれば、売上は減少することになる。また、最低賃金の引上げに伴って全体的な値上げも見込まれる。ロシアのウクライナ侵攻が長引くことで値上げが一層進むことも懸念される。これらのことから客足にかなりの影響が出てくることを懸念している。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・分譲マンションのモデルルームを来訪する最近の客は、その多くが金に余裕のある客であり、分譲マンションの先高観の影響もあって、気に入った物件さえあれば、購入に至るまでの判断が早い。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・客の反応をみると、景気が悪いような雰囲気話していることが多い。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・販売価格の上昇に伴って、客単価が上昇している。その一方で、来客数は明らかに減少傾向にあることから、客の買物頻度が低下していることがうかがえる。
		スーパー（役員）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置の解除後、週末を中心に飲食店などの駐車場が混雑している。それに伴ってスーパーマーケットにおける内食需要での買物が減少している。
		スーパー（従業員）	来客数の動き	・前年と比べて、来客数が減少している。食料品の値上げに伴って買い控え傾向が強まっている。客単価は同水準にあるものの、来店頻度の低下、買上点数の減少がみられており、今後もこうした傾向が継続することになる。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・月を追うごとに新車の供給状況が悪くなっており、長納期が常態化している。このため、新車は売上が立たず、中古車は在庫の必要量を確保できず、収益確保が厳しい状況となっている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響によって海外でロックダウンが生じていることで、部品が計画どおりに入っていないため、納品遅れが生じている。1～2月と比べると4月の売上は奮わず、景気は余り良くなかった。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・3か月前と比べて景気はやや悪くなっている。例年の同時期と比べても悪くなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 [造花] (店 長)	お客様の様子	・職種的に新規感染者数の増減による影響を受ける傾向がある。現在は必要なものだけを最低限購入する状況となっており、売上は1割程度落ち込んでいる。
		タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者について、1度は減少傾向にあったものの、再び増加傾向がみられることから、予約キャンセルが生じている。客の話を聞くと、外出や旅行、出張なども控えているとのことである。
		通信会社 (企画 担当)	単価の動き	・通信端末の販売において、本来は2万円の割引が上限であるが、旧端末は適用外のため、2～3年前の端末と通信契約をセットにした商材の価格競争が激しくなっている。販売量は多いものの、流出数がそれを上回っており、販促支援費も掛かるため、体力競争になっている。特に都市圏を中心とした量販店、大型ショッピングモールにおける出張販売でそうした動きが顕著になっている。
	x	百貨店 (営業販 促担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、年配客だけでなくファミリー層の来店も減ってきた。来客数が落ち込んでいることでウエイトの大きい食品の売上が低迷している。
	x	タクシー運転手	販売量の動き	・当地において新型コロナウイルス新規感染者が連日過去最高を更新し続けていることから、夜間の人出が皆無に近い状況となっている。また、本州からの観光客が訪れているものの、タクシー利用にはつながない。
企業 動向 関連 (北海道)		輸送業 (営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・本州向けの生乳は微減傾向で推移しているものの、バター、粉乳の在庫量は依然として多い。また、飲料容器関連の荷動きも出始めている。本州における雑貨のトレーラー輸送も伸びている。これらのことから、景気はやや良くなっている。
		通信業 (営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスにウクライナ情勢と不確定要素は多いが、3か月前と比較すると、新型コロナウイルスからの回復需要や出口戦略に焦点を当てた新たな先行投資による案件など、案件数が増加している。
		司法書士	取引先の様子	・新型コロナウイルスやロシアのウクライナ侵攻の影響による物価上昇、流通遅延が景気に大きく影響しているものの、春季に入ってから例年どおりに小型の戸建て住宅の販売が堅調に推移している。また、まん延防止等重点措置の解除により、観光バスやホテル業の業績もやや回復していることもプラスである。
		その他サービ ス業 [建設機械レ ンタル] (総務 担当)	受注量や販売量 の動き	・4月の売上は前年を若干下回っているが、グループ会社の状況やその他市況など、外部環境は決して悪くないことから、全体的には回復傾向にある。
		食料品製造業 (従業員)	受注量や販売量 の動き	・売上が3か月前と変わっていない。
		食料品製造業 (従業員)	受注量や販売量 の動き	・4月の販売量は前年比マイナス17%だったが、3か月前の販売量は前年比マイナス21%だったため、景気は変わっていない。
		建設業 (従業 員)	受注量や販売量 の動き	・官民共に案件数が少ない。特に民間の動きが悪い。
		建設業 (役員)	受注量や販売量 の動き	・新年度がスタートしたなか、現時点での受注状況は官民共に順調であり、前年度後半から続く良好な業績を変わらずに維持できている。
		金融業 (従業 員)	取引先の様子	・まん延防止等重点措置の解除に伴うマインドの改善は感じられるが、エネルギー価格を中心とした物価上昇が個人消費のおもしとなっている。住宅投資にも減速がみられる。これらのことから、道内景気はコロナ禍の影響が大きかった3か月前と比べて変わらない。
		司法書士	取引先の様子	・ロシアのウクライナ侵略や新型コロナウイルスの影響により、あらゆる物の価格が上昇しており、生活しづらい環境になっている。不動産に対する投資や住宅取得の動きも落ち込んでおり、景気回復が遅れている。
		その他サービ ス業 [ソフトウェ ア開発] (経営 者)	受注量や販売量 の動き	・受注量などに具体的な影響が出てきているわけではないが、先行き不安の話を随分と聞くようになってきた。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	その他非製造業 [鋼材卸売] (従業員)	受注量や販売量 の動き	・3月と比べても状況はほとんど変わっていない。
		家具製造業(経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・ウクライナ情勢の影響によって、景気はやや悪くなっている。
		輸送業(支店 長)	それ以外	・道内における輸送量は伸びているが、当社の場合、売上面でトラック輸送、船輸送のウエイトが高いことから、燃料価格の上昇が利益減少の要因となりつつある。
雇用 関連 (北海道)	-	-	-	-
		求人情報誌製作 会社(編集者)	雇用形態の様子	・道内の新型コロナウイルス新規感染者数が思ったほど減ってこない状況にあるが、採用活動は活発化している。正社員の求人数は増加傾向にあり、中途だけでなく、新卒採用も徐々に増えている。また、新型コロナウイルスの影響を直接受けている飲食業界や宿泊業界からの求人数も増加傾向にある。ただ、求職者の動きが弱く、採用に至らないケースが増えている。
		求人情報誌製作 会社(編集者)	求人数の動き	・3か月前と比較すると、全業種で同等又は同等以上の求人募集が行われている。観光客の減少や消費マインドの低下で影響を受けている飲食業、宿泊業、小売業などでも微増となっている。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・当地における3月の有効求人倍率は0.91倍であり、3か月前との比較では0.02ポイント上回った。
		学校[大学] (就職担当)	求人数の動き	・2023年新卒者の採用に向けて、各企業や人材会社などの動きが活発になっている。飲食業の採用意欲は低調だが、それ以外のどの業界も新卒採用への意欲が高まっている。
		人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・業界によるばらつきはあるものの、求人意欲は変わらず旺盛である。販売系の求人数が現状維持で推移しているほか、営業職の求人ニーズはどの業界でも強くなっている。ただし、人材側のスキルが求人ニーズを満たしておらず、なかなか採用に至らないケースが多い。今後、求職者と求人数のギャップが広がっていくことを心配している。
		求人情報誌製作 会社(編集者)	求人数の動き	・まん延防止等重点措置の解除直後こそ、求人数に若干の伸びがみられたものの、新規感染者数の急激な増加による自粛心理もあってか、いまだに求人数が足踏み状態で推移している。
		求人情報誌製作 会社(編集者)	求人数の動き	・例年どおりではあるが、一次産業、建設業などで春の求人数増加の動きがみられた。警備・清掃業も好調である。一方、飲食業界からの申込は低調である。新型コロナウイルスの影響で明暗が分かれている。
		職業安定所(職員)	求職者数の動き	・3月の新規求職者数は前年から0.6%の減少、新規求人数は前年から0.7%の増加となっており、これまでと状況が余り変わっていない。
		職業安定所(職員)	それ以外	・日常生活に必要な様々な商材や光熱費が値上がりしていることがマイナス要因となっている。
	x	-	-	-

2. 東北(地域別調査機関:公益財団法人東北活性化研究センター)

(-:回答が存在しない、*:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東北)		衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・県内の新型コロナウイルス新規感染者数は高止まりしているが、地元客が多くみられ、買上客数は前年よりもアップしている。
		衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で前年まで全く動いていなかった出張や会社の行事等が4月から動いてきている。また、入学式といった行事も開催されるなど、スーツのニーズが戻ってきている。結婚式等のニーズで礼服を準備する人も多くなってきている。
		一般小売店[医薬品] (経営者)	販売量の動き	・売上は前年比116.8%、来客数は100.5%になっており、良い状態である。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・来客数は前年と比べて改善している。新型コロナウイルス感染はいまだ収束していないものの、生活者が適応していることと、新しいシーズンの立ち上がりということもあり好調さがみられる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（経営者）	来客数の動き	・新規感染者数は変わらないが、来客数は確実に増えてきており、短時間のショッピングで目的買いが多くみられた。物産展期間の土日は県外からも多くの客が来店し、一時的に入場制限もかけるほどのにぎわいもみせた。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は高止まりしているものの、各種規制が緩やかになり、人の動きが活発化している。特に土日に顕著に表れている。商品でいえばたばこの動きが20%増加している。明らかに振りの客が売上に貢献している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・売上は前年を超えている。新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりの状況であるが、近隣のショッピングセンターも混雑しているようである。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・冬が終わり来客数も増えるかと思っただが、新型コロナウイルス発生前には到底及ばない。地獄の冬に比べれば売上は多少上がっているものの、経営を維持できるだけの数値ではない。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・販売量、単価は上向いており、来客数も前年並みに回復しつつある。結果、販売金額は新型コロナウイルス発生前までの水準に回復しつつある。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・暖かくなってきているため人の動きが良くなってきている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・天候要因ではやや回復基調ながら、新型コロナウイルスの感染収束がみえない状況は変わらないため、若干のアップトレンドの状況になっている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・4月以降、新型コロナウイルスに関する規制もなくなり、人の動きが活発化している。今後、観光・行楽等の人の動きも活発化することが予想され、少しずつ景気回復が見込めるのではないかと期待している。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・少しずつ暖かい日も増え、コロナ禍での行動規制も緩和されたため、気持ちも明るくなってきているようである。おしゃれをして外出したい気分も戻りつつある。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・前年まで余りみられなかった旅行用途の需要や、県外客からの需要がみられるようになってきている。
		住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・今月は来客数が多少多かったので売上にもつながっており、景気は上向きになっている。
		その他専門店 [白衣・ユニフォーム]（経営者）	販売量の動き	・少しずつではあるが飲食店や観光業からの注文が入り出した。新型コロナウイルスの新規感染者数などによる変動はあるが、大分人の流れが出てきている。特に県外からの観光客は南の方から人が動き出しているようである。ゴールデンウィーク後の新規感染者数によっては、かなり影響が出るとみているが、できればニュースでの新規感染者数の報告はもうやめてもらいたいと思っている。
		その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	来客数の動き	・不安要素はあるものの、感染状況が比較的落ち着いてきたため、客の来店頻度が高くなってきているように見受けられる。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・3か月前と比べて、来客数が140%増加している。5月の予約も4月と同等以上の数を確保している。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症対策のための会食の人数制限が緩和されたので、予約が幾らか入るようになってきている。しかし、大人数の宴会はまだまだない。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新規感染者数は下げ止まりが続いているが、慣れのせいにか気にしない人が増えてきている印象を受ける。県民割のエリア拡大の影響もあり、来客数は増加傾向にある。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・県民割に反応があり、平日も新型コロナウイルス発生前と同等の割合に戻っている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数が一定数で下げ止まっている状況にもかかわらず、県民割はゴールデンウィークに向けて大きな伸びを示しており、ゴールデンウィーク期間に絞れば7割以上も戻っている。世界情勢は不安定で物価上昇も続いているが、国内宿泊マーケットは底を脱した印象が強い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		タクシー運転手	来客数の動き	・当地域には3月16日に発生した地震の損害調査のために、全国から約3000人の保険会社社員が訪れ、滞在している。レンタカーは事故など有事の際の責任問題があるため、タクシーを退職・調査・買物・飲食などの移動の際に頻繁に利用しており特需となっている。飲食店もコロナ禍ではあるが、売上が増加していることは間違いない。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・旅行業者の募集团体はそれほど増えていないが、2～3人、多くても4～5人までの個人での予約の数が日々増えている。ゴールデンウィークも期待が持てる。
		遊園地（経営者）	来客数の動き	・屋外施設ということもあり、新型コロナウイルスに対する客の意識が変わり、来客数が増えている。新型コロナウイルス発生前には及ばないものの戻ってきてつつある。
		美容室（経営者）	単価の動き	・出掛けたり人と会う機会が増えたのか、カットだけではなくパーマやカラーをする客も出てきて、客単価が上がっている。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	販売量の動き	・出版社が新刊点数を抑制していることに加え、雑誌の休廃刊が続いているため、店頭販売は非常に厳しい状況が続いている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染者が多く出ており、まん延防止等重点措置の適用はなかったが、それでも客は感染を恐れて繁華街に出てこなくなっている。また、3月16日の地震の調査で保険会社が市内にたくさん入っており、タクシーを貸し切って調査場所へ行っているため、日中の予約が難しいと多くの客が話している。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・中旬に新型コロナウイルス発生以降中止が続いていた大規模な祭りの開催が発表されている。それ以降、飲食店や旅館関係の客先への販売量は徐々に増加傾向にあるが、前半がほとんど動かなかったことから、トータルでは横ばいとなっている。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・衣料品に対しての購買意欲が下がったままとなっている。気温上昇や桜の開花等、モチベーションの上がるタイミングでも改善はみられなかった。新型コロナウイルスの感染状況の高止まりが要因なのか、まだ外出には消極的である。
		百貨店（催事担当）	来客数の動き	・一部衣料品の動きが良くなっているが、新型コロナウイルスの影響で開催中止となった催事もあり、全体的に来客数が回復していない。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・食品はコストプッシュ値上げの影響で、平均1品単価が前年よりやや上がっている。そのためか買上点数の前年比の減少幅がやや拡大している。しかし、来客数は横ばいなので、消費の落ち込みはまだ現れず、全体として変わっていない。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・人の動きは出ているが、物価上昇に伴い財布のひもは固くなっている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が依然多いため入客が少なく、売上減少の要因になっている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・ウィズコロナになってから、前年まで買い控えをしていた客の買物意欲が少しずつ高まっているように感じられる。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・来客数及び買上点数が減少している。
		家電量販店（従業員）	販売量の動き	・高単価商品の販売量が3か月前と比べて劇的に増えているということはない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・タイヤの交換時期でもあり来店客は微増しているが、売上単価的に伸び悩んでいる。車両販売も配車遅れが解消されず、直近の売上が伸びない。
		乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・新車登録は前年比80%と、半導体不足を含む新車の生産遅延が収益にも大きく影を落としている状態である。幸い受注自体は前年とほぼ同水準で推移している。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・オーダーメイドなので物件の修正というものがあるが、量的に多くなっており、金額も上がってきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 [食品] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況は最悪というわけではないが、依然観光客は増加していない。前年よりは少しプラスになっていても、まだまだ安心できる状況には至っていない。ゴールデンウィーク控えもあるのかもしれないが、景気は良くない。
		その他専門店 [靴] (従業員)	販売量の動き	・前年の4月よりは来客数は増えているものの、新型コロナウイルス発生前の8割程度である。春の行事も再開されているが、外出に慎重な人は多いため、靴の需要はそれほど増えていない。
		その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	販売量の動き	・販売量が年々減少傾向にある。販売価格の高騰により、1回当たりの給油数量が少なくなっている。
		高級レストラン (経営者)	お客様の様子	・悪いなりには、新型コロナウイルスオミクロン株も少し収束し安定しているようにみられる。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてくるとともに、少しずつ客は戻ってきていた。しかし、最近ガソリン代等、もろもろの値上がりの影響が、買い控えや入店控えが出てきており、予断を許さない状況が続いている。
		観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・地震で設備など損壊したため4月も3週間ほど休業した。その影響もありゴールデンウィークの予約は他の施設に後れをとったかもしれない。
		観光型旅館 (経営者)	来客数の動き	・暖かくなり多少人の動きは増えてきている気もするが、大きな変化はない。
		旅行代理店 (従業員)	販売量の動き	・個人旅行は先行予約を中心に前月比でも増加傾向にある。また、一般団体も3月の取扱案件数ゼロから、4月は国内20~30人2泊3日の案件を3件取り扱うなど、先行きを含めて微増ではあるが回復の兆しが見られる。ただし、今後の新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況や物価指数の上昇が与える影響を見極めていく必要があり、油断できない状況であることに変わりはない。
		旅行代理店 (従業員)	販売量の動き	・県民割の延長で個人旅行は多少上向いている。一方で、4~5月実施予定であった修学旅行が延期や方面変更となっており、前年と同じように推移している。
		タクシー運転手	競争相手の様子	・タクシー会社は3月の震度6の地震による家屋調査及び損害調査でどこも非常に忙しく、タクシー業界は活況を呈している。タクシーが郊外に出払って街中でタクシーを捕まえられないほどである。しかし、厳しい状況にあることには変わりはない。
		通信会社 (経営者)	お客様の様子	・新年度に入り、新生活応援キャンペーンなど展開して加入促進を図ってきたが、新規加入者は伸びないままである。新型コロナウイルス新規感染者数がここ3か月高止まりのまま推移しているため、法人、個人客共に動きが鈍いままである。
		通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・ガソリン価格高騰など不安定な要素が多く、客の動きが鈍い。
		競艇場 (職員)	単価の動き	・来客数は若干増えているが、客単価が低いいため売上増加には結び付いていない。
		その他サービス [自動車整備業] (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症は子供を中心に感染が拡大傾向にあり、客足は全く伸びない。
		住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・価格が確定している建売住宅や売建住宅は動きがよいが、注文住宅だと完成予定が確定できない。
		その他住宅 [リフォーム] (従業員)	販売量の動き	・住宅設備機器はコンロ、給湯器の交換工事が増えている。リフォームは、エアコンを早めに交換する動きが鈍く、増改築工事は減っている。
		商店街 (代表者)	お客様の様子	・県内では新型コロナウイルス新規感染者数が減少していないことに加え、原材料や原油の価格高騰、円安による商品の値上げ等により、消費意欲が低下している。
		商店街 (代表者)	販売量の動き	・地震、新型コロナウイルス、円安といった要因があり、いつまでたっても景気が改善されない。
		一般小売店 [医薬品] (経営者)	単価の動き	・通常、年金給付月の後半は売上が改善するが、たまたまかもしれないが今月は著しく悪化している。
		スーパー (店長)	販売量の動き	・商品単価が上がる傾向と反比例して買上個数が減少している。結果、客単価は下落傾向になりつつある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	販売量の動き	・当店の近隣においても祭りなどの開催が決定しており、外出する機会が増えているため、スーパーへの足が遠のいている。新型コロナウイルスへの脅威が薄れているようである。
		スーパー（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数の高止まりから来客数の前年割れが続き、買上点数も前年から割り込んでいる。週末は特売、クーポンによる販売促進で売上確保はできているが、平日は買い控え、購入に慎重になっている。
		スーパー（営業担当）	お客様の様子	・値上げ、円安、光熱費の高騰と、新生活への支出により、内食需要は上がっているようだが、実際には買上点数の減少が大きくなっており、節約志向が強くなっていると考え。来店頻度も下がり、特売日への集中が顕著になって価格競争が強くなるのではないと不安である。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数が多すぎて、皆、今までよりも出歩くことに慎重になっているようにみえる。それにより来客数が減少しているとみている。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・ウクライナ情勢による原油高とそれに伴う原料高、人件費の高騰により物価が上がっており、一般消費者の財布のひもはがっちり固まっているという実感がある。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・白物家電、黒物家電共に買換え需要の購入単価は伸びている。しかし、買換え以外の商品を購入する客が減っている。来客数、買上点数共に減少している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・半導体不足の影響で新車の納期がかなり延びてきており、新車の購入を諦める人が増えてきている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・中国のロックダウンにより新車納期予定に長期的な遅れが発生しており、新車の売上見通しが立たない。それが影響し中古車の在庫もなく、新車中古車販売での収益見込みが減少していく見通しである。
		自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・業界的には繁忙期に入るはずだが、コロナ禍で乗用車、物流トラックも含む車の走行距離が少なくなっており、その影響で摩擦材ブレーキ関係の交換が大幅に減っている。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・地元の飲食店は、限界を超えかなりの数が廃業・閉店している。年明けから一般店頭関連も落ちてきており、非常に深刻な状況が続いている。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・上旬は新年度の始まりに伴う小規模な歓迎会や家族内での進学祝い、法事等の来店予約があった。中旬は依然新型コロナウイルス新規感染者数が減らないことに加え、近隣でクラスターが多発した影響か、閑散とした繁華街に戻った。下旬はゴールデンウィークも控えてか、県外からの観光客を昼の街中でテラス見掛けただけで、地元の人達ではないため一時的な人の流れで終わっている。コロナ禍でみえてきた課題はバブル期から変わりなく、当県に滞在する観光客が戻らないとエリアのサービス業は厳しい。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・目に見えて物価が高騰している。石油精製関連製品の洗剤、油等、生活必需品の値上げが徐々に店頭価格に反映されており、生活を圧迫している。医療関係備品にも影響があるため、今後医療費の値上げも考えられる。
		通信会社（営業担当）	単価の動き	・今年に入り物価の上昇が相次いでいる。政府が掲げる賃上げには及ばず、支出だけが增加している。今後、ますます景気は悪くなる方向へ推移するとみられる。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の設備投資意欲について、より消極的になっているような感じがある。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・前年の4月もかなり落ち込んだ数値であったが、今年も再来率は前年比約93%で、なかなか客が戻ってきておらず、来店サイクルが延び延びになっている状況は現在も続いている。
		設計事務所（経営者）	単価の動き	・ウクライナ情勢や新型コロナウイルスの影響で、4月に単価や納期の変更が提示されている。物価高、品薄状況を理由にした工期の見直しや、工事費高騰に伴う受注量の減少が予想される。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	来客数の動き	・4月に入ってから、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、客の動きが鈍化している。大型連休に関しても、現状が続くことを予想しているため、来場者数は少ない見込みである。
	×	一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・まだまだコロナ禍のなかで客の反応は鈍く、販売にはつなげていない。
	×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・客は原油や原材料の価格高騰による物価の上昇に敏感に反応しており、節約志向が顕著に表れている。
	×	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・当店は企業の上層部の客が多く、下の人たちに言っている手前、自分たちが新型コロナウイルスに感染するわけにはいかないということで来店を控えている。政府が幾ら大丈夫と言っても、企業内では決してそうではないということである。
企業動向関連 (東北)		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・人の動きが出てきたため、売上は前年比115%と回復している。しかし、新型コロナウイルス発生前との比較では80%である。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・各社新年度を迎え、予算取りで動いていた案件が正式発注となり、受注増加となってきている。
		建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・保育園で感染が広がっており、子供の自宅待機で仕事を休む人が増え、人繰りに苦労している。また、他業種では上海のロックダウンで材料が入らないとの話もあるが、当社では材料は今までどおり入荷している。
		公認会計士	取引先の様子	・客の月次、決算状況から判断している。小売、サービス、飲食関係は以前と比べ、売上や利益等の業績が少しずつ改善している。建設業等は一定の利益を計上している企業が多く、全体としてはやや景気が回復しているとみられる。
		その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・まん延防止等重点措置の解除により活動制限がなくなったことで、県外の飲食需要が回復している。県内でも新幹線が3月の地震から復旧したことで交流人口が増えつつある。
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売量は前年比3～5%減少が続いており、3か月前と比べて変わらない。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・第6波の影響で受注が増えなかった。また、本来であればイベント関係の印刷物が入る時期だが、3年連続で入っていない。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客の話から増産の雰囲気はある。しかし、ウクライナ情勢や円安の問題で先行きが不透明である。
		電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・各設備の予防保全案件において、修繕時期延伸や事後保全での修繕対応になっている。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上自体は少しずつ伸びてきているが、原油価格の高騰等により、利益は新型コロナウイルス発生前ほど残らない。やはり売上も利益も伸びるようであれば景況感の好転は感じられない。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で客の消極性が増しており反応が冷たい。
		広告業協会（役員）	受注量や販売量の動き	・イベントや催事も復活して日常が戻りつつある。しかし、原油価格の高騰、物価の上昇などによる先行き不安から、当初の販促予算を削減する傾向が見受けられる。
		コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・相変わらず商品の納期が見通せない状況が続いているものが多くあり、状況は変わらない。
		農林水産業（従業者）	それ以外	・地元の大工は今まで以上に新築やリフォームの依頼が少なく仕事がない状況で、これもコロナ禍の影響だと嘆いている。
		農林水産業（従業者）	それ以外	・農業資材価格や燃料価格の高騰で、コスト増となっている。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・仕入れや原材料価格の値上げ、エネルギーコストの高騰はあるが、販売価格への転嫁が進んでいない。加えて、業務そのものやイベントの取下げ、開催取りやめなどから、受注量自体が減少している。
		窯業・土石製品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・出荷数量の減少に加え、原材料や燃料の値上げが続いており、経営的に非常に厳しい。
		建設業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・鋼材や設備機器など資機材の急騰と納期遅延に伴って、契約交渉が難航するケースが散見されている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	金融業（広報担当）	取引先の様子	・折からの原材料・資材の調達の難しさに加え、地政学リスク顕在化に起因するエネルギー価格や農産物価格の上昇により、ほとんどの業種で影響を受けている。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・原料価格の高騰によって客先の経営が厳しくなっており、販管費を抑制する傾向がみられる。
		経営コンサルタント	それ以外	・新型コロナウイルス対策の効果がみられないうちに、ウクライナ情勢等の新たな要因が消費活動を阻害している。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	それ以外	・ゴールデンウィーク目前にもかかわらず、町内の温泉街宿泊施設では予約数に伸びがみえない。当地でも新規感染者数が増加しており、そのことが来客数に影響しているのではないかとみている。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先のスーパーのバイヤーからは、客の購買力が非常に弱くなっており、特売しても前年より反響が薄いと話を聞く。購買客数が下がっていて、購買点数も1割くらい低くなっており、売上も5～10%下がっているという状況とのことである。
雇用関連 (東北)				
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数は一時期の伸びとの比較では落ち着いた印象を受けるが、引き続き堅調な推移になっている。
		民間職業紹介機関（職員）	周辺企業の様子	・人材を求める相談が増えている。
		学校〔専門学校〕	周辺企業の様子	・各種イベント等が、感染症対策を考慮しながら実施できている。それに伴って関連業種の参加もみられ、徐々に活性化しつつある。
		人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・まん延防止等重点措置が解除になって景気が戻りつつあった。しかし、ウクライナ情勢により仕入価格が悪化して、飲食店や卸売業、工場がダメージを受けている。また、3月16日の地震では倉庫や工場の屋根が崩れるなどその影響も大きく、景気については3か月前から変わらない状況が続いている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・前年比で100%以下の状況が続いている。首都圏に比べ回復が鈍化傾向である。
		アウトソーシング企業（経営者）	それ以外	・新年度になって、もう少し会議が多くなるかと思ったが変わらない。
		新聞社〔求人広告〕（経営者）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染収束を期待していたが、一進一退で先行き判断に迷う声が多く聞かれる。さらに、ウクライナ情勢も長引き、前向きな声が聞こえてこない。
		新聞社〔求人広告〕（経営者）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が依然高止まり傾向にあるなか、ロシアのウクライナ侵攻と円安の影響がじわじわ地方にも及び始めている。
		その他雇用の動向を把握できる者	周辺企業の様子	・人手不足を背景に従業員を募集する動きは継続している。また、その確保のために正社員を募集する動きも継続している。
		人材派遣会社（社員）	それ以外	・ロシアのウクライナ侵攻の長期化の影響でインフレ圧力が強くなっており、消費抑制からの景気悪化の兆候が出てきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・年明け以降、県内の新型コロナウイルス新規感染者数の更新が続いている影響もあり、広告活動を控える業種が多くみられる。
		職業安定所（職員）	それ以外	・物価高の影響で消費・購買意欲が低下している。
	x	-	-	-

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (北関東)		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除され、団体の宴会も増えてきている。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・依然として、新型コロナウイルス禍ではあるものの、人流は確実に増えている。
		都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・徐々にだが、個人の宿泊だけではなく、法人の会合等の予約も増えてきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・ここ数週間の来客や販売数の動きをみると、一過性かもしれないが、宿泊は、新型コロナウイルス以前の状態に戻ってきている。それとは対極に、料飲部門は相変わらず低調なままで、ホテル内でも二極化になっているため、総合的にはやや良いと判断している。
		一般小売店〔土産〕 (経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株が流行し始めた3か月前と比較すると、今月の景気はやや良くなっている。新年度が始まり、早いところでは修学旅行を実施する学校もあるようである。「県民割」も始まり、少しずつではあるが、客が戻りつつある。しかし、新型コロナウイルス前と比べると、3割程度の売上にはなっていない。
		一般小売店〔青果〕 (店長)	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が解除されたことで、飲食店、ホテル等の注文が増えている。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数は高水準で推移しているものの、前月のまん延防止等重点措置解除以降、来客数は増加傾向にある。また、気温の上昇とともにアパレルも堅調に推移している。
		百貨店(店長)	来客数の動き	・来客数が前年を超える日が多くなっている。ただし、その増加傾向はまだ売上増加に直結してはいない。また、夕方の顧客滞留時間もいまだ低位である。
		スーパー(総務担当)	来客数の動き	・全体的に来客数が増えてきている。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・4月は新社会人や学生の動きがあったが、新型コロナウイルス前に比べて新人研修等が少なかった印象である。当店はリニューアルのため、5日間休業したことに伴い、商材の売り減らしを行ったため、前年比87%の売上だったが、営業時は102%で推移している。
		家電量販店(店員)	販売量の動き	・今月は徐々に前年実績を107%でクリアしている。巣籠もり需要の継続や海外工場所在地のロックダウン等による部材遅延での生産遅延報道で、客の購買がおられたのが要因か。好調な商材は冷蔵庫、洗濯機、レンジで、2けたの伸びである。また、スマートフォンも前年比156%と好調である。
		乗用車販売店 (販売担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの規制が少し緩和されてきたようなので、2～3か月前と比べて、来客数が多くなっている。車検や中古車、新車販売等で、来店する客が多くなっているため、少しずつ良くなってきていると感じている。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・季節的な要因もあるが、県内外から大勢の観光客がきている。新型コロナウイルスの感染対策をしながらではあるが、少しずつ元に戻ってきた感がある。
		旅行代理店(所長)	来客数の動き	・地域ブロック対象の県民割が再開され、週末を中心に需要が持ち直してきている。ただし、新型コロナウイルス新規感染者数は下降傾向にはあるものの、感染者数減少は今一つ下がりきっていない点、少々懸念材料ではある。
		旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・ゴールデンウィークを始めとして、夏休み等の依頼が増えている。
		テーマパーク (職員)	来客数の動き	・前年に比べて、新型コロナウイルスの新規感染者数が多くても、まん延防止等重点措置等が適用されていないこともあり、来園者数が増えている。
		設計事務所(所長)	販売量の動き	・建設関係は公共工事発注件数が若干増加しており、上向きとなっている。飲食サービス業では客足は増えているものの、宴会等の自粛もあり、上向いているとはいえない。
		設計事務所(所長)	お客様の様子	・価格高騰が続いているものの、客は消費を控える物もあれば、機会を逃すことなく行動する場合もある。
		住宅販売会社 (経営者)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除になり、海外からの渡航が可能となって、就労の外国人が社宅として賃貸物件を成約している。多少、良くなっていく傾向にある。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が解除されたことで来街者は増えている。ただし、原材料価格の大幅値上げと電気料金の値上げで、利益が出ない小売業の景気は低迷から抜け出せない状態である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・物の値上げが身に染みてきている。皆、買物も控えめにしている。まん延防止等重点措置が解除になって、人の動きが良くなると思っていたが、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者が減少しないので、人寄せもできない。客の動きは悪いが、ゴールデンウィークに期待したい。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置解除となったものの、県内の新型コロナウイルス新規感染者数が余り減少せず、売上、来客数の回復は鈍い。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・20～30代の客、特に観光客が、以前より増えてきたようである。
		その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除となったが、当社の主要顧客であるシニア層は、いまだに活動の鈍い状態が続いている。40～60歳代は動きがみられるようになってきている。今一番の課題は、メーカーからの商材入荷がいまだに改善されないことである。その他にも、秋以降は販売価格が10～20%上がる物が増えてきている。じわじわと戦争や新型コロナウイルスの影響が出てきている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・少人数での宴会が少しずつ増加している。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・春になってもまだ新型コロナウイルスを警戒しているような感じを受けている。ゴールデンウィークを控えて出費を抑えているのかもしれない。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	お客様の様子	・新年度の新規受託先状況について、事業所給食部門では、例年どおり、幼稚園や保育園、介護施設、学校給食等の受託ができています。レストラン部門は、ビジネスホテルチェーンから朝食提供の委託を受けたが、現状では稼働率、喫食率が新型コロナウイルス以前に回復しておらず、当面は厳しい状況が続くものとみられる。
		タクシー（経営者）	お客様の様子	・4月後半より動きが良くなってきたが、新型コロナウイルス前の同月と比べて8%の減少である。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスによる地方経済への影響は、終わりがみえない。個人店や中小企業からの広報依頼は、いまだ皆無である。
		通信会社（局長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、支払が滞り、相談を受けるケースが増えてきている。
		競輪場（職員）	来客数の動き	・新年度になったが、来場者数に余り大きな変化はない。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスが少し落ち着いてきたような感じもするが、いまだに街は活気を満たしていない。特に、夜のスナックや食堂は、まだまだ暗い状況である。我々の不動産業界も、今は動きが若干止まっているような感じがする。引き合いは少なく、特に、法人関係の事務所の動きが全くない。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	単価の動き	・様々な材料が徐々に値上がり、今までの価格よりも高額になってしまい、客側は決め手に欠けている。その上、相変わらず材料や部材の調達期間も長く、決定するまでに四苦八苦している。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・元々が悪い状況だったので、当店の売上は若干良いものの、この先の円安と物価高を考えたら、悪くなるのは目に見えている。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	来客数の動き	・売上が低下し、やや悪くなっている。
		百貨店（営業担当）	競争相手の様子	・近郊の商圈エリアに複合施設がオープンし、地域初のショップが出店する等、当店の来客数減少に結びつく環境がある。
		スーパー（商品部担当）	お客様の様子	・売上、来客数共に前年比90%台前半となっているが、価格訴求を行った際は、来客数は増えるものの、目玉商材以外の買上点数は伸びず、厳しい状況が続いている。
		衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・当店の顧客は高齢者がほとんどである。今月は年金支給月だったが、現状の新型コロナウイルス新規感染者の高止まり状況を考慮してだと思いが、客が本当に出てこない。来店数が本当にゼロに近く、どうしようもない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍やロシアのウクライナ侵襲等で、先行きを心配してか、法人、個人を問わず、車の話題が盛り上がらない。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、中国でロックダウンが実施されて半導体が供給不足となり、新車生産の遅延が生じ、新車の登録、販売ができない状況が続いている。4～5月への納期変更や新車の在庫車両不足が続いている。
		自動車備品販売 店(経営者)	販売量の動き	・4月に入って、例年どおり若干一息ついて、販売も下がってはいる。特に盛り上がるとかこれから良くなるという特徴はないものの、ずっと我慢をしていて、いきなり車を購入したり、遊び的な車を買ったりというような傾向が感じられる。
		住関連専門店 (店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの特需も少しずつなくなり、来客数が前年を下回ってきているため、やや悪くなっている。
		住関連専門店 (仕入担当)	来客数の動き	・消費に対してネガティブな要素が重なっている。新型コロナウイルスの感染状況の高止まりや連日のウクライナ情勢の報道、あるいは値上げの連鎖で、特に、レジャー関係への支出が抑えられており、来客数に影響を与えている。
		通信会社(営業 担当)	単価の動き	・ウクライナ情勢の影響を受け、食品や原油等の原材料価格高騰により、物価高が消費に影響を及ぼしている。
		通信会社(総務 担当)	販売量の動き	・販路を増やして拡販に努めているが、前年同月を2割も下回っている。
		美容室(経営 者)	来客数の動き	・日銀は米国の景気鈍化を横目でにらむだけで、金利政策は八方塞がりの状態で成す術がない。可処分所得が一向に増えない現況では、消費税減税で景気の下支えが必要な時期にあると考える。検討するとお題目のように言うだけでは国民からそっぽを向かれる。
		その他サービス [自動車整備 業](経営者)	単価の動き	・1台当たりの売上をみると、前月比マイナス7%の落ち込みが続いている。
	×	その他飲食 [ファースト フード](経営 者)	来客数の動き	・ここ3か月ほどで、1日の来客数が1割くらい減っている。
	×	都市型ホテル (経営者)	販売量の動き	・4人を超える人数での会食禁止等の自粛要請により、飲食客が激減している。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・依然として、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が高止まりしている。当市でも毎日50人前後の新規感染者がいる。飲食店にも客が少なく、電車に乗ってくる客も少ないままで増えず、タクシー利用客も少ないままである。
	×	ゴルフ練習場 (経営者)	お客様の様子	・4月より食料品やガソリン等の必需品が値上がりしており、客は買い控えしている。
企業 動向 関連 (北関東)		-	-	-
		不動産業(管理 担当)	受注量や販売 量の動き	・4月以降、値上げや納期未定になる前に修繕を行いたいという相談が少し増えている。できれば今月中に完了したいという希望もあり、少しではあるが売上が伸びている。
		窯業・土石製品 製造業(総務担 当)	受注量や販売 量の動き	・新型コロナウイルスの影響も受けずに、稼働している。
		一般機械器具製 造業(経営者)	取引先の様子	・取引先では、トラック関係の仕事の受注がストップしているということで、全く予測ができない感じである。
		輸送用機械器具 製造業(経営 者)	取引先の様子	・受注量や取引先の様子は、前月辺りと余り変わらない。
		輸送業(営業担 当)	取引先の様子	・気温の高い日が続く、夏物家電のエアコン、サーキュレーター、扇風機等やレジャー用品等は、前年並みの物量を確保している。しかし、ウクライナ情勢や円安による原油や燃料価格の高騰、その他のコスト上昇により、利益は薄くなっている。
		不動産業(経営 者)	受注量や販売 量の動き	・自粛傾向は変わらない。
		広告代理店(営 業担当)	受注量や販売 量の動き	・広告宣伝の予算がないという回答がほとんどで、何も変わらず悪い状態のままである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
x		経営コンサルタント	それ以外	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きを見せて、県内企業のマインドは通常に戻りつつある雰囲気になっている。飲食店や商店に出向く人の流れも徐々に増えつつあるが、地域全体が押し上げられるまでには至っていない。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・何か月か前と比べてもほとんど変わらないが、ほんの僅かに上がったりがったりして、今はやや下がり気味である。ただし、全体としてみれば変わらないところである。
		社会保険労務士	取引先の様子	・経済活動は戻りつつあるが、材料価格高騰分の転嫁が進まず、業績は厳しい。
		一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・自動車生産ラインの停止が頻発している。生産ライン停止の情報は直前に出るため、サプライチェーンに多大な悪影響が出ている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスから回復しつつあると感じており、受注も増えてきたが、ロシアとウクライナの戦争ということで、ちょっと皆が加減し始めた感じが出てきて、受注量もかなり落ち込み始めている。
		建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占め建設業を営んでいる。現与党政権誕生後、現政権まで、公共工事は順調に推移している。我が国は自然災害が多く発生し、中越地震、東日本大震災、熊本地震等、常に災害が生じる国である。災害発生時、建設業者は我を顧みず復旧工事にまい進する。当県は衆参両議員、知事、市長いづれも長期に就任しているため、本当の意味で、国民、県民を一番に考えて行動しているとは残念ながら思えない。今期公共工事は前年比85%と厳しく、当社受注も前期比10%減の受注となっている。
雇用関連	-	-	-	-
(北関東)		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣求人依頼が安定しているほか、中途採用についても職種を問わず、依頼が増加してきている。
		人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・製造派遣の求人が多くなったため、やや良くなっている。
		学校〔専門学校〕（副校長）	それ以外	・いまだ新型コロナウイルス禍ではあるが、学校としてもできる行事を少しずつ実施する方向で検討している。先日も、細心の注意を払いながら宿泊研修を実施している。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・衣替え時期である新学期や新入学等で、衣料品の伸びが結構良かったようである。季節的な野菜や食料品等は幾分高めだが、家飲みや家での料理に向けて購買力はあった。年度替わり等もあり、土木、公共事業関係は少し活発さがみられる。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求人数も若干増えているが、求職者数が増加傾向にあるので、景気が良いとはいえない。
		*	*	*
x	*	*	*	*

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連	(南関東)	一般小売店〔生花〕（店員）	それ以外	・例年4月は入学式、入社式、学校の離任式などでの祝い花が売れるが、今年になってやっとそういった場面などで花が売れるようになった。卒業式も通常どおりと聞いている（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が解除され、何も規制がない状態になったので、客もようやく会社の同僚と何人かでお酒を飲んでみようという気になったようである。少人数のグループで予約し、来店している（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除され、県民割がスタートしたことで、集客が増加している。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が解除され、人流が活発になっている（東京都）。
		一般小売店〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・3月末にまん延防止等重点措置が解除になり、人の動きも出てきて、来客数も増加している。取引先からの発注も徐々に増えている。
		一般小売店〔傘〕（店長）	来客数の動き	・客足が少しだが戻っている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店 [茶] (営業担当)	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が解除されたが、特別に景気が良くなったとは感じない。多少は品物が動いているが、以前ほどではない。特に、ホテル関係は客が入るのが一番なので、人がどんどん出歩くことを願っている(東京都)。
		一般小売店[書店] (営業担当)	販売量の動き	・新年度向けの受注量は、新型コロナウイルスの影響下でも余り影響なく確保されている(東京都)。
		百貨店(売場主任)	来客数の動き	・週末を中心に家族連れの来店客が増えており、卒入学、就職祝いの返礼品の動きが活発化している。ケータリングや弁当、オードブルの需要が、今までは数名の要望であったのが、受注点数が倍以上になっている(東京都)。
		百貨店(総務担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染者数は引き続き高止まりしているものの、重症化リスクの低下などにより、客の行動意識は3か月前と比べて変化している。具体的な行動制限がない状態であり、季節の変わり目ではあるが、紳士、婦人共にファッション関連商材の動きが良くなっている(東京都)。
		百貨店(広報担当)	来客数の動き	・3か月前の新型コロナウイルス感染第6波のときよりも、足元の感染状況は幾分落ち着いている。それに伴い来客数も当時よりは回復している(東京都)。
		百貨店(営業担当)	販売量の動き	・都内の新型コロナウイルス新規感染者数が高止まりから減少傾向となり、商業施設への来客数も多くなってきている。アパレル、雑貨、食料品などが伸長している。食料品は、前年に比べて販売客数が減少しているものの、購買単価が上昇している。要因としては、相次ぐ値上げによる単価上昇と、菓子や総菜などの購入比率の上昇である(東京都)。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・郊外店舗の来客数が徐々に増えている。連動して、売上も徐々に増えつつある(東京都)。
		百貨店(販売促進担当)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除となり、解除前と比較すると来客数、売上共に少しずつではあるが戻ってきている(東京都)。
		百貨店(販売促進担当)	それ以外	・3か月前はまん延防止等重点措置の適用中であり、その頃と比べると売上、単価共に前年比で伸長している。
		百貨店(財務担当)	販売量の動き	・前月にまん延防止等重点措置が解除されて以降、当月についても販売量が一定程度改善している(東京都)。
		百貨店(管理担当)	販売量の動き	・食品だけではなく、不振だった衣料品や靴、バッグなどの動きも出てきている(東京都)。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除されて、このゴールデンウィークは2019年に戻ったような、いつもの感じである。来客数も少しずつ伸びており、やはり人が動いていると感じている。
		コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・朝、昼の時間帯でオフィスや繁華街の売上が戻ってきている。新型コロナウイルスの影響からの回復を感じる(東京都)。
		コンビニ(商品開発担当)	来客数の動き	・特に、週末の来客数が増えてきている(東京都)。
		衣料品専門店(経営者)	販売量の動き	・来客数は前年比5%増加、売上も微増となっており、靴下や肌着等の実用衣料品が特に良くなっている。外出着は低価格商材はよく売れているが、高い物は動きが悪い。
		衣料品専門店(経営者)	販売量の動き	・インターネット販売が特に好調である。旅行などイベントごとが増えているようで、気温の上昇とともに消費者の興味が買物に向かっているようである(東京都)。
		衣料品専門店(店長)	販売量の動き	・4月に入り、ドレス事業部のゲストドレスは前年比137%と好調に推移している。背景には、今まで控えていた結婚式等のイベントが回復基調となっていることがある(東京都)。
		衣料品専門店(役員)	販売量の動き	・旅行や食事会に参加するという客が増えてきている。
		家電量販店(従業員)	来客数の動き	・海外でのロックダウンなどもあり、エアコンを購入する客が例年より早く動いている。平日の来客数も増えている。
		高級レストラン(経営者)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除されてから来客数が伸び、売上も上がっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		高級レストラン（役員）	来客数の動き	・緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解除され、春らしい陽気になり、来客数、オーダー機会の増加傾向により、売上はやや良いトレンドにある（東京都）。
		高級レストラン（仕入担当）	販売量の動き	・売上は改善しているものの、2019年度比ではまだ及ばない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・外食業界においてはどこもそうだと思うが、夜の来客数と平日の来客数が落ちている。遅くまで飲食店に滞在する客の数が減少している。しかし、土日や休日は来客数が増えており、単価も上がっているため、売上も伸びている（東京都）。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・今までは、個人のフリー客がほぼない状態だったが、4月後半からはフリー客も増え、街の人出も増加している（東京都）。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	お客様の様子	・取引先の新型コロナウイルス対応も一段落した様子で、アフターコロナの状態が定着してきている。パーティー需要はいまだに元に戻っていないが、それ以外はおおむね新型コロナウイルス発生前の状態に回復したため、当社のアフターコロナ体制とあいまって、利益も確実に出る状態にある（東京都）。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・現在はまん延防止等重点措置も解除され、やや良くなっている。個人客は徐々に戻ってきているが、法人客の宴会利用が戻ってきていないので、全体としては道半ばの状況である。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・前月末にまん延防止等重点措置が解除され、新型コロナウイルス感染者数が高止まりしているなかではあるが、徐々に直近での予約が増え始め、販売量も回復傾向にある。企業での接待や官公庁、学校などの歓送迎会は皆無だが、県民割などの支援が始まり、宿泊やレストランなどへの影響は大きい。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・海外旅行は、各国に対する感染症危険情報のレベルが下がり、ハワイ挙式を延期していた客から予約が入ってくるようになってきている。長らく止まっていた海外が、まずはハワイからだが、今後は各国への広がりが期待される（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置の解除後、ゴールデンウィークの申込みや一般団体の問合せも増えてきている（東京都）。
		旅行代理店（販売促進担当）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が解除され、県民割など旅行への補助も出るようになり、国内個人旅行は動きが活発になってきている。特に、近場の客が少し遠出をするような傾向がみられる（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染は収まらないが、ウィズコロナの生活習慣が定着したのか、県民割を利用して旅行する来店客が、1～3月と比較して20%ほど増えてきている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルス変異株が流行し、収束に向かったと思ったら、新型コロナウイルスオミクロン株なるものが流行し始め、まん延防止等重点措置で世の中の景気が低迷し、日に日に売上が落ちていった。こんな状態でタクシードライバーを続ける意味はあるのかなどと考えた時期もあったが、昨今はサラリーマンもコロナ慣れしてきたのか、都心などでも夜間のにぎわいが戻ってきている。県境からホステスがタクシーを呼んで都心に出勤するようになってきている（東京都）。
		タクシー運転手	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が解除され、徐々に利用が増えてきている。夜の飲み屋街も客入りが良く、無線オーダーの本数も伸び、仕事ができるようになってきている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの規制がなくなり、客は大分動いている。特に、最終電車に乗ってくる客などがかなり増えている。休日前は人の出入りがものすごく増えている（東京都）。
		タクシー（団体役員）	来客数の動き	・週末は多少人流が戻ってきている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・行動制限がなければ、それなりに来客数が見込める。現に増加しつつある（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・例年、マスターズゴルフが開催される頃になると、ゴルフ練習場は来場者数が増え始める。まん延防止等重点措置が解除され、その他のレジャーに消費者が分散しても、前年からのブームは継続している。
		パチンコ店（経営者）	来客数の動き	・県内におけるまん延防止等重点措置が解除されて1か月余りが過ぎ、飲食店も活気を帯びてきている。特に、最近は深夜まで営業する店舗も増えて、人の流れが活気付いており、その結果、来客数も増えてきている。
		その他レジャー施設〔ボウリング場〕（支配人）	お客様の様子	・来場者数などから判断するとやや良くなっている（東京都）。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・取引先から新年度の契約をもらっている。年俸にはなるが、前年に比べて増額要請が通っている。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・民間案件は相変わらず厳しい状況が続いているが、官庁案件の入札前倒しの影響が大きい。新築工事設計は非常に少ないが、改修工事設計はそれなりに期待できそうである。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・計画中の物件に多少動きが出ているので、良くなっている。しかし、基本図はまとまってきたものの、あと一歩がなかなか進まない（東京都）。
		その他住宅〔住宅資材〕（営業）	販売量の動き	・新年度になり、建築市場が動き出してきて、安定した供給力のある企業に注文が集まり始めている（東京都）。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・客は、積極的に物を買おうという意識が弱く、大変慎重になっている。来店しても購入決定に時間を掛けて、しっかり他店と比べながら、慎重に買物をしている様子が見受けられる。ただし、以前と比べると、少しは物を買うという行為が増えてきたようにも感じる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比べて変わらないというか悪い状態がこの2～3年ずっと続いている。半導体の影響で商材が入ってこないこともあり、いまだに待たされている時間が長い（東京都）。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響だと思うが、街中を歩いている人が少ないと感じる。買物客は目的を持って来るので、来客数が非常に少ない。
		一般小売店〔祭用品〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が徐々に減り、まん延防止等重点措置も解除されたが、まだまだ活気が戻っていない。しばらく時間が掛かりそうである。
		一般小売店〔文房具〕（経営者）	お客様の様子	・3月下旬に東京都のまん延防止等重点措置が解除され、4月になりようやく飲食店でも客の来店頻度がやや高まってきている。会計伝票等の業務需要商材の販売量も増えてきているが、新学期の学童用品の動きは予想よりも増えず、結果として3か月前とさほど変わらない（東京都）。
		一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数は減ったり増えたり繰り返して、発生前の水準にはまだまだほど遠い。
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	お客様の様子	・2店舗のうち支店の方を4月末で閉店することになり、閉店セールを1か月間行っていたが、相当物が売れた。客も安ければ買う様子が見受けられる。また、外商の案件もそこそこあったので、ふだんよりは良い。安いので買うという反動を考えると、余り景気は変わらない。
		百貨店（総務担当）	来客数の動き	・来客数は前年を下回ったものの、衣料品に動きがみられる。高額品の動きを見ると、消費に対して慎重な姿勢がうかがえる。
		百貨店（総務担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除されたことで来客数は増えている。また、高額品の販売も比較的好調である（東京都）。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・ウクライナ情勢、急激な円安など不安定な世情があり、新型コロナウイルスの感染状況も依然として不透明なため、景気回復を見通せない（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・全ては政府の対応次第なので、何も変わらない（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（経営企画担当）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置解除後も回復傾向はみられず、横ばいが続いていたが、4月下旬より厳しい状況となっている。食料品は堅調な推移が続いていたが、ロシアのウクライナ侵攻の影響による電気料金の高騰、ガソリン、食品の相次ぐ値上げにより消費意欲の低下に見舞われ、全体の数値を落としている（東京都）。
		百貨店（企画宣伝担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響からの回復の兆しは見えるものの、世界情勢不安による消費者心理の冷え込みや、原油高、円安による様々な生活必需品の価格高騰により、個人消費の動向は予断を許さない状況である。
		スーパー（販売担当）	単価の動き	・競合他社との価格競争などがあり、平均単価が下がる傾向にある。客の買上点数は前年を上回っているが、平均単価が落ちている分、客1人当たりの1回の合計買上額がなかなか前年を上回らない状況が続いている（東京都）。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・食品の値上げが相次ぎ、売上が落ちている。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・来客数は少し落ちているものの、客単価は上がっている。これは、買上点数が落ちていて、1点単価が上がっているという感じなので、全体的には3か月前と変わらないが、余り良くない状態が続いているという感じである。
		スーパー（店長）	単価の動き	・来客数や買上点数は前年並みを維持しているものの、単価の上昇がみられない。日々必要最低限の食材しか購入していかない様子がうかがえる（東京都）。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・今月は、食料品は前年を若干下回っているものの、衣料品、住まいの品は前年を上回っており、トータルでは前年並みの売上となっている。客の購買状況を見ると、食材は売上が落ちているが、即食できる弁当などは前年よりも伸びている。また、衣料品については前年よりも売上が増加している。こうした購買状況からみると、客がステイホームから外に出ている様子がうかがえる。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・商品が値上がりしており、余計な物は買わないが、値上げ自体は仕方がないと受け入れている様子である。
		スーパー（営業担当）	販売量の動き	・加工食品の値上げが徐々に強まってきている。したがって、1人当たりの買上単価、更に1品当たりの単価は上がっているものの、販売数量が伸び悩み、その分相殺されている（東京都）。
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・前年と異なり緊急事態宣言下ではないが、まだまだ新型コロナウイルス感染第7波も予測されており、販売量は増えていない。また、ゴールデンウィークを控え、今年は人流の増加が予想され、支出も増えると思われるので、4月中旬までは1人当たりの買上点数は伸びていない。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・特に大きな変化はない。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・必要最低限の物以外は買わない。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数は変わっていないが、値上げした商材が多々あり、販売金額が少し上がってきている。ただし、賃金が上がらないと今後は厳しいと予想している。
		コンビニ（従業員）	来客数の動き	・来客数の動きがほとんど変わらないことから、身の回りの景気も変わらない。まん延防止等重点措置の適用中と比較しても、それほど来客数の動きが変わらないのは、やはり生活必需品として食品や日用品が並ぶコンビニは、生活に欠かせない場所だからと感じている。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・物価が上がり、購入価格を気にする客が増えている。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・全体的には価格上昇の流れにあるが、生活必需品として需要の衰えは感じていない。ただし、商材の入荷遅れが慢性化しつつあり、納品ベースの売上計上がされていない（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店（経営企画担当）	販売量の動き	・4月に入り、新型コロナウイルスの感染者数は若干減少傾向だが、営業の現場では引き続き感染症対策を施し、いかに安心安全に買物ができるかが重要と考えている。また、円安、ロシアのウクライナ侵攻を起因とする原材料不足等、物価の変動は、消費者の財布のひもを固くする要素と考えている。売上の数字はほぼ前年並みである（東京都）。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・自動車の整備は、前月までは順調に入っていたのだが、今月は余り芳しくない。また、販売も半導体不足で生産が2か月遅れとのこと、客の購買意欲が少し低下しているようである。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・いまだ半導体不足の問題が解決されていない。
		乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・車の販売台数が増えてきている。特に、半導体不足の影響で新車の納期が遅れていることもあり、どうしても早めに欲しい人たちは中古車を買うということで、中古車価格も上がっている。価格が上がれば、当然粗利も増える（東京都）。
		乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・納期遅延が続いているなか、更なる遅延が発生し、客に納期を案内しても、余りにも先過ぎて結論が出ない。
		乗用車販売店（渉外担当）	販売量の動き	・自動車の出荷正常化のめどが立たない。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・新車は納期が長く掛かるので、希望の納車日に間に合わず、客が中古車に流れてしまう（東京都）。
		その他専門店 [ドラッグストア]（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除された後も、来客数は増えていない。客単価も上がってこない。
		その他専門店 [ドラッグストア]（経営者）	来客数の動き	・何となく来客数が減っているように感じる。
		その他専門店 [貴金属]（統括）	販売量の動き	・来客数は徐々に増加しており、回復傾向にあるが、実売には結び付いていない（東京都）。
		その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	お客様の様子	・行動制限から解放されて客の動きが活発になっているが、購買意欲は比例していない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・新型コロナウイルスの影響でかなり売上が落ち込んでいたところ、まん延防止等重点措置が解除されてから少しは客が戻ってきている。もう少し様子を見ないと何ともいえないが、以前の売上が悪いときと比べるとプラスマイナスゼロで余り変わらないのではないかと。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・一言でいえば人通りが少ない。オフィス、店舗の空室が目につく（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・3か月前の1月1～30日までの前年比は、売上99.4%、来客数100.4%である。大変悪かった前年1月の売上との対比である。今月4月1～27日までの前年比は、売上85.1%、来客数89.8%である（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置は解除されたが、夜の客は戻ってきていない。国なり何なりが対策をしてくれないと、飲食店は持たない。本来、ここからの方が経営的にも大変なのではないかと。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除されたと思ったら、今度はロシアのウクライナ侵攻が始まり、それが雰囲気良くない原因かと思っている。政府の新型コロナウイルス対策については、もう少し緩和の方向にかじを切るべきである。物価高になりつつあることも財布のひもを固くしているのではないかと。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・諸物価やガソリン価格等の値上がりの影響があり、客の様子を見ていると、景気は上がってはいいない。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・新年度になり教育旅行関係には動きがあるが、その他一般の旅行はほとんど動きがなく、売上がほぼない状態が続いている。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・海外渡航に関する反応がまだない（東京都）。
		タクシー運転手	お客様の様子	・やや良くなっていると感じることもあるが、売上は伸びていない。以前のような勢いもない（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信会社（社員）	お客様の様子	・新しい番組制作の依頼が幾つか出てきている。今までなかったゲーム関連業界からの案件で、明るい見通しである（東京都）。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・今年は格安スマートフォンブームが落ち着いたこともあり、直販、店頭販売共に契約数が予想を下回っている（東京都）。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・転居数がほぼ前年並みで推移しており、転居に伴うインターネットの契約数も前年並みを維持している。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新規加入、コース変更共に必要最低限の内容を選択する傾向は相変わらず強い。
		通信会社（経営企画担当）	お客様の様子	・3か月前と余り変化はない。今後、新年度における商談が出てくる可能性を期待している（東京都）。
		通信会社（経理担当）	単価の動き	・毎月、客単価が10円程度下がり続ける状況は変わっていない。
		通信会社（局長）	お客様の様子	・契約数が伸び悩んでいる。
		ゴルフ場（経理担当）	来客数の動き	・4月は比較的温暖な気候に恵まれ、前月に引き続きコースは高稼働率で推移している。企業や団体の名を冠したコンパや法人接待需要は徐々に回復しつつあるが、来場客の中心はメンバーであり、コース稼働率が高止まりしても収益性は改善していない。レストランのパーティー需要も改善しておらず、稼働率、客単価共に著しく低迷し、収益性が低下している状況が続いている。これらに加え、水道光熱費、各種資材、食材等の価格が高騰しており、固定費の圧縮に努めているものの、価格転嫁を行わざるを得ない状況に至っている。
		その他サービス [保険代理店]（経営者）	販売量の動き	・前年比でほとんど変わらない。新型コロナウイルスの影響を直接的に受ける業種ではないので、販売量が変わらないのは、世の中に購買意欲を刺激する雰囲気はまだないためである。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・現状はやはり新型コロナウイルスの影響がほとんどである。現在は少し感染者数が減ってきてはいるが、新しい企画にはなかなか踏み切ってもらえない。打合せ中だった客は中止になり、また新しい客を開拓することも、この時期はなかなか難しくなっている。町場の建売住宅などは多少現場が増えてきているようだが、新しく注文を受ける設計業務としては非常に厳しい。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・当社は不動産ディベロッパー業と総合建設業である。当社が都内と関東近郊の保養地に所有しているホテルの運営状態が非常に悪く、規定の賃料を受け取れていない。早くGo To Travelキャンペーンが再開されることを期待している。住宅の売行きも良くなく、工事請負業も少ないため、良くない。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・販売量が伸びていない。
		その他住宅 [住宅管理・リフォーム]（経営者）	お客様の様子	・相変わらず件数は少ないが、相談は受けている。しかし、決定までには数か月が掛かっている。
		一般小売店 [家電]（経理担当）	来客数の動き	・3月に比べて、極端に来客数が少ない。インターネットで買物をしている人が多くなったからだと思う。リサイクル品も自分で出品して自己完結できてしまう。
		一般小売店 [家電]（経理担当）	販売量の動き	・ぼつぼつ動いてはいるものの、新型コロナウイルスと中国上海のロックダウンによる影響で納期が見通せない商材が多数ある。いろいろな物の値上げにより、必要な物以外に対して財布のひもが固くなっている。
		一般小売店 [酒類]（経営者）	お客様の様子	・生活様式の変化からか、得意先の飲食店での売上が元に戻っていない。
		一般小売店 [茶]（営業担当）	販売量の動き	・今月は売上、来客数共に減少している。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・販売量の動きを選んだが、来客数の影響もある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	お客様の様子	・やはり値上げの影響で、客が相当買い控えをしている様子がうかがえる。年配客は、チラシを持って来店し、見ながら広告の商品を探し、見つけたら買ってすぐ帰るというような状況が続いており、非常に厳しい（東京都）。
		スーパー（店長）	単価の動き	・食料品を中心とした生活全般にかかわる価格改定の影響により、単価は上がっているが、買上点数が伸び悩んでいる。
		スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置、緊急事態宣言等は解除されているが、円安や物価上昇により値上げした商材が数多くあり、販売点数が落ち込み、来店頻度も少なくなっている。
		スーパー（ネット宅配担当）	販売量の動き	・値上げの多いカテゴリーは、明らかに売上が落ちている。また、値上げが進むなか、利益率が低下している。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・全体的に商品の値上げが増えている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・住宅立地はかなり来客数が落ちている（東京都）。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・宅配業者が増加したこと、大型店のセールが続いていることから、来客数、売上共に10%以上の減少が続いている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・メーカーからの新車の納期が、新型コロナウイルスやウクライナ情勢の影響で遅れてきており、受注も減少している。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・メーカーでの生産遅れが響き、新車の売上が立たない。また、ロシアのウクライナ侵攻の影響により、中古車も悪化傾向にある。
		乗用車販売店（店長代行）	来客数の動き	・物価の上昇に伴い、高額商材である車の買い控えが進むのではないかと（東京都）。
		住関連専門店（統括）	来客数の動き	・来客数の動きが大分減っているため、販売量も激減している。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（団体役員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍、原油価格の高騰により、売上が回復しない（東京都）。
		その他小売[生鮮魚介卸売]（営業）	単価の動き	・仕入価格が上がる一方で、利益率が悪くなり、困っている（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・物価上昇が続いているので、3か月前と比べて消費が落ち込んでいるような気がする。まさか戦争が起こるとは思わなかったので、将来的に家計をコントロールするために、財布のひもが固くなっている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による行動制限が掛かっているときは解除後に一応客が戻ってきたが、今は慣れてきてしまって、伸び率が鈍化している（東京都）。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・新年度に入り、商談はあるが、まだ受注数が増加していない（東京都）。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・物価の上昇が続くなかで、消費をできる限り抑えたいという客からの要望が強く感じられる。
		通信会社（局長）	販売量の動き	・最大の繁忙期であるが、前年比でマイナスとなっており、停滞感が否めない（東京都）。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・社会情勢不安の影響なのか、客の判断が慎重になり、販売量が減り、動きが鈍くなってきている（東京都）。
		競輪場（職員）	お客様の様子	・客入り、購入金額、全てにおいて下がっており、厳しい状況が続いている。やり方を含めて、再度、大幅な事業転換を検討すべきところに来ている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が、客の来店頻度が鈍っている。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・仕事量がそう多くないなかでの競争が激しくなっている。
		設計事務所（職員）	それ以外	・物価高等の影響により、再び民間の動きが停滞しているように感じる（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・3か月前と比べて景気は良くなっていない。ウッドショックの影響がまだ続いていることに加え、ウクライナ情勢もあり、地価も高い水準でプラス要素が見当たらない。新築売りアパート事業には厳しい状況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	一般小売店〔家具〕（経営者）	来客数の動き	・このところ本当に景気が悪い。当店は耐久消費財などを扱う店なので特にそうだと思うが、客が非常に少なくなっている。リフォーム等も手掛けているので、経営は何とかやっているが、かなり景気が悪い（東京都）。
	x	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍のなかで消費が低下している。
	x	衣料品専門店（従業員）	お客様の様子	・ロシアのウクライナ侵攻の影響が、客が落ち着いて買物をする雰囲気ではないように見受けられる。
	x	乗用車販売店（営業担当）	それ以外	・自動車は中国上海のロックダウンの影響により部品が入らず、新車の納期が更に遅れることになり、販売しても売上にならないので、かなり厳しい（東京都）。
	x	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・支出の抑制が始まっていると感じている。
	x	ゴルフ場（従業員）	それ以外	・新型コロナウイルス感染者数は大きく増加してはいないが、高止まりしている。ゴールデンウィークが終わると、感染者数は更に増えてしまうのではないかと。ロシアのウクライナ侵攻による経済への影響も大きく、景気が上向くことは期待できない。
	x	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・今月の販売量は目標数字の約55%となり、3か月前と比べても約40%落ちているので、悪くなっている。前月も悪かったので、前月以上に販売量が落ち込むことはないだろうと思っていたが、更に落ちてしまい、危機的な状況になっている。現場の最前線でもどうすれば良いのか分からない。
企業 動向 関連 (南関東)		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・やはり新型コロナウイルスが落ち着いてきたということである（東京都）。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規で公営競技の仕事を受注し、売上が増加している。
		出版・印刷・同関連産業（所長）	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィークに向けたイベント等が多岐にわたり実施される方向であり、それに付随する販促案件が非常に多く動き出している。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車業界の仕事が退潮したのと同時期に、電気業界関係の仕事が始まっている。
		その他製造業〔靴〕（経営者）	取引先の様子	・取引のある材料屋や裁断所からはまだまだだという声を聞いているが、ここにきて得意先の売場では来客数が増えており、景気が徐々に良くなってきて、前に戻っているとのことである。
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・まん延防止等重点措置が解除され、大学が活動を開始し始め、企業の営業活動もやや活発になってきている（東京都）。
		輸送業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・まん延防止等重点措置が解除されたなかでゴールデンウィークを迎える。経済が動き出した影響が、物流量が急に増加している。
		不動産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスが収束しつつあり、宿泊需要も戻りつつある（東京都）。
		広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・イベント催事が徐々に復活してきている。
		広告代理店（従業員）	取引先の様子	・3月21日を期限にまん延防止等重点措置が解除された頃から、受注には至らないまでも問合せや相談件数は明らかに増えている。6～7月の実施で検討という話もあり、社会全体として経済を回していこうという流れに移行しているものと期待している（東京都）。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・値上げのニュースが多く、客が買い控えをしているようである。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月以外は受注量が少なく、景気が悪い（東京都）。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	それ以外	・少しずつだが、受注率が上がってきているように見える。今後の動きがあるよう願うばかりである。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・印鑑やゴム印、軽印刷、名刺やはがき印刷などを行っている。例年の4月に比べて受注が少なかったが、3か月前の1月と比べると変わらない（東京都）。
	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・一向に回復の気配がない。人流が戻ってきているようではあるが、日常雑貨、イベント用品に回復の兆しが見えない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・原材料の値上がりで、受注量は大きく変化していない。基本的に景気は余り変わらない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・化粧品容器の受注が低迷したまま回復の兆しがみられず、苦戦が続いている。
		金属製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注量の減少と材料価格の値上がりで、利幅が少なくなっている。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社の受注量は変わらず多い状況が続いている。得意先からの先行きの内示でも、現状が続く見通しである。
		精密機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・3か月前と比べると、原油や希少金属の価格上昇、半導体不足などの影響で、ますます物が入手困難になってきている。現在は企業努力により何とか持ちこたえている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・海外での新型コロナウイルス禍はまだ収束のめどが立っていない。今年度、自動車メーカーは前年の減産分をばん回すことをもくろんでいたが、現在のところ当初計画の減産を余儀なくされている。
		建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・得意先であるハウスメーカーや工務店の動きが滞っているように感じる。
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	・繁忙期の物量が増えない。また、燃料価格の高騰により、収益が伸びない。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・原材料の高騰が中小企業を苦しめている。新型コロナウイルスの感染状況の良化が見込まれないことから、各業界が苦しんでいる。
		金融業（総務担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響を受けている取引先の様子だが、建売業では半導体部品を使用した湯沸器等が品薄のため工期が遅れており、売上に影響している。飲食業ではまん延防止等重点措置の解除もあり、入出は増加傾向にあるものの、まだ新型コロナウイルス発生前までは戻っていない。運送業では、燃料価格の高騰により利幅が減少している。観光業では、予約客が増えてはいるが、以前と比較してもまだ本調子ではない。求人数は、まん延防止等重点措置の解除により増えている（東京都）。
		不動産業（総務担当）	取引先の様子	・賃貸ビルでは、まん延防止等重点措置が解除され、在宅勤務からオフィス勤務へ少しずつ人が戻っている様子であり、館内人口が増えたせいか、テナント店舗の売上も若干ながら増えつつある。ただし、思っていたよりも戻り方は遅い気がする（東京都）。
		広告代理店（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・4月に入り、新型コロナウイルス発生前の年度の売上に近くなってきている（東京都）。
		税理士	それ以外	・夜10～11時過ぎに近隣駅付近の商店街の飲食店をガラス越しに見ると、客入りが良くなく、大分空席がある。中にはマスクもせずに騒いでいる客もいるが、以前と比べるとどの店も客が少ない（東京都）。
		社会保険労務士	取引先の様子	・返済不要の助成金や補助金を活用したい会社が多く見受けられる（東京都）。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先工場等の稼働率が余り上がっておらず、前年同様、受注量が新型コロナウイルス発生前に比べて20%程度減った状態が続いている。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規契約は時代を反映した単価で成約できるが、既存契約の値上げはいまだに難しい状況である（東京都）。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・物がなかなか流通していない。商品が届くのに時間が掛かる。そして、希望どおりの価格で製品が売れない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・材料の納入遅れや価格の高騰で受注が減っている。同業他社も同じように見積案件が減っている。
		輸送業（経営者）	それ以外	・輸送量の低迷が続くなか、休配日が増え、収入は前年同期を下回っている。一方、3か月前より1リットル当たり4円値上がりしている燃料価格や資材の高騰により、収支が悪化している（東京都）。
		通信業（広報担当）	受注量や販売量の動き	・円安や原材料価格の上昇による影響が、今月は前月までの回復の流れが途切れ、失速している（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		金融業（役員）	取引先の様子	・原材料、仕入価格の上昇により取引先に多少なりとも影響ありとの回答が約80%となっており、現況としてはやや悪くなっている。
		不動産業（経営者）	競争相手の様子	・賃貸業の繁忙期が過ぎたが、学生や若い人の動きが減少したためか、20平米前後のワンルームで2万5000円～5万5000円くらいの物件の決まりが悪くなっている。築年数が30年を越えるとなかなか難しく、特に、畳の部屋は人気がない（東京都）。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・小規模企業、店舗などを中心とする取引先は、原材料、水道光熱費など各種経費の値上がりに加えて、客の財布のひもが固くなっている傾向にあり、厳しい状況である。
		税理士	取引先の様子	・円安に歯止めが利かず、株価も低迷している。ウクライナに対するロシアの暴挙は許し難く、ある程度の影響は覚悟してでも制裁するべきだと考えている。新型コロナウイルスの感染者数は少なくなっているが、まだまだ好景気への好印象とはいえない。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・金属加工の中小企業では、材料の値上がりが激しいが、売上単価はそのまま、若しくは値引きが強い。結果として、昇給、賞与は例年より厳しくならざるを得ない（東京都）。
		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスに対するまん延防止等重点措置は解除されたが、いまだに大人数での研修会や会合は以前のように行われておらず、その撮影などもない状態である。また、ウクライナ情勢や円安などの影響で、企業も広告宣伝費までは手が回らない様子である（東京都）。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量の減少がみられる。客からも余り良い話は聞かない（東京都）。
	x	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・半導体不足が深刻である。従来からの取引先に、ある量の注文を出したら納期が700日掛かるといわれた。日本では仕入れられなくなっているため、現在は中国企業にオファーしているところだが、これもどうなるか分からない（東京都）。
	x	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原材料の高騰、新型コロナウイルス、ロシアのウクライナ侵攻など、経済的な不安定要素が多過ぎる。
雇用 関連 (南関東)		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・製造業からのエンジニアの引き合いは相変わらず多く、今年に入ってからも最高の稼働率推移を示している。
		求人情報製作会社（経営者）	求人数の動き	・社員の中途採用やアルバイト、パートなど非正規雇用のオーダーが増えてきている。観光サービスや飲食店の新規出店など、新たな事業が動き始めている影響がもしれない。大手自動車メーカーが新型コロナウイルス発生前の販売台数まで回復というニュースもあり、生産現場での雇用も増えているのではないかと（東京都）。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・一部の業界において求人が復活してきている（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣求人数は3か月前比で10%弱、前年同月比で20%強の増加となっている。人材紹介部門の求人も新型コロナウイルス発生前の水準まで回復しており、堅調に推移している。一方で、再就職支援の引き合いも引き続き入っていることから、K字型での業績が色濃くなっている（東京都）。
		人材派遣会社（支店長）	それ以外	・人材派遣の依頼は前年同月を上回っている。社員採用を厳選している一方で、人員不足によるリソース不足を派遣で対応するニーズは堅調である（東京都）。
		人材派遣会社（経理担当）	採用者数の動き	・新型コロナウイルスの影響も徐々に落ち着き、回復してきている。前月は年度末ということもあり繁忙だったが、今月はその反動で若干落ち着いている。ただし、数か月の動きを見ると求人数、求職者数共に増加傾向がみられる（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・今までは短期や期間限定案件が多かったが、長期案件が増加傾向に転じている。新型コロナウイルス発生後には余りなかった傾向なので、景気回復に向かっていく可能性がある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		求人情報誌制作会社（営業）	求人数の動き	・求人数の動きからやや良くなっていると感じており、新型コロナウイルス発生前と比較しても変わらない程度まで求人数が伸びることもある。求人数が増えれば、応募者の反響は分散したり少なくなったりする。そうなると人材集めに苦労する企業が多く出てくる。今は正にそのような状態にある。求人数が少ないときはまた違う悩みが出ている。
		求人情報誌制作会社（広報担当）	採用者数の動き	・まん延防止等重点措置が解除され、世の中全体が新型コロナウイルス発生前のような状態に戻りつつあるように感じる。人出も多くなり、経済が動き出しているようで、それに伴い、雇用も急激に増加している（東京都）。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・飲食及びサービス業の求人数が増加しており、新型コロナウイルス後を見据えた採用を積極的に進めている状況にある。情報通信業は新型コロナウイルスの影響からいち早く抜け出しており、継続的に求人数を伸ばしている（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・求人、求職者の希望条件のマッチング比率が少し高くなってきている（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・3か月前と変わらず求人数は多く、人材不足の状況が続いている。
		人材派遣会社（社員）	それ以外	・会社の業績や、周囲の消費動向に変化がない（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	それ以外	・新型コロナウイルスの延長での案件が発生しており、通常の売上予測に対して継続性がなく、先が読めない（東京都）。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・新規求人数は前年並みだが、新規求職者数が減り就職活動の動きが鈍った影響か、紹介件数が大幅に減っており、就職件数も減少に転じている。
	×	求人情報誌制作会社（所長）	求人数の動き	・ロシアのウクライナ侵攻の影響で、全てが下降気味である。

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (甲信越)		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大第6波による、全国的なまん延防止等重点措置が解除されてから、来客の動きが回復基調である。1月頃は売上が新型コロナウイルス前の30%程度しかなかったが、4月は70%程度にまで回復してきている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・3か月前の1月は冬季でまん延防止等重点措置期間中であった。それと比べれば、宿泊、レストラン、宴会の全てで客足も伸び、販売量も増えている。全体的に1月に比べれば130%伸びている。
		その他サービス【葬祭業】（経営者）	お客様の様子	・今月は葬儀の依頼が多い。事前相談は1件だけで、あとは全て飛び込みの依頼である。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・3～4月にかけて、当店は新入学生の指定体育衣料を納品している。こういう時代なので、クラブ活動も少ないし、世間では景気が余り良いと言われていないので、販売や注文が減るかと思っていたが、お陰様で前年並みくらいで動いているので、やや良くなっている。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・4月25日時点で、前年比売上は3%増、来客数は8%減となっている。3月中盤からイベントも再開されるようになってきている。大規模なイベントは企業の事業でもあるので行われているが、地域のイベントは今年で3年連続の中止となっている。地域にイベントが再開されれば、大分平時に戻ってきたような気持ちになる。新型コロナウイルスに感染すると10日間仕事ができなくなってしまうので、もう少し緩くしてもらいたい。
		コンビニ（経営者）	それ以外	・来客数自体は減っているが、客単価が若干上がっており、トータルすると若干マイナスだが、動きとしては悪くない。
		自動車備品販売店（従業員）	それ以外	・3か月前は新型コロナウイルスの影響もあって厳しい状況だったが、今月は来客数が前年を上回る等、良くなってきている。ただし、様々な物価上昇の影響もあり、客単価は前年割れの状況が続いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大も、高止まりからやや減少傾向が見えつつあり、行政機関の感染対策と経済の両立政策が浸透し始めている。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・1年延期になった地元名刹の祭礼と、バイパスの開通が功を奏している。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んできて、新規感染者数の割に入院者数が増えなくなっている。定期的にワクチン接種していれば、それほど怖い病気ではなくなってきたのだと思うが、感染者が出ていても普通の生活ができるようになってきている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数は増加傾向にあったものの、まん延防止等重点措置期間とは違い、人の動きが活発である。週末を中心に、予約客でほぼ満席となり、若干人の流れが弱かった夜でも、以前と比べれば非常に動きがあり、良い流れが続いている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・中心街では現在、名刹の祭礼が行われているが、私どもの地区は、中心街から15キロほど離れた田舎のベッドタウンで、祭礼の影響は余りない。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・春の観光シーズンの開幕とともに、ツアーや一般客の客足が戻ってきている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は余り減らないが、気分的には多少なりとも落ち着いた感じである。僅かではあるものの、人出が改善しているように思われる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・全てといっても過言ではないくらい、物品価格の値上げが発表され、実際に値上げが始まっている。この状況で消費意欲向上を望んで、売上を伸ばすことは厳しい。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりで、買上点数は増加しているものの、来客数減少が続いている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・来客数の変化は余りないものの、客単価は落ちてきている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・こここのところ、値上げも大分入ってきているが、影響は今のところ顕著に出ている状況ではなく、今までと変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・毎回同じだが、季節が変わっても商材が動かない。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・年々、集客数が減少している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・半導体不足による新車供給遅れが続いている影響で、販売台数が伸び悩んでいる。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検は定期的なものであるが、ゴールデンウィークを控え、一般整備の入庫が多くなっている。前年は、旅行や外出を控えた様子だが、今年はゴールデンウィークに出掛ける方が多いことがうかがえる。車両販売は、新車の納期が遅れることも今では当たり前となり、それを逆算して新車購入契約を結ぶ客が多くなっている。
		スナック（経営者）	お客様の様子	・客の様子と回答したが、3か月前と全く同じような状態というか、もっと駄目な様子である。今、ウクライナ問題とか良い要素が一つもないので、本当に困っている。
		旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が解除されて個人客は動き始めたが、団体客は自粛傾向が変わらず、動きがない。バス旅行は、バスの利用を敬遠する傾向がみられ、申込みも低迷している。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・新年度に入り、新規加入数が保留や解約数を上回り、良い流れになりつつある。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・特段、新規契約者が増えている様子はない。他社への乗換え等にも変化はなく、良くも悪くも平行線である。
		ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・特別な変化は感じられない。業績も順調である。
		その他サービス〔貸切バス〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてこない。
		その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	来客数の動き	・原油価格の高騰、物価上昇、新型コロナウイルスの感染状況がいまだに収束しないことがある。早く、感染症法2類の扱いから5類に引き下げてほしい。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		設計事務所(職員)	販売量の動き	・計画物件は増えているものの、仕事につながる物件は少ない。
		一般小売店[家電](経営者)	販売量の動き	・商材不足等も影響してきている。
		スーパー(店長)	単価の動き	・4月に入って、買上点数は減り、1品単価が上昇している。
		コンビニ(経営者)	それ以外	・近隣にバイパス道路が開通し、やや悪くなっている。
		コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・来客数が前年と比べて減少している。社会情勢に大きく影響を受けている。
	x	衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・商店街に入通りが全くみられない。
	x	遊園地(職員)	来客数の動き	・3か月前と比べ、来客数自体は戻りつつある。しかし、比率でみると4月は前年とほぼ同じなので、景気判断は悪くなっている。4月上旬は春休み期間のため来客も多く、にぎわっていたが、春休み以降は来客数が減少し、4月中は落ち着きをみせると予想される。
x	その他レジャー施設[ボウリング場](経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響以外にも、諸物価の上昇やウクライナでの戦争等、プラスに働く要素が見当たらない。	
企業動向関連 (甲信越)	-	-	-	-
		食料品製造業(製造担当)	受注量や販売量の動き	・発注量が若干増えてきている。
		食料品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・3月に引き続き、4月も若干だが受注量が増加してきているので、今後に期待する。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・入荷待ちの部品が次々と入り、急ぎの生産が増えてきている。効率は悪いが仕事がある分、有り難い。
		食料品製造業(営業統括)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者は全国的に減少傾向で、人の流れもかなり多くなってきているが、購買意欲は低く、前年比で若干の増加程度である。
		窯業・土石製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・特注商材の受注により一時的に仕事の確保ができたものの、今後は見込めない。
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・資材、製品価格の高騰や納入の不安定化で、景気回復は先に延びるとみている。
		金融業(経営企画担当)	取引先の様子	・依然として、新型コロナウイルス新規感染者数は減少していないが、徐々にWithコロナが浸透してきているようで、観光地における宿泊者数が戻ってきていると感じる。
		新聞販売店[広告](総務担当)	それ以外	・新型コロナウイルス感染防止やロシア、ウクライナ情勢等が、経済活動に大きく負の影響を与えている。生活用品の値上げや燃料費の高騰等、家計に与える影響は大きい。経済を回そうと政府や経済界が働きかけているが、先が見えず、好転している状況ではない。
		金融業(調査担当)	取引先の様子	・製造業の受注水準は底堅いが、ウクライナ情勢等による原材料価格の高騰や円安進行で輸入コストが上昇しており、景況感や業績面に悪影響が生じ始めている。
x	その他製造業[宝石・貴金属](経営者)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響にかかわらず催事は行われているが、前月同様に来客数、購買単価は落ちたままである。円安、金やダイヤモンドの取引価格高騰の影響で、新製品と在庫品の価格に大きな開きが出ており、現状は卸売が非常にやりにくい。	
雇用関連 (甲信越)	-	-	-	-
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・まん延防止等重点措置解除後の景気回復、地元名刹の祭礼等の集客効果への期待感から、宿泊業等で求人数が増加している。
		人材派遣会社(営業担当)	それ以外	・消費意欲がまるで湧かず、週末の買物客も必要最低限の食材のみを購入しているようで、百貨店も夕方になると貸切状態である。これでは、先行きは不安定である。
		職業安定所(職員)	求職者数の動き	・求職者の動きが思ったよりも伸びていない。新型コロナウイルスとどう関係しているかも不透明なため、状況的には変わっていない。
		民間職業紹介機関(経営者)	求人数の動き	・求人数は良い傾向にあるが、正社員採用はまだまだ慎重な姿勢が続いている。
	-	-	-	-

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	-	-	-

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)		百貨店（経理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着くなかで、入社、入学や転勤に伴う人流の活発化と飲食消費の拡大が見受けられる。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・駅が以前よりも混雑している。また、旅行かばんを持った人が多い。
		コンビニ（商品企画担当）	来客数の動き	・依然として新型コロナウイルス新規感染者数の高止まりが続くが、今月は週を追うごとに来客数が伸長している。店前流動も明らかに増加傾向にあり、日配品を主体に需要が高まっている。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・前向きな問合せが多く動きが良い。新型コロナウイルスの感染が収まってきたのが皆が気にしなくなってきたのかは分からないが、今月は非常に良かった。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・1月より停止されていた県民割が4月5日から再開され、好評を得ている。販売量も1月の数百倍に増えて好調である。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が収束に向かっている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・土日以外も特に中高生を中心に来客数が増えてきた。ただし、客単価は低い。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・ゴールデンウィークを控え、4月中旬から人出が増加傾向にある。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・3月下旬から戻り始めた観光客は、新型コロナウイルス発生前の80%近くまで回復した。ほとんどがマイカー利用の若年層であり、中高年層はまだ少ない。修学旅行や卒業旅行などが中心で、観光バス利用の団体客はまだまだである。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・来客数はそれほど変わらないが、購買力のある客が多くなってきた。ゴールデンウィークにどこかへ出掛けるのか、単価は低いがカジュアルシューズの売上が少し上がってきた。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・入学、卒業シーズンということもあり、来客数も増え、ギフト需要も増えた。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除になり、春休みからゴールデンウィークの始まる時点までずっと好調に推移している。
		百貨店（業績管理担当）	販売量の動き	・1月は新型コロナウイルス新規感染者数が増加し、入店客、売上共に厳しかったが、4月は土日を中心に客足が戻りつつある。
		百貨店（計画担当）	お客様の様子	・新規感染者数は横ばいが続いているが、来客数は以前ほどコロナ禍に敏感ではなくなっているように感じる。
		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・コロナ禍だが家族連れの来店が多く、来客数が増えた。
		コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・3月にまん延防止等重点措置が解除されて以降、人の動きは戻ってきている。通勤通学客の増加により、販売量、来客数共に前年を上回る店舗が大多数を占めている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・春休みが終わり一時的に観光客などは減少したが、例年4月にみられる中旬の落ち込みも大幅にはなかった。通勤客などの来客数が前月よりも回復していきなかと、おにぎり、サンドイッチや飲料など春先に売れる商品の伸びが大きかった。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置による制限がなくなって1か月がたち、少しずつではあるが売上が回復傾向にある。
	コンビニ（店員）	来客数の動き	・気温が上がり暖かくなったことと、まん延防止等重点措置が解除されたため来客数が増えた。	
	コンビニ（本部管理担当）	来客数の動き	・売上は前年比103.6%であった。新型コロナウイルスも落ち着き客の動きが活発になっている。数か月前と比べれば、消費マインドの向上を売手側も感じており、直近の小売業態の売上は堅調に推移している。	
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・気温の大きな変化や新型コロナウイルス問題の縮小により、一部の業種で仕事が増え、作業服や用品の需要が増えている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店 (売場担当)	お客様の様子	・客との会話で給料が上がったという人が結構いる。年齢のこともあるかもしれないが、事務職に戻ったという人もいれば給料が上がったのでスーツが必要という人も3月より増えた。ただし、来客数は減っている。
		乗用車販売店 (営業担当)	来客数の動き	・商品が入荷しないのは変わらず、むしろロシア・ウクライナ情勢により生産遅延が出ているが、客の動きは少し良くなってきた。どこのメーカーも生産に遅れが出ているので客も先を見据え購入検討しているため、従来の繁忙期である3月を過ぎても客足は落ちていない。
		住関連専門店 (営業担当)	販売量の動き	・住宅・マンションのリフォーム工事の間合せや見積りが少しずつ出始めてきている。5月以降も同様に新設の依頼、見積りも入っている。
		その他専門店 [雑貨](店長)	来客数の動き	・前々年、前年並みには及ばないが、予想していた売上推移よりも良い傾向にある。
		高級レストラン (経営企画)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の解除や年度替わり等で4月前半からは回復傾向にあるが、大人数での集まりには、まだ回復に時間が掛かる。
		都市型ホテル (経営者)	販売量の動き	・段々と予約件数が増えてきた。
		都市型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染も高止まりしているが、客の意識は少し緩和された気がする。レストランの利用で少人数の宴会が増えてきた。新型コロナウイルス発生以前と比べると50%程度回復している。
		旅行代理店(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりのなか、人流が少しずつ出てきた。
		旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況は余り変わらないが、まん延防止等重点措置が解除されて客の気持ちに緩みが出てきて、2年ぶりのゴールデンウィークやそれ以降についても案件が増えてきている。職場旅行などバスでの長時間移動や家族以外と同室での宿泊にはリスクを感じるようで難しいようである。ようやく家族や仲の良い友人との旅行には出掛けてみようという状況にはある。
		旅行代理店(営業担当)	販売量の動き	・県民割による個人旅行、小グループの旅行実施やスポーツ団体の継続利用で旅行需要は高まっている。新型コロナウイルスの新規感染者数の高止まりはあるが、爆発的に再拡大しない限りは、足元の旅行需要は続くと思われる。
		旅行代理店(営業担当)	お客様の様子	・5月以降で実施を検討する団体旅行の間合せが入り始めている。まん延防止等重点措置などが適用されていないという条件ではあるが、何とか実施にこぎ着けたいという、前年とは違う様子が見られる。
		タクシー運転手	お客様の様子	・3月後半頃には花見客がよく出ており、まん延防止等重点措置も解除されて、日中は女性同士でランチを楽しみタクシーを利用する客もいる。夜の街でも接待を含めて仲間同士で出掛けるなど、随分客が戻ってきている。
		通信会社(企画担当)	販売量の動き	・前月と比べて新規契約者数は増加し解約数は減少しており、回復傾向である。
		レジャーランド (職員)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除され、県民割も始まり、第6波だった3か月前と比べ来場状況は好転しているが、新型コロナウイルス発生前の水準に対しては7割程度の回復状況にとどまる。
		美容室(経営者)	来客数の動き	・新年度になり気分転換やこれまで我慢して来店を控えていた客が多く来店してくれた。
		美容室(経営者)	それ以外	・本来であれば4月は忙しい月であるが、まだまだ新型コロナウイルスの新規感染者数が多く、やはり客の出足が悪い。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が横ばいなので、消費マインドも収縮したままで余り変化がない。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・大分人の流れは戻ってきているが若年層が多く、混んでいる店舗には偏りがみられる。40代以上の人たちの外出行動は、まだ新型コロナウイルス発生以前に戻ったとは言い難い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔贈答品〕(経営者)	お客様の様子	・4月の売上は伸びもせず普通であったが、世の中全体の流れは良くなっている。客の財布のひもも少し緩んできたが、当業界としては、付き合いの幅が少し狭くなって周りによりも自分に金を使う方向に進んでいるため余り伸びておらず、変わらない状態が続いている。
		一般小売店〔酒類〕(経営者)	販売量の動き	・3月のまん延防止等重点措置の解除後も飲食店での酒類販売量は回復していない。今月に入っても解除前と同じで、当社では従業員を休ませたり業務は昼過ぎで終了する状況が続いている。
		一般小売店〔生花〕(経営者)	お客様の様子	・来客数はやや減少しているが、切り花も原油、輸送コストの高騰で仕入価格はかなり値上がりしている。なるべく値上げをしないように努力しているが、物によっては値上げせざるを得ない商材もある。しかし、ギフト関連や必要な物は高くても購入されるので、売上は落ちていない。
		一般小売店〔書店〕(営業担当)	販売量の動き	・年度初めなので動きは少ない。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・来客数、売上共に前年を上回ってきているが、新型コロナウイルス発生前の水準までは戻らない。
		百貨店(販売担当)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除された4月は、期待したほど客足は伸びていないものの、少しずつ人出が戻りつつあるように感じる。購入意欲の高まりか、高額品は安定して稼働している。
		スーパー(店員)	単価の動き	・大豆や食用油などいろいろ値上がりする物が多かったが、極端な買い控えまではいかなかった。みかんやいちごなどの季節商材は終盤を迎えたが、野菜が天候に恵まれ安価で提供できたのが売上につながった。
		スーパー(販売担当)	販売量の動き	・来客数は増えているが、買上点数が伸びるところまでには至らない。4月の値上げも、さほどマイナスにはなっていない状況である。
		スーパー(販売担当)	単価の動き	・1品単価は上がっているが、商品の値上げによるものかもしれない。来客数、買上点数は増えていない。
		コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・来客数の前年割れ、新型コロナウイルス発生前からの大幅な減少は変わらない。
		コンビニ(店長)	来客数の動き	・来客数は前年比でやや増えているが、飽くまでも新型コロナウイルスの感染が小康状態の状況下で増える程度の増加率である。
		コンビニ(店長)	単価の動き	・本部の販促策として、アプリ使用者のみに付与される値引きクーポンやドリンクを1本購入すると1本無料になる販促などに助けられた部分も大いあって来客数増加による売上増加とはなったものの、客の一人一人から節約傾向がみられた。
		衣料品専門店(販売企画担当)	来客数の動き	・注文はかなり少ないままである。来客数も、新型コロナウイルスの規制が緩和されても増えない。
		家電量販店(店員)	販売量の動き	・必要ならば値段が高くても購入するが、無駄な買物はしないという客が多い。
		家電量販店(フランチャイズ経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス第6波の影響で、来客数が新型コロナウイルス発生前には戻っていない。
		乗用車販売店(経営者)	来客数の動き	・来客数が少ない。ガソリン価格の高騰や様々な日用品の値上げの影響か、車検や任意保険も低価格帯に移る客もいる。
		乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・新車の販売台数は前年並みで推移しているが、新車の納期が半年～1年掛かっており、客は先を見越して注文をしている。
		乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・新車の販売としてはそこそこ売れているが、全く車ができて上がってこない。契約は取れても登録納車ができないことが景気の悪い要因となっている。
		その他専門店〔貴金属〕(経営者)	来客数の動き	・卒業、入学や新社会人の腕時計など贈答用の最盛期にもかかわらず、前年よりも来客数が非常に少なかった。逆に自家需要としてのジュエリーが、例年よりも若干増えた。
		一般レストラン(経営者)	お客様の様子	・3回目のワクチン接種をした人などの来店はあるが、それ以外の特に大企業の方や公務員の客はまだまだ出てきていないのが実情である。
		一般レストラン(従業員)	お客様の様子	・まん延防止等重点措置の解除後も客足は伸びていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他飲食〔仕出し〕(経営者)	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が解除にはなったが、ウクライナの問題、円安や株価安等で不安心理が働いているためか、何かとげが刺さっているような雰囲気である。
		その他飲食〔ワイン輸入〕(経営企画担当)	販売量の動き	・自粛ムードが和らぎ、イベントへの需要が新型コロナウイルス発生前の80%程度まで回復している。単価も下がってはいない。
		観光型ホテル(経営者)	来客数の動き	・3か月前の1月は、11日に県民割は終了したが既存の予約は承認されたため12月頃の忙しさが再来し、下降傾向にはあったが予約の残りがまだあった。4月は、まん延防止等重点措置が3月に解除されて徐々に上向きになっているが前半はそれほど多くなく、後半に盛り返してきてはいるがまだ週末中心で平日は余り忙しくない。1月は下り坂、4月はやや上り坂で、総合すると変わらない。
		観光型ホテル(支配人)	来客数の動き	・新年度に入っても状況は3か月前と変わらない。全社で前年比150%超えはしていても、予算比では70%とまだまだ足りない。しかも宿泊が60%、宴会が70%と2本柱がこれでは、月次の結果は大きくマイナスとなるのは明らかである。
		旅行代理店(経営者)	それ以外	・まん延防止等重点措置の外出制限も解けて人出は増えてきたが、ターミナル駅周辺の飲食店では一部を除き以前のようなにぎわいは見受けられない。都心部の地下街も、依然としてシャッターの降りている区画もあり出店者が決まっていないう状況である。
		タクシー運転手	来客数の動き	・悪いまま推移している。
		通信会社(サービス担当)	販売量の動き	・ADSLサービスの終了に伴う光回線の新規エリアの拡大や、新型コロナウイルス対策のリモートワークにより、光回線の新規申込みが増加している。
		観光名所(案内係)	お客様の様子	・春とともに人出が増えた。これからだと思う。
		ゴルフ場(支配人)	来客数の動き	・今月の入場者数は前年及び予算並みに推移している。今年に入ってから2月に降雪の影響を受けた以外は、順調に入場者数を確保できている。
		その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕(広告担当)	単価の動き	・木材や資材が更に高騰するおそれがある。
		美顔美容室(経営者)	来客数の動き	・なかなか収まらない新型コロナウイルスを気にして来店がまだの客も全く気にしない客もいて、気にする客にはまだ来店してもらえない。
		美容室(経営者)	お客様の様子	・やはり新型コロナウイルスの影響である。
		住宅販売会社(経営者)	それ以外	・分譲住宅用の土地が少なく値上がりしている様子である。
		住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・コロナ禍が若干収束傾向ではあるが、販売には大きな変化はない。
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕(営業)	販売量の動き	・繁忙期も終わり、新型コロナウイルスも続いているが客足は例年並みになってきている。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・来客数がやや減少傾向にあるため、どうしても売上や販売量につながっていかない状況である。
		一般小売店〔高級精肉〕(常勤監査役)	販売量の動き	・今の物価高がこれからどうなるか心配である。
		百貨店(総務担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少とともに客足や売上も戻りつつあったが、新規感染者数の高止まりに加え、雨の日の入店客数が非常に少なく、なかなか売上などは上向きにならない。富裕層の資産効果も発現が乏しく、高額商品の売上も厳しい状況となりつつある。
		スーパー(店長)	来客数の動き	・前年比では来客数95%台で推移している。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・物価上昇が止まらず家庭への打撃が大きい。必要な商品を必要な量しか買わない時代となっている。
		スーパー(店長)	単価の動き	・値上げにより1品単価は上がっているが、買上点数は減っており客単価が落ちている。
		スーパー(店員)	販売量の動き	・値上げの影響が引き続いている。売上金額ベースでは前年超えの 카테고리もあるが、数量では苦戦が続く。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		スーパー（営業企画）	お客様の様子	・外食の回復が進んできているためか、客単価、買上点数には変化ないが、来客数が減ってきている。	
		衣料品専門店（売場担当）	お客様の様子	・外商客について、高額商品を購入する客の割合が減少している。	
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・近頃、身の回りで生活用品の価格上昇を強く感じる人が多い。客との話のなかでも、いろいろな物の価格が上がり、今必要な物でなければ買うのは後回しと言われる。以前には、新型コロナウイルス明けには我慢していた消費活動がはじけるといわれていたが、残念ながら余り感じることはできない。	
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・材料費が高騰している。また、客はゴールデンウィーク前で出費を減らそうと買い控えをしているように思う。	
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置の適用中は客が出てこない状況であったため店は暇であったが、それに比べれば良好である。	
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除されれば客が戻ってくると思っていたが、先行きを考えると、いまだに戻らない状況が続いている。まだまだ先が見えない状況である。	
		パー（経営者）	来客数の動き	・外食は、特に2件目に行く店から客足が遠のいている。企業では人数制限や経費が使えないなど厳しい状況である。	
		テーマパーク（職員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り難しい。インバウンドが来ないうちは、悪い状態が続く。	
		パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きや単価から、やや悪くなっている。	
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・客が余り来てくれない。	
		理容室（経営者）	お客様の様子	・次から次へと予想外の事案が出てきてどうしようもない。	
		設計事務所（職員）	お客様の様子	・客との話のなかに景気の良くなる話は全くない。	
		住宅販売会社（従業員）	それ以外	・上海のロックダウンの影響などで住宅設備や半導体の問題は更に悪化している。住宅は完成しても住める状態ではない物件が、数多くなる可能性が出ている。	
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	それ以外	・最近資材の納品が遅いため直接運送業者に尋ねたところ、混載不可、燃料価格の高騰や人材不足など、どの業種も余裕がない。まだまだ厳しい状況が続いている。	
		×	スーパー（店員）	来客数の動き	・天候の悪い日が続いたこともあり、来客数が非常に少なく売上が悪い。
		×	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いて人出は以前より多くなっているように見受けられるが、物価の上昇が続いているため洋服の購入は最後になっている。どん底だと思っていた前年4月の売上すらクリアできなかった。
		×	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・4月に入ってから動きが止まった。納期もいまだにはっきりせず、客の購買意欲も薄れがちである。
		×	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・現在は在庫が本当にほぼない状態のため、かなり厳しい状況である。
		×	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・半導体不足で、機器が納入されない。
		×	設計事務所（経営者）	単価の動き	・ここ1か月仕事をしていない。小さな案件もないため、先につながらない。
	×	住宅販売会社（従業員）	それ以外	・建材の仕入単価が高くなり過ぎている。建材の高騰は、直接消費者への価格に影響している。	
企業 動向 関連 (東海)		-	-	-	
		化学工業（総務秘書）	それ以外	・ゴールデンウィークの旅行の予約状況も随分回復しているようで、休日の街には人が戻っており久しぶりに行列の光景を見るようになった。新規感染者数に関する報道はあるものの、身近で発生した感染者の病状は恐れるほどではなかったという経験もあり、日常生活を元に戻すマインドに移行している。	
		窯業・土石製品製造業（社員）	取引先の様子	・加工を委託している取引先が軒並み多忙で、納期が2倍になっている。中には納期1年といった極端な例もあり、新型コロナウイルスによる停滞から抜け出しつつある。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北米地域の自動車向け設備受注は、引き合いも含めて多数入り、中止や延期となっていたプロジェクトでも復活する案件が出てきた。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・EC事業の拡大で、B to Cの物量が増加している。新型コロナウイルスの影響も少なくなり、人材採用も回復基調にある。
		通信業（総務担当）	それ以外	・人流制限が緩和されて、人が移動すれば当然消費が発生して、金が動き始めた。市内のホテルにも観光バスの停留が頻繁になり、観光が少しずつ戻ってきたと感じる。
		金融業（従業員）	それ以外	・コロナ禍ではあっても制限がない状態でのゴールデンウィークを迎えている。県民割等のキャンペーンもあり、景気は良くなっているように感じる。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・自動車部品などの製造業は比較的活発に動いており、飲食店なども夜の営業ができるようになり、それに伴って一般の人が利用している。景気自体は上昇しているイメージがある。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・折込チラシの受注件数が、まん延防止等重点措置による制限中と比べれば若干良くなってきている。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・飲食店以外の客先が比較的好調なのは変わらないが、飲食店にも客が戻ってきているように感じる。ランチタイムに客がいるのは当然としても、夜の営業時間にも以前より客が多い。子供連れもちらほら見受けられる。新型コロナウイルスの新規感染者数が減っているわけではないが、少しずつ以前のような行動に戻ってきているように思う。
		食料品製造業（営業担当）	取引先の様子	・販売数は前年と同程度で、新型コロナウイルス発生以前の数量には遠く及ばない状況が続いている。
		食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・世界的に暗いニュースが多く、また、新型コロナウイルスの感染拡大防止への対応も依然気を緩めることのできないなか、全体的な閉塞感がある。物量も鈍いように感じられる。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が減少している。原材料を始め仕入価格が上がっていることや燃料の価格が上がっているため、原価が高くなっている。一部の販売価格は上がっている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・戦争や新型コロナウイルスの直接的な影響は余りないが、良くなる傾向もない。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・客先の業界全体としては若干持ち直してはいるが、新型コロナウイルス発生前の状態からみれば大分悪い状態である。そのなかでの設備投資も、前年よりは増えているが、まだまだ厳しい状態である。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	受注量や販売量の動き	・相変わらず月の半分程度は休みである。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・日用雑貨の物量が前年比90%ほどで推移している。また、新型コロナウイルスの影響などによる輸出入の混乱は更に広がり、客に転嫁できないコストアップが発生している。
		輸送業（従業員）	それ以外	・各荷主からの引き合いは結構増えてきており、新型コロナウイルス発生前の水準に戻りつつある。ただし、売上は回復しても、それ以上に燃料を始めとして諸経費が上がってきている。運送業は燃料を消費しなければ稼げないので、結局利益は増えない。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・コロナ禍とロシアのウクライナ侵攻の影響で、貨物の動きが読めない。
		輸送業（エリア担当）	それ以外	・週に数回、仕事終わりの夜や週末のいつも同じ時間帯にゴルフ練習場に通っている。まん延防止等重点措置が解除されて客が増えると思っていたが、練習場の人に聞いても客足がそれほど伸びておらず大盛況ではないようで、景気の後退感がある。
		通信業（法人営業担当）	それ以外	・何十年ぶりの円安や企業物価指数の大幅な上昇によって円ベースでの輸入物価指数もかなり上昇している。ロシアのウクライナ侵攻による原油高や円安が企業の収益を圧迫しており、家計での負担もますます大きくなっている。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染がまだまだ落ち着いていない。ウクライナ情勢も長引いていることから、景気の状態は変わらない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・ここ数か月の状況は変わらない。
		不動産業（経営者）	それ以外	・例年よりもやや雨の日が多いが、新型コロナウイルス新規感染者数は減少傾向にあり、外出や遠出する人が徐々に増加傾向になっている。売上は前年を上回る状況である。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・ウクライナ情勢の影響からも日常生活用品等が徐々に値上がりしており、広告出稿にもその影響が出始めている。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注価格や販売価格の動き	・原材料費の値上げや仕入先からの値上げがあるが、売価は変えていないので、受注そのものへの影響はまだない。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・ゴールデンウィーク前ではあるが、余り忙しくない。5月は生産量の低下が見込まれ、まだまだ厳しい状態が続いている。全体としては大した変化はなく、競合先でも製造業はまずまずで、同様の動きである。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	受注量や販売量の動き	・原油高、物価高、円安、ロシアのウクライナ侵攻、新型コロナウイルス感染症のほか半導体不足により自動車関連の受注量、販売量がいまだに低調のまま推移している。これらの影響により、景気はやや悪い。
		化学工業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・原油価格が高騰しており、容器用プラスチックの原料価格も高騰して収益がひっ迫している。客先への値上げも難航しており、厳しい状況である。
		金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・仕事量は何とか減らずに持っているが、材料や資材の入手難が気になり、価格高騰がボディブローとなりつつある。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・客先の設備投資意欲は衰えていないが、機器生産においては半導体不足により原材料が値上がりする一方、販売価格への転嫁はこれからのので、適正利益の獲得や維持には当分時間が掛かる。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・材料の入荷状況が悪く、納品を間に合わせるのに苦労している。当社以外の部品納入停止による注文の取消し等が頻発しており、注文書を受けとらないと生産しても大丈夫かどうかの判断が付かない。完成品在庫も増えて資金繰りが難しい状況となっているが、3次、4次下請では更に厳しい状況であろうと思われる。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	それ以外	・戦争の影響か、いろいろな物の値上げに加え円安の影響で更に景気は悪化している。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・完成車メーカーでは、半導体不足や上海でのロックダウンの影響で部品が入ってこないことから、ラインを止めたり減産する傾向がみられる。
		通信業（法人営業担当）	それ以外	・最近、外食に出掛けるようになったが、閉店していたり、値上げの告知が貼ってあったりする。せっかくコロナ禍の自粛から解放されて外食を楽しむつもりで出掛けても、食材の値上げや原油価格の高騰などで生活のなかの楽しみが減っていると感じる。
		不動産業（開発担当）	取引先の様子	・鋼材、資材や原油等の価格上昇の影響で、工事費が上昇している。
		公認会計士	それ以外	・中堅中小企業の業績が悪化している。中堅中小企業では、従業員のボーナスを含む給料も上がっていない。円安やウクライナ戦争等の影響で材料費が高騰し、収益悪化につながっている。
	x	鉄鋼業（経営者）	それ以外	・全ての要素が悪い状況になっている。半導体から始まった客先での部品調達の遅れ、前年から続く鋼材価格の急騰、さらにレアメタルの品薄にロシアの起こしたウクライナ情勢が火をつけて、更なる資源価格の高騰と円安など、全ての要因が需要減少と客の調達縮減につながっている。
雇用関連 (東海)		-	-	-
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・まん延防止等重点措置が解除され、少しずつ求人が出ているところもある。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・主要客の自動車メーカーでソフト系エンジニアの派遣募集が増えており、当社でも何名かの契約決定となっている。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	それ以外	・コロナ禍で動きが止まっていた旅行、レジャーやイベント催事関連の出稿が、回復傾向にある。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数は、緩やかではあるが増加を続け、有効求人数も前年同月比で増加傾向にある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数が若干増加し、求職者数は若干減少した結果、求人倍率が上昇した。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降に増え続けていたパートタイムでの求職者数が減少に転じた。
		人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・入国規制が緩和されて外国人労働者が徐々にではあるが増加しているものの、まだまだ景気の回復には至っていない。
		人材派遣会社（企画統括）	求職者数の動き	・新年度に入り求職者の動きが落ち着きを見せている。
		人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・求人数は増加傾向にあるが求職者とのマッチング率が低下し、採用数は横ばい傾向にある。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・4～6月の自動車生産においては、部品供給不足や半導体不足の影響で生産抑制が掛かり、工場の稼働停止や減産が行われ人員調整の波ができる。労働者派遣業においては人材確保や余剰人員の調整が必要となり、派遣労働者からも残業時間が減るため不安の声が出始めている。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあり、飲食や旅行などのサービス業は、新型コロナウイルスに注意しながら業務を再開している。しかし、ここに来てウクライナ危機の影響が県内でも出始めている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・いまだ新型コロナウイルスの影響がみられるなか、おおむね職種別有効求人数は前年同月を上回っているが、介護関連のみ2か月連続で減少している。また、どの職種も有効求人数は3か月前と大きく変わっていない。
		民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・年度替わりを迎え一旦採用数自体は鈍化しているが、採用を継続する企業は多く、新卒採用と並行しながら進めている状況である。
		職業安定所（職員）	それ以外	・新規求職者数は減少傾向に転じており、転職には慎重な動きが見受けられる。ロシアのウクライナ攻撃により経済に影響を受けており、景気は下向きの状況といえる。
	x	-	-	-

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (北陸)		一般レストラン（統括）	お客様の様子	・年明け早々は新型コロナウイルスの感染拡大で外出や外食の機会が減少し、2～3月はまん延防止等重点措置の適用などで営業が制限され、特に夜の利用は激減していた。しかし、3月21日をもってまん延防止等重点措置が解除され、春休みも始まったため、外出機会が増えている。県内の観光客も増加し、駅周辺を中心に多くの人でにぎわっている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・今年に入り久しぶりに常連客が来店するようになり、ほっとしている。しかし、まだ本格的な回復ではない。
		都市型ホテル（役員）	来客数の動き	・ビジネス客、レジャー客共に個人予約の増加で堅調に推移し、2か月連続で稼働率が10%アップしている。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・4月は徐々に全ての商品群で前年実績を超えている。新型コロナウイルス発生前の2019年との比較でも2か月連続で実績を上回っている。旅行などの外出需要が復活したことで、それに伴う婦人、紳士の春夏物衣料品の動きが好調である。
		百貨店（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染対策をしながら通常の生活をする傾向が強くなり、特に3月以降の来客数がやや増加している。人気の食催事やイベントでの来客数もやや増えている。販売量も若干増加傾向にあるが、ゴールデンウィークに旅行するという声は少なく、報道されているほど旅行関連商品の需要は活発化していない。特にバッグや衣料品は、必需品や買換えなどによる購入が大半である。
		スーパー（総務担当）	それ以外	・今年は花見客が多くみられる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・自社のキャンペーン期間中は堅調だったが、その期間以外の来客数は大幅な減少となり、特に夜8時以降の落ち込みが激しい。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症に慣れてきたことにより人流が戻りつつあると感じている。それにつれて消費も増加するとみている。
		その他小売【ショッピングセンター】（統括）	来客数の動き	・新規感染者数がピークを過ぎ、県内の警戒が最も低いレベルになり、近隣県でもまん延防止等重点措置が解除され、来客数は少しずつ増加している。しかし、生活必需品の値上げラッシュやガソリン価格の高騰などにより販売量は低調で、消費意欲が戻りつつあるようにはみえない。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除されてから予約が増加傾向となり、3月は前年同月比で114%となっている。しかし、年間で見ると前年比では87%、前々年比では52%と厳しい状況が続いている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・県民割の販売が売上の確保に大きく貢献している。特に県内日帰り旅行が好調である。出張や団体旅行の問合せも徐々に入ってきている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・県内でイベントや大型商業施設の開店などがあり、多くの人が集まっている。夜の繁華街は週末のみ人が少し出ているが、遠方から来た客のタクシー利用はほとんどない。
		通信会社（職員）	単価の動き	・消費者物価指数の上昇は、景気判断の上下にはあたらないと考えているが、価格転嫁しづらい業種にとっては厳しい。
		テーマパーク（役員）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除され、社会経済活動が再開したことにより人の動きも戻ってきていることから、やや良くなる兆しがみえる。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・2月は販売額が落ち込み、3～4月にかけては若干良くなってきている。しかし、値上げの影響があり、販売額の増加にはつながっていない。
		一般小売店【精肉】（店長）	販売量の動き	・とり肉や豚肉の動きは好調に推移している。しかし、ギフト関係の動きが悪いことや、気温が高いせいか焼き肉にシフトしているため、牛肉等の高額な肉の動きが良くない。
		一般小売店【書籍】（従業員）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除され、人出は増えている。しかし、販売量の増加までには至っていない。
		スーパー（店舗管理）	来客数の動き	・自治体の観光振興策のクーポンは、実施期間の延長が繰り返され、当初の予定よりも3か月伸びているが、効果がない。また、値上げの影響が大きく、特売のチラシを入れたときしか動かない商品が増えている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・なかなか売上が回復しないなかで光熱費などの値上げがめじろ押しで、結果として業況は回復せず悪化している。
		家電量販店（本部）	販売量の動き	・携帯電話の売上に助けられているが、足元は厳しい。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・自動車の受注は、依然として好調に推移している。
		自動車備品販売店（役員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数は依然として多い状況だが、警戒感が下がり来客数は新型コロナウイルス発生前に戻りつつある。しかし、度重なる値上げで買物には慎重になっている。
		住関連専門店（役員）	来客数の動き	・この数年、毎月新型コロナウイルスの新規感染者数が来客数に影響を与えてきたが、感染状況が落ち着いてきた今でも回復する兆しがみえない。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除され、個人旅行や家族の集まりでの利用増加に手応えを感じるが、企業の接待や宴席による利用はまだまだで、新型コロナウイルス発生前と比べると全体では7割弱の集客となっている。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が余り減らず、客足も思いの外戻らない。特に大人数の利用や夜の客は厳しい。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・4月の売上は、前年同月比で170%となっているが、新型コロナウイルス発生前と比べると60%程度の売上である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・本来なら若年層向けの新規契約数が伸びる時期だが、携帯電話を持つ年齢が若年化し、契約時期が分散することによって、例年売れていた時期とは重ならないようになってきている。	
		通信会社（役員）	販売量の動き	・3か月前から引き続き、通信、放送サービス共に契約者数は前年同月を多少上回る程度で推移している。	
		その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	お客様の様子	・コロナ禍の影響で、全ての動きに制限が掛かっているような雰囲気があり、新規会員が増える様子が見られない。	
		商店街（代表者）	お客様の様子	・軽症者が多いとはいえ、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が高止まり状態で、特に高齢者は外出に抵抗があるようで人出が戻っていない。	
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・3月下旬に駅前商業施設が開業し、土日を中心に来客数は微増したが、天候不順や気温の低下で春の羽織物系の衣料品を中心にファッション関連が苦戦している。また、好調だった生鮮品でも価格志向が強まり、食品スーパー等へ客が流れている。	
		スーパー（店長）	販売量の動き	・現在は来客数が横ばいで購入点数は微減である。買上単価が上昇しており、売上は増加しているように見えるが、その内容が悪い。	
		スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・値上げが続き、ディスカウントショップへの客の流出が顕著である。さらに、全国規模のショッピングセンターなどでは価格が据置きとなっており、中小企業としては打撃を受けている状況である。	
		スーパー（統括）	それ以外	・ウクライナ情勢等により国際物流機能が停滞しており、原材料価格や電気料金等が高騰している。	
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染は収まりつつあるが、消費者物価、特に食料品の値上げが相次いでおり、購買については慎重にならざるを得ない。	
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症が商品供給に影響し、人気商品が入荷しない。	
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・今月に入りメーカーからの新車入荷が極端に遅れている。客にも新車の納車時期が正しく伝えられない状況が続いているなかで、販売量の確保が困難になっている。	
		その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・全てのものが値上がりし、この先のことを考えると大変不安である。	
		タクシー運転手	来客数の動き	・当地の新型コロナウイルスの新規感染者数が連日300人前後の高止まりで推移し、なかなか減少しない。夜の街の人出は多少増えてきているが、全体的にはまだ回復していない。	
		美容室（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの新規感染者数が200人台で高止まりし、自分の周辺でも感染する人が増えている。当店では特に高齢者の来客数が落ち込んでいる。	
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・イベントや展示場への来場者数は極端に減少している。新規感染者数の高止まりが続いており、イベントへの来場は見込めない状況である。	
		住宅販売会社（従業員）	それ以外	・木材や住宅設備などの不足及び価格高騰により、必要資金がかなり上昇している。また、資材の入手時期も分からない状況が続いており、見積り提示から契約までに時間が掛かるようになっている。	
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・天候が良くなったにもかかわらず、住宅展示場の来場者数が少ない。	
		住宅販売会社（営業）	お客様の様子	・木材を中心に原材料価格が高騰し、単価を上げざるを得ず、客が対応できない状況が出てきている。	
		x	商店街（代表者）	来客数の動き	・期待していた桜の開花シーズンは、人通りはかき多かつたものの地元客が多く、売上は前年並みと厳しい結果になっている。まん延防止等重点措置が解除され、人通りは徐々に回復しつつあるが、客の買上単価は低く、高額品が動く気配がない。
	企業 動向 関連 (北陸)		-	-	-
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・3月決算企業における業況見通しは、前年と比べて改善している取引先が多い。	
	税理士（所長）	取引先の様子	・建設業はおおむね順調である。2～3か月前と比べてマイナスになっている事業所はない。製造業の一部の会社では価格はともかく資材が順調に調達できているようで、会社によって差はあるものの上向きの状況である。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は変わらずに推移している。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・半導体不足や世界的な新型コロナウイルスの感染状況に加え、ウクライナ情勢の緊迫化による物流や原材料費高騰等の影響が大きく、引き続き厳しい状況が続いている。
		一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前から引き続き、受注量はコロナ禍直前よりもやや多くなっている。
		輸送業（管理会計担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスや原油価格の高騰、世界情勢等の影響で企業間での物量は低迷が続いており、変化はない。
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者の情報では、余り動きが活発ではないという意見が多い。
		司法書士	取引先の様子	・新築住宅において、長期優良住宅やグリーン住宅といった建築資金に余裕のある案件が多くなっている。
		食品製造業（経営企画）	それ以外	・受注量や販売量は引き続き堅調に推移しているが、それに対応するのが難しくなっている。輸入原材料価格の上昇が止まらず、原油由来材料のコストアップも重なって採算性は急激に悪化している。また、外国人労働者数の減少により必要な労働力が確保できない状況である。
		繊維工業（総括）	受注価格や販売価格の動き	・全体の受注は回復傾向にあるが、原材料価格の高騰が収益を圧迫している。
		建設業（経営者）	それ以外	・2月24日のロシアによるウクライナへの軍事侵攻を受け、原油や液化石油ガスの価格が高騰するという心理的な不安から景気の悪化を見込んでいる。
		x	輸送業（役員）	取引先の様子
雇用関連		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・飲食業や販売業の店がかなり一杯になっており、活気が出てきている。
(北陸)		人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・派遣先企業全体の求人数は増加しているが、ロシアのウクライナ侵攻の影響から、求人を取り下げたり、求人数を減らしたりする派遣先企業が若干みられる。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・継続案件、スポット案件共に求職者数が増加傾向である。
		新聞社 [求人広告] (営業)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス感染症による行動規制がなくなり、観光業に活気が出てきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数の増加が続いている。
		求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・大きな変化はない。
		新聞社 [求人広告] (担当者)	求人数の動き	・一時期と比較すると、求人広告の出稿意欲は戻りつつある。ただし、業種や雇用形態に偏りがあり、全体として上向きになったとは言いきれない。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人数は増えていない。求職者については、長期よりも短期勤務の仕事への応募が多い。
		x	-	-

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・高額品を中心とした外商客の売上は好調に推移し、目標も上回っている。その一方、外商以外の国内売上は、目標には少し届いていない。
(近畿)		百貨店（マネージャー）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置の解除後、経済活動の活発化で人流が増えるなか、中間層によるファッションの買換え需要もあり、紳士、婦人用の服飾アイテムの販売が20%以上伸びた。また、食品も総菜やベーカリー、菓子等はオフィス勤務者を中心に2けたの増加となっている。富裕層の購買も勢いが続き、時計や宝飾品を中心に好調を維持している。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が解除されて、1か月が経過した。最終週のゴールデンウィークを前に、出社率が80%ほどに上昇したため、販売量が8%増加している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・修学旅行生が多く来ているため、忙しくなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		商店街（代表者）	販売量の動き	・売上が前年比で30%増えており、1か月を通じて、安定して伸びている。
		一般小売店〔珈琲〕（経営者）	販売量の動き	・ゴールデンウィークに向けて需要が伸びてきている。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	来客数の動き	・前年と比べて、来客数が3割増加、売上が約2割増加と好調である。店内の人の動きを見ても、明らかに前年とは違う。
		一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	それ以外	・売上は前年比で10%増加している。
		一般小売店〔野菜〕（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が落ち着き、飲食店の客も戻って、少しにぎやかになっている。このままの状態が続けば、上向いてくる。
		一般小売店〔菓子〕（営業担当）	販売量の動き	・直近は食品の販売量が伸びており、前年と比べても好調である。このまま好調を維持したい。
		百貨店（販売推進担当）	お客様の様子	・3年ぶりに、1か月を通して通常の営業ができた。円安による輸入商材の値上げが相次いでおり、駆け込み需要で高級時計などがかなり好調に動いている。
		百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が解除され、来客数が前年比で約30%増えている。売上も約20%増えているほか、インバウンドが増えており、特選洋品なども好調に推移している。
		百貨店（服飾品担当）	単価の動き	・コロナ禍は続いているものの、4月に入って、来店客からはかなりリラックスした雰囲気を感じる。新型コロナウイルスの新規感染者数はまだまだ減っていないが、買上客が増えている。まだ対面接客が規制されているコスメ関連でも、徐々に数字が伸びているなど、欧米と同様にウイルスへのおそれがなくなってきた。ゴールデンウィークに向けて旅行関連の商材にも動きがあり、客の意識の変化が感じられる。売場はラグジュアリー関連による売上のけん引が続いており、2019年と比べて国内客の売上が大きく伸びている。
		百貨店（マネージャー）	お客様の様子	・来客数が増えているほか、当店の周辺の商業施設や店舗前の大通りでも、3か月前から明らかに人が多くなっている。さらに、観光客とみられる人の動きも出てきているが、観光客は10～30代の若年層が多く、40代以上は余りみられない。
		百貨店（宣伝担当）	お客様の様子	・4月に入って来客数がかかなり戻ってきたほか、入学や卒業、新生活関連などの、新年度のセレモニー需要が増えてきた。また、久しぶりに春の行楽を楽しむために、買物にきたという声も多い。
		百貨店（売場マネージャー）	販売量の動き	・新型コロナウイルス発生前の2019年との比較では、国内売上がほぼ横ばいの状況である。来客数も前年比、19年比共に回復傾向にあるため、周囲の景気は上向いていると感じる。
		百貨店（外商担当）	お客様の様子	・富裕客の商談件数が明らかに増加傾向にある。百貨店への来店頻度やホテルの催事での動員客数などでは、新型コロナウイルス発生前の水準に戻る勢いが感じられる。
		百貨店（特選品担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスやウクライナ危機などの影響には、ネガティブな要素が大きい。価格の上昇もその1つである。ただし、金やダイヤモンドの相場が上がり、宝飾品といった高額品の更なる値上げも予想されるため、投資目的も含めて購入する人も多い。足元は宝飾品を中心に高額品の売行きが良く、現段階では全体として上向いている。
		百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・気温の上昇や行楽志向の高まりで、4月上旬からファッション関連や食料品の売上は好調に推移している。入学式や入園式などの行事も行われたことで、関連需要も復活傾向にあり、単価の高いスーツやセットアップの売行きが好調となっている。
		百貨店（売場マネージャー）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が3月初旬に解除され、客の動きは良くなっている。また、来客数も2月が前年比で14.7%の減少、3月は0.2%の減少、4月は16.0%の増加と改善傾向にある。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・コロナ禍の環境に変わりはないが、行動規制がなくなっている分、人の動きが活発化している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	お客様の様子	・4月に入り、行楽関連の商品が全体的に売れ始めている。特にキャリーケースのほか、帽子やパラソルなどのUV関連商品、高単価の弁当などの動きが目立つ。また3月後半以降は、入学や卒業、新学期用品などの学校行事関連の売上が、前年比で130%と売れている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が解除になり、少しずつ動きが出てきたと感じる。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・店の周辺で働く人の数が、以前よりも増えている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除されてから、近隣企業に本社する社員が少し増えたようで、朝と昼のピーク時の来客数が微増となっている。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・休日の朝などには、家族連れや数人のグループ客が来店し、ドリンク類や食料品を大量に購入する動きが増えている。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・暑くなってきたほか、コロナ禍が少し落ち着いたことで、客が増えている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・3か月前と比べると、コロナ禍の状況が少し落ち着き、まん延防止等重点措置も解除され、来客数は少しずつ増えている。一方、ロシアのウクライナ侵攻が原価の上昇につながっており、値上げも含めて対応に苦しんでいる。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が少し落ち着き、来客数が増えている。また、ウクライナ危機や中国での大都市のロックダウンにより、商品の値上がりや生産ストップなどのニュースが増え、その前に購入する動きなどで販売量は伸びている。
		その他専門店【食品】（経営者）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が解除されたため、市場の動きは少し回復しているが、状況が良いわけではない。
		その他専門店【ドラッグストア】（店員）	単価の動き	・4月の値上げにより、客単価が少し上がった。来客数も好調な動きとなっている。新型コロナウイルス関連の商品も進化し、マスクでは服とコーディネートできるような商品も出てくるなど、選択の幅が増えている。
		その他専門店【医薬品】（管理担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少や、気温の上昇により、化粧品や医薬品、健康食品の販売が伸びている。今後も同様の傾向が見込まれる。
		その他小売【インターネット通販】（企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きつつあり、来客数が増えている。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置も解除され、人の動きが少しずつ活発になってきた。毎日の予約数が目に見えて増えている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月は売上の波が非常に大きく、動向が読みにくい。ただし、少しずつではあるが、4～5人程度までの身近な人同士の会食が増えている。一方、会社によっては緩くなっているが、まだまだ会食を許可していないケースも多く、当分は飲食店の利用を自粛する傾向が続くそうである。
		一般レストラン（企画）	販売量の動き	・2019年と比べた売上の変化率は、前月よりもやや改善したが、依然として100%には届かない。また、客単価は堅調に推移しているが、来客数の伸びに大きな変化はみられない。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・府民割などが開始されたものの、客の動きはやや悪い。
		都市型ホテル（管理担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の解除後、レストランの来客数が戻ってきている。前年比でも増えているため、コロナ禍は続いているが、人の動きが活発化していると考えられる。
		都市型ホテル（販売促進担当）	来客数の動き	・前月の客室稼働率は56.3%であったが、今月は58%の見込みと、動きが出てきている。最近の傾向は直近での予約が多いが、少しずつ早めの予約も増えるなど、良い傾向がみられる。宴会の予約も、人数の制限が緩和され、今秋の予約も少しずつ入っている。レストランでは宿泊客向けに弁当をデリバリーしているが、このところ利用が減っており、コロナ禍の影響が少なくなった証拠であると感じる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		都市型ホテル (客室担当)	来客数の動き	・3回目のワクチン接種も進み、府民割などで観光しやすい状況に少し戻っている。週末の京都駅の入出も増加している。
		都市型ホテル (管理担当)	お客様の様子	・徐々に客足が戻りつつあるが、大人数での飲食がまだ制限されているほか、海外からの客が戻っていないため、収益が完全には回復していない。
		都市型ホテル (総務担当)	来客数の動き	・宿泊やレストラン利用は、個人客を中心に回復の兆しがみられるものの、団体客の利用や、企業による宴席利用の回復はみられない。
		旅行代理店(支店長)	お客様の様子	・まん延防止等重点措置など、全ての制限が解除されてから1か月となり、客がそろそろ動き出そうというマインドになっている。ゴールデンウィークの旅行も間際の予約が増えてきている。
		旅行代理店(役員)	来客数の動き	・3回目のワクチン接種の広がりや潮目が変わり、需要が増えてきた。Go Toキャンペーンの再開や、県民割の他府県への拡充は進んでいないが、落ち着いた春は3年ぶりなので、春らしくなるにつれて出掛ける人が増えている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・まん延防止等重点措置の解除に加え、新年度入りしたことや、気候の変化もあり、人々の動きが活発化している。今までの反動や巣籠りからの脱却に伴い、タクシーの利用率も少し上がっていると感じる。
		テーマパーク (職員)	来客数の動き	・学生の修学旅行や遠足などが中止となる傾向が落ち着き、積極的に移動するようになっている。
		住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・物価の上昇で商品価格は上がっているが、動きを控えていた客が動き出している。
		住宅販売会社 (総務担当)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の解除に伴い、人の動きが活発化しており、来客数も増え始めている。
		その他住宅[展示場](従業員)	販売量の動き	・住宅展示場への出展各社の契約件数は、前年比で1割増えている。
		一般小売店[事務用品](経営者)	販売量の動き	・コロナ禍以降、初めて制限のないゴールデンウィークとなったが、予想どおり客足は戻っていない。宿泊の予約は良いが、商店には厳しい状況が続いている。
		一般小売店[衣服](経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が大幅に減っているわけではないが、以前よりも人出は増えているように感じる。来客数も数が月前と比べて増えており、気の緩みもあるのか、消費者から購買意欲が少し感じられるようになった。ただし、全体的な販売量は依然として増えておらず、楽観視はできない。
		一般小売店[呉服](店員)	販売量の動き	・まだ買い控えている人が多く、着物を買うお金があるなら、ウクライナの子供に寄附したいという客もいる。
		百貨店(売場主任)	販売量の動き	・駅の利用客が増えているため、入店客も増えて、売上の拡大につながると期待していたが、今のところは来客数の増加による効果はない。
		百貨店(売場主任)	お客様の様子	・今月は目標を達成できる見込みである。ただし、好調な商材は限られており、前年の状況を考慮すると、決して好調とはいえない。コロナ禍による景気の悪化や、ウクライナ危機による物価の上昇などが、消費者の購買心理を悪化させている。それに伴い、不要不急の商品の購入を抑える傾向はより一層強まっている。
		百貨店(売場主任)	単価の動き	・コロナ禍が一旦収まり、今月の来客数は25日までで前年比プラス3.2%と回復基調にある。売上もプラス2.5%とまずまずの動きであるが、ウクライナ危機による食材の相次ぐ値上げにより、必要な分しか買わない傾向が強まっている。新型コロナウイルス発生前の19年比でみると、非常に戻りが弱い。
		百貨店(企画担当)	お客様の様子	・前年の4月は新型コロナウイルスの感染拡大時期に当たり、花見も自粛となった。今年は前年よりも規制が緩和されているため、人出はやや回復している。さらに、前年は緊急事態宣言の発出で休業、時短営業となったため、今年の売上は前年比で回復している。ただし、2019年の水準とはまだ大きな開きがある。
		百貨店(店長)	販売量の動き	・4月の後半になり、前年比での数値が下がってきた要因には、相次ぐ物価上昇による消費マインドの冷え込みが挙げられる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（販促担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置も解除になり、営業的には通常の体制に戻った。ただし、新型コロナウイルスの新規感染者数は依然として多く、身近で感染者や濃厚接触者が発生している状態に変わりはない。依然として状況は晴れず、薄曇りのような雰囲気が感じられる。先行きが不透明であるため、遠出の話題は少なく、近場や屋外で楽しむ動きが好調となっている。一方、モチベーション需要は堅調で、祖父母から孫や子供への祝い需要も例年以上に好調である。
		百貨店（外商担当）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が解除され、店舗近辺の人はかなり増えている。ただし、店舗内での購買は、食料品売場を中心に売上は好調であるが、婦人服や紳士服は低調な売上が続き、まだ本格的な回復には至っていない。その一方、富裕層を中心とした高額な宝飾品や海外ブランド品は、引き続き売れており、一部のブランドは品薄状態となっている。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況に変化はないが、ウイルスへの慣れなのか、以前のような行動の自粛は余りみられない。景気が好転するまでには至らないが、現状維持が続いている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・食料品の売上が減っている一方、衣料品は若干持ち直ししている。
		スーパー（店員）	来客数の動き	・土物野菜の価格は高いままである一方、良い天候が続いていることで、葉物野菜は値段も下がり、よく売れている。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大は落ち着いたが、新規感染者数は高止まりの傾向にある。ただし、客の行動をみると、外出や外食に対する抵抗感はかなり減少しており、内食需要は低下気味のため、夜の時間帯の売上などに影響が出ている。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・来客数は微増であるが、買上点数や単価がやや悪化しており、全体としては横ばいである。
		コンビニ（店員）	販売量の動き	・大きな変動もなく、売上は横ばいである。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が3月21日をもって解除され、本格的に活動が再開されると予想していたが、客の行動は慎重で限定的なままである。購買意欲も低調であり、来客数も新型コロナウイルス発生前の8割程度にとどまっている。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・生産の遅延が収まらない。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・来客数、成約数共に伸び悩んでいる。
		その他専門店【宝飾品】（販売担当）	お客様の様子	・催事は中止や延期もなく、予定どおり行われるようになってきている。集客状況は曜日によって差はあるものの、購入につながる比率は決して低くない。それに伴い、1人当たりの購入額は顕著な減少を免れている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・商店街の近くに桜並木があり、桜の開花とともに人通りが増えた。どの店も繁盛しているように見えたが、桜が散ると人通りも少なくなり、閑散としている。
		その他飲食【自動販売機（飲料）】（管理担当）	販売量の動き	・売上は増減を繰り返しており、安定していない。
		観光型ホテル（経営者）	販売量の動き	・当地区では4月に県民割が実施されたものの、対象エリアが広域に拡大されることはなかったため、効果は限定的であった。4月の販売量は前年比で250%であるが、新型コロナウイルス発生前の2019年との比較では約50%にとどまる。
		観光型ホテル（客室担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が収まらず、Go To Travelの再開待ちの状況である。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークも新型コロナウイルス発生前の動きには届かず、苦勞している。
		旅行代理店（店長）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が解除され、申込みがもっと増えると期待したが、ゴールデンウィークの受注も予想以上に芳しくない。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・観光振興策が全く講じられていない。政府は新型コロナウイルスの感染対策を理由として、世論の批判をかわすだけである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		タクシー運転手	お客様の様子	・配車アプリの普及により、客の乗車機会が増えたが、基本的には従来の無線配車からの置き換わりが中心である。トータルでは営業収入の増加にはつながっていない。
		観光名所（企画担当）	来客数の動き	・光が少し見え始めた感覚はあるが、今のところ変化はない。
		その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	お客様の様子	・コロナ禍の下での消費トレンドが定着しつつある。一定の来客数や売上はみられるものの、新型コロナウイルス発生前の水準には程遠い状態である。
		その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除されたが、その影響で来客数が増えたという実感はない。
		その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	販売量の動き	・部材の入荷が遅れている電機関連部品の動きが更に悪化し、工事が延期となるケースが多数出ている。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・4月に入った途端に、来客数が減少してきた。日々の寒暖の差が大きく、出足が鈍くなったこともあるが、近くの大型商業施設に多くの新店舗がオープンしたことも大きな要因である。大型商業施設周辺の車の渋滞をみていると、まん延防止等重点措置が解除され、人の移動が自由になったことが実感される。ただし、当店にとっては厳しい月となっている。
		百貨店（営業推進担当）	お客様の様子	・原材料や食材価格の高騰で、ボリューム層の消費が鈍くなっており、コロナ禍からの回復の動きも鈍化している。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・原油や原材料相場の上昇、円安やウクライナ危機による影響が、確実に食品全体の価格上昇につながっている。単価がアップした分、購買点数が減り、割安な商品に需要が向かう傾向にある。物価上昇が続くという考えが浸透し始め、確実に財布のひもが固くなり始めている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・外食や外出の動きが活発になっており、スーパーでのコロナ禍の特需は全体として落ち着きつつある。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・ガソリンを始め、食品に至るまで価格が上がっており、1人当たりの買上点数が落ちている。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・売上が前年比で90%前半となるなど、悪化傾向にある。コロナ禍に伴う需要が落ち着いてきており、競合他社との競争も厳しくなったことが主因と考えられる。
		スーパー（企画担当）	お客様の様子	・原料価格の高騰で、利益の確保がますます難しくなってくるが、これだけ世間を騒がせているコストの増加であるため、ある意味で堂々と値上げができる。ただし、競合他社の動きもあり、安易に値上がり分を転嫁できない状態である。
		スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・コロナ禍が落ち着きを見せ始め、中食から外食への回帰傾向がみられるほか、原油相場の高騰による商品価格の上昇で、買い控えの動きもみられる。
		スーパー（社員）	お客様の様子	・コロナ禍の下で堅調に推移していた売上が、今春以降は減少している店舗が多い。客の節約意識の高まりによる買上点数の減少が、大きな要因と考えられる。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・前月と比べて、今月は少し来客数が減っている。朝や昼のピーク時は相変わらず忙しくなるが、それ以外では、以前にはなかった余裕のある時間帯が増えている。周囲にコンビニも増えており、客が少しそちらに流れているようである。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・客が前年比で80%しか来店せず、平均単価も下落傾向にある。必要最低限の買物しかしないように感じられ、高額品の購入もすぐには決めず、1度帰ってじっくり考える傾向にある。
		家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・ウクライナ危機によるエネルギー不足の影響で、電気代やガス代が高騰し、食料品を中心とした生活必需品の値上げも続いている。家電などの耐久消費財では買い控えが増え、需要が抑えられている。
		家電量販店（人事担当）	来客数の動き	・4月前半は、新生活需要が前年よりも盛り上がりを見せたが、それ以降は巣籠り需要の反動減が続いている。月全体では、冷蔵庫や洗濯機などの買換え需要により、何とか前年並みの水準を保っている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店 (営業企画)	来客数の動き	・景気が悪化傾向にあり、来客数が減少するなど影響が出ている。
		乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・半導体不足やウクライナ危機の影響で、新車の生産が滞っており、海外から入荷しない状況が続いている。それに伴い、販売台数が減少している。
		その他専門店 [宝石](経営者)	お客様の様子	・円安の影響であらゆる物価が上がっており、電気やガスなどの生活必需品の価格も上がっているため、生活に大きな影響が出ている。
		その他専門店 [ガソリンスタンド](経理担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数はピークアウトしたものの、減少の動きは想定よりも緩やかであるほか、原油価格の高騰が長期化しているため、景況感はずっと3か月前よりも悪化している。
		その他専門店 [スポーツ用品](経理担当)	単価の動き	・コロナ禍やウクライナ危機の影響で、あらゆるものが値上がりしていく。給与の支給額が据置きとなるなか、消費者の間で生活防衛意識が強まっている。
		その他小売[インターネット通販](経営者)	販売量の動き	・まん延防止等重点措置は解除されたが、新型コロナウイルスに感染すると周囲に迷惑が掛かることを心配する人も多く、いまだに購買意欲は上がっていない。
		その他小売[インターネット通販](オペレーター)	販売量の動き	・受注や問合せの受電が少なく、送料の無料キャンペーンを行っているWeb購入への注文も少ない。
		タクシー運転手	販売量の動き	・まだ以前のような動きには戻っていない。無線での配車依頼や乗客数が減少しており、しばらくはこの状況が続く。
		通信会社(社員)	販売量の動き	・コロナ禍からの再生はまだまだ遠い。収入の減少が大きな要因となり、消費が全体的に戻っていない。
		通信会社(企画担当)	販売量の動き	・相談のうち、通常の商談につながる割合が60%程度に低下している。
		美容室(店長)	来客数の動き	・今月は気温がやや高く、ホワイトニング化粧品が売れたが、来客数は相変わらず少ない。
		その他住宅投資の動向を把握できる者[不動産仲介](経営者)	それ以外	・円安のほか、ウクライナ危機により経済活動が減少している。
		その他住宅[情報誌](編集者)	お客様の様子	・新築住宅価格の上昇が更に加速し、購入できる層とできない層の二極化傾向が広がっている。金利の上昇が更に表面化すれば、市況の急激な落ち込みにつながりかねない。
	×	衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・来客数が減少している。衣類はぜいたく品とみなされているのか、売れていない。
	×	家電量販店(経営者)	それ以外	・中国での主要都市のロックダウンにより、商品の入荷が遅れ、仕事にならない状態が続いている。
	×	家電量販店(店員)	販売量の動き	・メーカーからの商品供給が大幅に遅れているため、客への案内ができない。
	×	住関連専門店(店長)	それ以外	・輸入業では、燃料費や輸送コストの増加もさることながら、極端な円安の長期化で大打撃を受けている。努力によって販売価格を抑えられる範囲を既に超えている。
	×	競輪場(職員)	単価の動き	・今月の客単価は1万2052円で、3か月前の1万5644円から3600円下落した。下落幅としては、最近では見られない大きさである。
企業動向関連 (近畿)		*	*	*
		食料品製造業(営業担当)	取引先の様子	・3回目のワクチン接種を済ませた人が増えたこともあり、人の流れが増えている。新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、営業する飲食店も増え、景気が少し良くなっている。
		出版・印刷・同関連産業(企画営業担当)	受注量や販売量の動き	・各社のイベントなどの企画が実施されているため、問合せ件数が増え、受注量も増えている。
		プラスチック製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・1～2月の状況が悪過ぎたため、その比較では数字は改善している。
		金属製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・3月は新年度に向けた計画がスタートしたほか、年度末の追い上げで荷動きは活発であった。ただし、5月以降は材料価格を始め、資材価格の上昇などで動きが鈍くなることが心配される。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・問合せや受注などがやや増えている。例年、4月は閑散期であるが、今年は注文が少し多いようである。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・Web媒体、紙媒体共に、前年の広告売上を上回っている。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・条件付ながら、3年ぶりに花見が解禁になるなど、4月前半は行楽客でにぎわった。また、今年は卒業旅行も活発な動きになったようで、他府県から大阪への動きが増えている。
		繊維工業（団体職員）	受注価格や販売価格の動き	・値上げ交渉が難航している。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・電子部品の入荷が大幅に遅れているか、手に入らないようで、受注量に影響が出ている。
		化学工業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・車載用や家電、半導体向けの動きは、取引先によって好不調が分かれており、まだ模様となっている。一方、建設資材向けの動きはやや悪い。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注量や販売量の動き	・中国での上海市のロックダウンによる物流の停滞や円安が、売上に響いている。
		輸送用機械器具製造業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・制御部品の納期の延期で、受注案件に占める年度内の売上比率が例年よりも下がっている。さらに、鋼材価格の上昇分については、販売価格に転嫁しにくい。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・コロナ禍やウクライナ危機の影響で、建設資材価格の高騰や、納期の遅延が更に大きな問題となっている。特に、ウクライナ情勢は先行き不透明で、建設資材の原料調達などにも影響が出ており、建設工事の工期にも影響が広がっている。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、商品の納期が遅れる状況が続いている。
		金融業〔投資運用業〕（代表）	それ以外	・ようやく上向いてくると期待していたが、コロナ禍に加えて、ウクライナ危機が景気の足を引っ張る格好になっている。様々な業種で倒産が相次いでいることがもっと報じられなければ、身の回りに危機が迫っている実感が湧かない。
		金融業（営業担当）	それ以外	・燃料価格のほか、諸物価の上昇により、受注が伸び悩んでいる。
		経営コンサルタント	受注価格や販売価格の動き	・取引先の売上が以前の水準に戻るまでには、まだまだ時間が掛かる。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・注文や見積量が少なくなっている。
		その他非製造業〔商社〕（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・引き合いは増えているが、材料が入ってこない上に、価格の上昇による悪影響が出ている。
		食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・既存品の販売量はまだ少しずつ減少している。新製品で何とか生産量や売上を確保しているが、思ったような伸びはない。
		繊維工業（総務担当）	それ以外	・円安やウクライナ危機の影響で、原材料価格の上昇が続いており、取引先からは15%の値上げを告げられている。その一方、販売価格への転嫁はなかなか進まず、コスト高が利益の圧迫につながっている。
		化学工業（経営者）	それ以外	・円安と資源価格の高騰による影響が出ている。
		窯業・土石製品製造業（管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・円安やウクライナ危機による原油相場の高止まりで、当社も原材料価格や物流コストの値上げを要請されている。それに伴い、当社の取引先にも値上げを要請せざるを得ない状況である。現状では、値上げに対して理解が得られているが、大幅な値上げはできないため、コスト高を吸収できていない。将来的には収益の圧迫につながると予想される。
		金属製品製造業（営業担当）	取引先の様子	・業界によってばらつきはあるが、全体的に荷動きは良くない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年と比べて、今年は景気が上向いているが、幾分ブレーキが掛かっている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・仕入価格が高騰しており、販売価格への転嫁を進めているため、受注に影響が出ている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・春になり暖かくなってきたが、例年のようなりフォームなどの問合せは少ない。公共工事も今年度は発注予定が少ない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		金融業（副支店長）	取引先の様子	・コロナ禍の影響は限定的であるが、ロシアのウクライナ侵攻による原油価格の高騰などの影響が、他の消費財にも広がりそうである。飲食店などからは、消費者の財布のひもが固くなるといった声が出ている。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新年度に入ったが、交通関連の広告の動きは芳しくない。
		その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・まん延防止等重点措置が解除になり、全国的に入出が増えてきた一方、物価の上昇で買回品に対する財布のひもはかなり固くなっている。店頭でのアパレルや身の回り品の販売点数は、前年割れの状態で推移している。
	×	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先からの引き合いはあるが、ほとんどのケースで決定が先延ばしになっている。
	×	輸送業（営業所長）	それ以外	・あらゆる経費が増え続けている。燃料代や高速道路の料金を始め、全ての経費が急に上がり、採算割れの状態で仕事をせざるを得ない。前年度から中国からの輸入にも遅れが生じており、運ぶ荷物も減っている。さらに、コロナ禍以降は事務所の移転がほとんどなくなっている。
	×	不動産業（営業担当）	取引先の様子	・まん延防止等重点措置は解除されたが、アパレルなどの業態は苦しく、店舗契約の解約依頼がきている。それに伴って店舗の賃料が下がり、景気が悪くなっている。
×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・先行きが見通せない。	
雇用関連				
(近畿)		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・2～3月と連続で、2年前の派遣依頼件数を超えている。
		人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・求人が多く、求職者が選べるようになっており、いかに求職者に魅力的な仕事を提案できるかが、人材派遣会社のミッションになっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率が上昇している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・3月の新規求人数は前年比で10.7%増加した。新型コロナウイルスの影響を受けやすい運輸業や生活関連娯楽業、製造業のほか、卸売・小売業、宿泊・飲食業でも、前年と比べて求人は増加している。
		民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・投資効果が出るまでに時間の掛かる製造業でも、求人数が顕著に増加している。
		民間職業紹介機関（営業担当）	周辺企業の様子	・新卒採用市場では、23年卒の採用はまだ選考段階であり、追加募集や広報の動きは少ないが、24年卒の採用を見据えたインターンシップでは、広報活動が活発化している。インターンシップ説明会への企業の出展も積極的である。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・新年度に入っても派遣需要の動きは緩慢であり、コロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻の影響で、様々な形で景気の後退が進むことが危惧される。また、ゴールデンウィーク明けからの新型コロナウイルスの感染拡大で、景気が更に鈍化することを企業は恐れている。ただし、人材派遣に関しては、良い人材が紹介できればすぐに決まるなど、ミスマッチはみられない。
		人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・ここ3か月、求人数は堅調に推移している。
		人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・景気が良くなっている実感はないが、求人数は新型コロナウイルス発生前の水準に回復している。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・例年ほどではないが、やや悪いように感じる。
	新聞社〔求人広告〕（管理担当）	求人数の動き	・まん延防止等重点措置が解除され、コロナ禍の影響も落ち着きを見せているが、新聞での求人数に目立った動きはなく、縮小均衡の状態を保っている。国内外に不安材料が多く、どの業界も新卒採用を除き、前向きな求人が出にくい状況となっている。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・まん延防止等重点措置が解除されたが、関西の地元企業からの新聞広告の出稿意欲は低いままである。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比で11.1%の増加となり、産業別には建設業と情報通信業を除く産業で増えた。特に、まん延防止等重点措置が解除されたことで、飲食店や小売業からのフルタイムやパートの求人が増えている。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・コロナ禍による特需案件も落ち着きつつあるが、まだ派遣社員の動きは続いているため、状況は大きく変わっていない。
		学校〔大学〕（就職担当）	雇用形態の様子	・医療職や看護職を目指す人向けの奨学金募集の説明会に、多くの医療機関が参加した。医療機関によると、採用者のうち短期間で退職する人は減少傾向にあるが、特に看護職については、人手不足が顕著であると感じる。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・物価が上がり、消費者の生活は苦しくなっているが、値上げが進むことで、企業の収益は深刻な状況を免れている。
		その他雇用の動向を把握できる者	求職者数の動き	・求人は製造業を中心に持ち直している。また、まん延防止等重点措置の解除後、宿泊業ではテーマパーク周辺などで求人の動きがみられる。飲食店でも客足が戻ってきたが、従業員を絞っていたため忙しいといった声や、先行きに明るさはないが、連休に備えて求人を出し込んだといった声もある。その一方、欠員補充のみで増員に踏み切れないといった声や、花見シーズンの好調が続くかどうかは不安といった厳しい声もある。求職者の動向は、仕事量や収入の減少から、副業の希望や転職に向けた動きのほか、退職に踏み切る動きなどがみられた。一方、依然として求職活動には慎重であるが、求職の長期化もあり、有効求職者数は高止まりしている。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・中国での大都市のロックダウンや、ロシアのウクライナ侵攻の影響が徐々に大きくなっている。状況が好転する様子もなく、しばらくは今の状況が続くと予想される。
	x	-	-	-

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (中国)		都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・急拡大した新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が減少傾向になり、3回目のワクチン接種も徐々に広がっているなかで、県外への往来や飲食店の営業の制限もなくなり、駅周辺の人出も元に戻りつつある。宿泊においては、県民割の後押しもあり、平日は安定したビジネス需要、また週末は桜シーズンに伴う観光客などで高稼働を維持している。宴会においてはまだ飲食を伴う開催は積極的ではないが、6月以降の先行受注は好調である。
		タクシー運転手	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除されて客は増加している。
		競艇場（企画営業担当）	販売量の動き	・月初めのG1競走で売上が十分に確保できている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・客足が戻りつつある。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	販売量の動き	・たまたま自店では販売量が増えている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・高額ブランド商品の動きが良く、高齢者の来客数が増加している。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・前月末から今月中旬頃まで来客数が前年と比べて増えている。新型コロナウイルスの影響で苦戦していたハレの日需要やギフト需要がファミリー客を中心に高まっている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況は大幅な改善はないものの、来客数に関しては前年を超える状況で、3か月前より改善している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・1～2か月前は来客数が前年を割っていても売上は好調であったが、4月に入ると来客数も増えつつある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	販売量の動き	・食料品を中心とした値上げ基調から、客の節約志向も合わさって、ディスカウント業態は有利に進んでいる。週末や割引デーにまとめ買いをする傾向が更に強くなっており、販売点数が伸びている。
		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスに関する規制が緩くなったことで、売上が前年の98%、来客数が102%と回復しつつある。ただし、物価の上昇傾向に伴い客単価は低調である。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・2～3月は新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で来客数が減少して経営が厳しい状況であったが、4月に入り観光客、工事客、会社員といった客の来店が増えている。
		コンビニ（副地域ブロック長）	お客様の様子	・イベントの再開や観光客の増加で、週末の来客数が増加している。
		コンビニ（支店長）	来客数の動き	・行楽等で週末の来客数が増加して売上改善につながっている。
		衣料品専門店（代表）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除されてから、客足が戻り始めている。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が薄れている。
		その他専門店〔土産物〕（経営者）	来客数の動き	・県民割のクーポン利用や観光バスも動き始め、来館者数が増えている。ただし、大がかりなイベントはまだしていないので、全盛期の集客までには至っていない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	来客数の動き	・売上と来客数が増加しつつある。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染状況は依然高止まりの状況であるが、緊急事態宣言下の状況と比べれば来客数は増えている。気温が上昇するにつれ人出も多くなってきている。
		高級レストラン（事業戦略担当）	来客数の動き	・県民割の影響が出ている。
		一般レストラン（店長）	お客様の様子	・県外からの客が増えている。また、今月中旬よりサラーマンの来店頻度が高まっている。
		バー（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除され、来客数が増加している。
		観光型ホテル（副支配人）	来客数の動き	・3か月前はまん延防止等重点措置が適用されていたため、施設の休館で全く人の動きがなかったが、今月は春の観光時期となり、自治体の観光振興策も重なったので宿泊客が増えている。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・県民割の延長で稼働が上がってきている。
		都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・3か月前は新型コロナウイルス感染の第6波により、まん延防止等重点措置が適用され、宿泊はもちろん、飲食も大幅に落ち込んだ。現在、新型コロナウイルスの感染状況は高止まりしているが、法的な人流抑制策はなく、感染症対策を徹底しての一定の動きが見受けられる。
		旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・ゴールデンウィークの宿泊予約が順調に伸びている。しかし、北海道や沖縄旅行といったロング商品の販売はまだ少ない状況で、マイクロツーリズムの流れが顕著になっている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染による制限が解除され、街に人が戻りつつある。
		タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスに対する警戒感が薄れ、人の動きが活発になりつつある。
		通信会社（経理担当）	お客様の様子	・サービスエリア拡張によって、加入者数が増加傾向である。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が解除になって1か月、新型コロナウイルス感染拡大前と同水準ではないが、問合せ数や来客数は着実に増えてきている。
		通信会社（工事担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染が収まっている。
		ゴルフ場（営業担当）	お客様の様子	・予約状況は上向きであるが、光熱費や食材費が増加するので値上げをする予定であるが、それによって個人消費が落ちる懸念がある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		住宅販売会社 (営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスに関する規制が緩和傾向にあるため、人出が多くなってきている。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・当県の新型コロナウイルスに対する考え方が全く変わらず、経済は回っていない。早くいろいろな規制を解除してほしい。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が若者を中心に広がっており、感染状況が落ち着かないと景気回復はない。
		商店街(理事)	お客様の様子	・新型コロナウイルスありきの生活になりつつあり、客は買物を楽しみたい気持ちがあるものの、物価上昇が気になる様子である。
		一般小売店[洋裁附属品](経営者)	来客数の動き	・良い気候で客足は増えているが、売上は伸び悩んでいる。
		百貨店(経理担当)	販売量の動き	・高額品の売上は好調であるが、衣料品は低迷している。観光部門は回復し始め、前年売上を上回っている。
		百貨店(売場担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数は減少しつつあるが、世界情勢や相次ぐ商品の値上げなどの影響なのか、景気の回復感が全くみられない。
		百貨店(外商担当)	お客様の様子	・来客数はかなり増えているが、まだ外出や旅行は控えている客がほとんどで、購買意欲が高まっていない。
		百貨店(売場担当)	販売量の動き	・100万円の美術品やラグジュアリー商品が売れている。
		百貨店(営業企画担当)	お客様の様子	・2月は寒波と降雪により春物ファッションの売上が良くなかったが、3月以降は気温の上昇とともに回復傾向である。少しずつイベントも再開されているが、燃料の価格高騰による各種商品の値上げの春となり、今後の消費動向の悪化が考えられる。
		スーパー(店長)	来客数の動き	・来客数の前年割れが続き、売上が上向きにならない。
		スーパー(店長)	単価の動き	・客単価は前年比100.9%と3か月前とほぼ同じとなっている。週末の客単価は上昇しているが、平日は買い控え傾向にある。
		スーパー(総務担当)	単価の動き	・来客数は減少しているが、客単価は上昇している。
		家電量販店(店長)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除されても状況に変化はなく、来客数は減少したままである。
		家電量販店(企画担当)	来客数の動き	・来客数が前年の85%であり、売上も低下して景気は悪い。
		乗用車販売店(営業担当)	来客数の動き	・当社の客は定期的に来店するが、飛び込み客の来場が増えていない。
		その他専門店[布地](経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えており、街に人が出てきておらず、特に高齢者が少ない。
		一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・入学や転勤などで外食需要が高まる季節であるが、宴席を控える傾向が定着し、利用人数制限もあいまって、来客数と売上は通常時と同じ状況になっている。ランチ時間ではサラリーマンの利用頻度に変化はないが、シニア女性グループの利用が減少している。ディナータイムでは、早めの時間の利用はあるが、夜9時以降は前年の70%の来客数を保つのが限界である。休日は他の曜日より来客数の減少率が高い。
		都市型ホテル(企画担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きつつあるが、期待していたほど来客数の増加はない。特に外食については、まだ制限が掛かっている企業が多いのが、増えていない。
		旅行代理店(経営者)	来客数の動き	・そろそろ新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きそうであるが、客はまだ不安感があり、旅行ができる状況ではない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しないので、夜の客の動きが悪い。
		放送通信サービス(総務経理担当)	お客様の様子	・利用料の延滞率を観測しているが、ここ数か月は一定の水準を基本に上下している。
		美容室(経営者)	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増減を繰り返しているため、客の行動は慎重になっており、通常営業にはまだ戻れない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・コロナ禍になって、客からの引き合いが低迷したままである。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・資源価格が上昇している影響で工事費が上昇しており、見通しが厳しいため客は慎重となり、なかなか契約まで至らない。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数下がりきっておらず、見学会などのイベントを行っても来客数が伸びない。
		商店街（代表者）	単価の動き	・客は安い商品を少量しか購入しないので、売上が厳しい状況である。
		一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	来客数の動き	・ガソリン価格の高騰で買物や遠出を控える客が増えている。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークは県外からの客が前年よりは増えるが、新型コロナウイルスの新規感染者数が増えているので、地元の人々の動きは鈍くなっている。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・客単価は上昇しているが、来客数が減少している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・2～3か月前と比べ、来客数が約2%減少している。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・青果の相場高及び値上げによる1品単価上昇により、既存店売上は前年実績を辛うじて維持しているが、1人当たりの買上点数が前年を下回っている。
		スーパー（業務開発担当）	来客数の動き	・食品全てが値上がりし、客の来店頻度が低下している。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・依然として原材料価格の高騰が続いているため、夏頃に価格改定を実施予定であり、販売量が減少する。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・ウクライナ情勢の影響が懸念される。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・展示会に応援で来ている人が県外の人だと分かると、客は新型コロナウイルス感染のおそれがあると思うのが、戸惑っている様子である。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数が前年比90～95%で推移している。新型コロナウイルスの新規感染者数が増えている影響がまた出てきている。
		家電量販店（販売担当）	来客数の動き	・来客数が減っており、前年の80%程度である。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・部品供給不足や物流遅延で生産が停止するなど、売上に繋がらない。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・半導体不足で出荷が遅延しており、販売量に影響が出ている。
		乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・新車生産スケジュールが伸びているため、購入を見送る客が見受けられる。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・4月の販売量は前年比90%と大変厳しい状況である。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・値上げや品不足など、景気に良い要素は全くない。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・市内の新型コロナウイルス感染が拡大していることが要因なのか、4月中旬から来客数が前年を割っている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ランチタイムの来客数は戻りつつあるが、酒類提供がメインではないレストランなのに、ディナータイムの減少が目立つ。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・生活必需品の値上がりでサブスクリプションサービスの料金切り詰めの動きが見受けられる。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・経済情勢が不安定で給与所得の伸びがなく、将来の見通しも立たず、客は消費に慎重で反応が鈍い。
		住宅販売会社（営業所長）	来客数の動き	・原油高やウクライナ情勢に伴う物価高騰の動きを実感しつつある。資材高騰にも影響が出始める時期である。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・高齢者は行政の自粛要請やニュースの影響で外出を控える傾向であり、この年齢層をターゲットにした店舗が多いため、来客数が減少している。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・原材料価格や電気代の高騰により支出金額が抑えられている。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしており、来客数が回復しない。ウクライナ情勢の影響で物価が上昇しており、徐々に景気が悪くなっている。
	×	通信会社（広報担当）	お客様の様子	・値上げが続いているので客の購買意欲が衰えている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	美容室（経営者）	単価の動き	・まん延防止等重点措置が解除されて客足は戻りつつあるが、物価が上昇しているため客の注文が伸びず、売上が伸びない。
企業 動向 関連 (中国)		-	-	-
		繊維工業（財務担当）	受注価格や販売価格の動き	・物価が上昇しているが、客の消費行動は高まっている。
		化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・仕入価格、販売価格共に値上げが続いているが、一般的には順調に推移している。
		金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注は超勤対応を要するほど増えてきているが、短い納期が設定されているため、全てを間に合わせることは難しい状況である。
		輸送業	受注価格や販売価格の動き	・受注量が増加している。
		農林水産業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・単価が上昇することはなく販売量も少ないので、売上は横ばいである。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・高い水準を継続中の生産量に伴い、時間外労働が続いている。
		鉄鋼業（総務担当）	取引先の様子	・上海のロックダウン、半導体不足が継続しており、低調に推移している。
		鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量に目立った変化はみられない。
		非鉄金属製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・半導体不足の影響やコロナ禍により、電子材料の受注量は厳しい状況が続いている。
		一般機械器具製造業（管理担当）	取引先の様子	・生産状況の見通しや展開に不透明な部分が多い。
		輸送業（総務・人事担当）	受注量や販売量の動き	・海外向け需要は復調傾向にあるが、国内需要は低調である。
		金融業（貸付担当）	取引先の様子	・原材料の価格高騰の影響を受けており、高騰分をカバーする値上げができていない取引先が多く、収支改善に至っていない。
		金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・半導体不足などから地元完成車メーカーの国内生産は低水準が続いている。このため系列の地元部品メーカーの受注量も車種によるばらつきはあるが、おおむね新型コロナウイルス発生前の8割程度となっている。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が継続しており、受注量が増えない状況で販売量の減少も継続している。
		会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・令和4年度新規契約が予定どおりスタートし、コロナ禍での制約が徐々に緩和している。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・注文数量が3か月前より5～10%減少しており、景気の悪さが深刻化している。
		食料品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・原材料、原油、物流費、資材等の価格高騰により、4月に入って商品の値上げをしており、景気は悪くなっている。
		木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・現時点での販売状況は横ばいであるが、少しずつ原材料、輸送コストの値上げの話が出てきて、今後の販売価格への転嫁次第では業績が左右される。景気はやや悪くなっている傾向にある。
		電気機械器具製造業（総務担当）	それ以外	・中国のロックダウンが2月下旬から継続されており、上海にある子会社の操業や中国国内の取引先への販売が停止している。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・海外の影響を受け、材料の手配が難しくなっている。
		通信業（営業企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・エネルギー原材料、特に電気代の価格高騰により、データセンターコストが非常に高くなっており、販売価格への転嫁で販売量が下がる懸念がある。
		不動産業（総務担当）	それ以外	・高需要時期と比較すると、新規来客数が約30%、成約件数が約40%程度落ち込んでいる。前年比で見ると来客数が約5%減少、成約件数が約10%減少となっている。
	x	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・4月に主要客の休業が3回、延べ8日となり、猛烈な受注量減少となっている。
	x	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・建設関連資材が一律上昇している。受注価格決定から引渡しまでの期間が長い建設業はリスクが大きくなっている。また資材の納期についても変動が大きく、工期を守る上で同じくリスクが高い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
雇用 関連 (中国)		-	-	-
		人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・市内大型商業施設のオープン等で景気は上向きである。
		人材派遣会社 (支社長)	求人数の動き	・業種によって景況感が違うが、全体として求人数は増えている。
		求人情報誌製作 会社(広告担 当)	採用者数の動き	・中途採用、新卒採用共に積極的に採用活動をしている企業が目立つ。
		民間職業紹介機 関(人材紹介・ 派遣担当)	求人数の動き	・時期的に求人を受注件数が上昇しているが、競合が多いため、求人側としては求職者からの反響数が低迷している。また、求職者側の転職に求める条件として安定というキーワードが優先されるようになってい
		学校[短期大 学](進路指導 担当)	求人数の動き	・求人数が順調に伸びており、企業の新卒採用の意欲の高まりを感じる。
		人材派遣会社 (副支店長)	求職者数の動き	・希望する条件の求人数があるのか、高時給の求人に限らず求職者数が増加している。
		人材派遣会社 (経営戦略担 当)	求職者数の動き	・求職者数が回復してくる傾向がない。
		新聞社[求人広 告](担当者)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染者数の高止まりやウクライナ情勢の影響で、地域の企業は投資に対して様子見であるが、経済活動に大きな影響は見受けられず、採用意欲も引き続き高い。
		職業安定所(所 長)	求人数の動き	・ゴールデンウィークの人材確保や新規オープンのカフェのスタッフ募集で新規求人数は、宿泊業・飲食サービス業が前年同月比で2割増加となっており、求人全体でも1割増加となっている。
	職業安定所(雇 用関連担当)	求人数の動き	・3月の求人数が前年同月より3.4%増加している。2つのホテルが4月に相次いで新規オープンしているが、ゴールデンウィーク明け後の予約は低調になる可能性があり、先行きは見えない状況が続く。	
	民間職業紹介機 関(職員)	採用者数の動き	・企業の採用意欲は高く、取引先の大企業への設備投資に伴い、下請中小企業も増員で対応をしようとしている。一方で、採用の見直しや求人の取消しも一定数ある。	
	-	-	-	-
	x	-	-	-

10. 四国(地域別調査機関:四国経済連合会)

(- : 回答が存在しない、* : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)		美容室(経営 者)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置も解除され3~4月は客の動きが活発となった。ゴールデンウィーク前となり多忙となってきている。
		商店街(事務局 長)	来客数の動き	・県内では新型コロナウイルス新規感染者数が高止まりしたままではあるが、週末や日中を中心に人の往来は徐々に回復している。リベンジ消費といえる状況ではないが、ようやく長いトンネルを抜け出たと思いたい。
		商店街(代表 者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は高止まりしている感があるものの、県内観光客が増加し、県外観光客の代替となっている。歓送迎会もそこそこ戻ってきた。
		一般小売店[生 花](経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しておらず来客数は少ないままであるが、インターネットによる母の日の予約が例年になく早くから入ってきている。原油価格高騰と海外の新型コロナウイルスの影響で輸入カーネーションの入荷量が減少しており、母の日近くには売り切れが予想される。
		百貨店(企画担 当)	お客様の様子	・大規模の物産催事が好調に推移している。
		コンビニ(店 長)	販売量の動き	・来客数は前年を割り込んでいるが、売上は上回っている。
		衣料品専門店 (経営者)	単価の動き	・4月は衣料品店にとっては、春から初夏にかけての実働時期になっており、インフレ傾向のなか、単価アップもあるものの、客は購買の負担を感じていない印象であり、景気は良くなっていく。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店 (営業責任者)	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が解除され、人の往来と来客は増加傾向にある。しかし、新型コロナウイルス発生前の水準には至っておらず、まん延防止等重点措置の延長によるダメージが残っていると感じる。
		その他小売 [ショッピングセンター] (副支配人)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いてきたことにあわせ、来客数も少しずつ増加している。また、ビジネスや観光客も少しではあるが増加傾向にあると感じる。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・コロナ禍が落ち着きつつあり、急激ではないが、来客数も増加傾向にある。
		観光型旅館 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスによるまん延防止等重点措置等の規制が緩む中で来客数が回復している。
		都市型ホテル (経営者)	お客様の様子	・人の動きが良くなっている。
		旅行代理店 (営業担当)	販売量の動き	・先週より週間受注が増加している。2019年比においても100%超えている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・遍路の仕事が少しずつ増加している。夜の街の状況も新型コロナウイルス感染が拡大していたピーク時と比較すると人が戻ってきている。
		観光遊園地 (職員)	お客様の様子	・観光地周辺の人の往来が以前より多くなっている。
		スーパー (店長)	単価の動き	・来客数、客単価に大きな変化はみられない。
		スーパー (企画担当)	単価の動き	・各分野における値上げ情報がメーカーから発信され、前倒し需要により、売上は好調に推移している。
		コンビニ (商品担当)	それ以外	・コロナ禍に対する規制が緩和され、人流が増えつつあるが、電気、燃料、原材料の価格高騰もあり店舗運営に大きく影響している。
		コンビニ (総務)	来客数の動き	・コロナ禍の状況に一進一退を繰り返しており、新規感染者数が減少していない現状において少なくとも上向きではない。
		家電量販店 (副店長)	販売量の動き	・家電についても物価の上昇により値上げ商品はあるが、売上への影響はみられない。逆に部品不足による入荷未定商品が増えチャンスロスが出始めている。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・今月の受注状況は前年並みの推移であるが、登録台数は生産台数の遅れにより、前年比の8割程度で推移している。
		乗用車販売店 (役員)	販売量の動き	・当社の業績はメーカーの生産状況に大きく影響を受けるため、生産状況が改善すれば好転する。
		タクシー運転手	お客様の様子	・現状においては前年と比べ変わらない。昨年同様まん延防止等重点措置後は昼夜とも人の往来は少ない。
		通信会社 (営業部長)	販売量の動き	・4月に入り販売量も落ち着き始め、落ち込む様子が見受けられず堅調である。
		通信会社 (社員)	販売量の動き	・サービスの訪問販売営業の獲得件数については、数か月前と同等で推移している。
		美容室 (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスに対する考え方に個人差はあるが、落ち着きつつある。
		商店街 (代表者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症及びウクライナ情勢等の不安定要素があり客の消費活動が抑えられているなか、ガソリン価格の高騰と生活用品の値上げも重なり消費活動が更に消極的に向かっているように感じる。レジャー産業が中心ということもあり厳しい状況が続いている。
		商店街 (代表者)	単価の動き	・新型コロナウイルス及びウクライナ情勢と時代が変革する事案が継続しているなか、生活用品とガソリン価格の高騰、特に電力料金は営業活動にも大きく影響する。零細企業は節電可能であるが大型店や量販店は厳しい状況になる。
		一般小売店 [書籍] (営業担当)	販売量の動き	・教科書の外商売上がマイナスとなっている。高校や大学においては生徒数が減少しており、売上の減少につながった。
		スーパー (人事)	それ以外	・商品の値上げが増加しているなか、単価自体は上昇基調にある。それにより点数は前年を下回る要素が多く、来客数については、コロナ禍以降、前年を上回るということ自体が難しく、総合的に見た売上はやや下落している。
		スーパー (財務担当)	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が解除され、外食に戻りつつある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（統括担当）	それ以外	・需要のある商品が変わってきている。具体的には、菓子、果物関係のし好品が売れなくなってきており節約が始まっている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染者が一向に減少傾向にならない影響もあるのか、来客数は回復していない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・4月に入り新型コロナウイルスの感染再拡大により、来客数が減少した。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・各部門ともに販売数減少がみられる。
		乗用車販売業（営業担当）	販売量の動き	・半導体不足と法規対応により、自動車の生産調整があり、発注できず厳しい。
		競輪競馬（マネージャー）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染の勢いがとどまることなく、新規感染者数が高止まりで推移し、感染力の高い株への変異も頻繁に続いている。このため、娯楽遊行者の人出も控えめな状況であり、ネット利用の客が増加傾向にあることから来客数は低調である。
		設計事務所（所長）	それ以外	・飲食、金融関係者の話として、依然として飲食店には客が戻っておらず、限界が近づいている。
	x	*	*	*
企業 動向 関連 (四国)		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年末から小売店の店頭販売が活発になり、年明け以降も順調に推移してきた。こうしたなかで、昨秋以来、原材料である綿糸価格が1.5倍～2倍近くに高騰し、その他染色加工賃等も値上げとなったため、4月1日から小売価格を15～20%値上げするとしたことから、3月はその仮需要で注文が大幅に増加した。4月については、商品価格が上昇したが、街に人出が増えた関係か、小売店からの発注が活発である。
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・前々年来、公共事業の受発注量が堅調に推移しており、本業は悪くなかった。景況感を低下させていたのは、新型コロナウイルス感染症拡大及びその対応策としての自粛や規制、そして精神的な閉塞感であった。それがここに至って、コロナ慣れや重症化リスク低下により、業界内並びに公私とも活動が活性化している。研修、親睦、営業、業界・経済団体やボランティア活動などの活動が再開されることによるプラス効果が生まれてきている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事はないが、民間工事を2件受注。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数は減少していないが、世間の雰囲気明らかに変わり好ましい状況。
		通信業（総務担当）	それ以外	・まん延防止等重点措置の解除に伴い、社外イベント等も新型コロナウイルス感染症対策に留意しながら再開しつつある。
		農林水産業（職員）	受注価格や販売価格の動き	・青果物の卸売価格は、本県で生産されていないじゃが芋、玉ねぎ等は作況不良から例年と比べ高値推移しているが、本県で生産の多い果菜類は、低調な荷動きが続いている。コロナ禍の規制が解除されたゴールデンウィーク前の販売は、前年よりは少し荷動きがよいが、新型コロナウイルス発生前との比較では、厳しい状況が続いている。
		鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・受注量は回復傾向にあるものの、資材価格、特に主要材料のスクラップ価格の高騰が続いており、採算面は悪化傾向。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・先進国を中心としたワクチン接種の進展により、経済活動が再開され、景気は回復基調が続いているものの、世界的な半導体不足による調達環境の悪化、原材料価格の高騰に加え、ウクライナ問題や中国におけるロックダウンなど、足元では先行き不透明感が深まっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・バイオマス発電の引き合いが減少している。
		輸送業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・燃料油価格の高騰が長期化するなか、運賃料金値上げに向けた動きが活発化している。また取引先からも運賃料金の値上げ要請の動きが顕著になりつつある。
		輸送業（経理）	受注量や販売量の動き	・国内においての出荷数量は低水準のままではあるが、海外への出荷量については東南アジア向けに新規輸送があり増加傾向である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		木材木製品製造業（営業部長）	受注価格や販売価格の動き	・新型コロナウイルス及びウクライナ情勢の影響を受け原料価格の上昇が止まらない。販売価格改定交渉を行っているが、原料価格上昇の伸びが早すぎて対応が追いつかない。今後原料の供給も含め不安な状態。
		通信業（企画・売上管理）	受注量や販売量の動き	・4月以降受注量が鈍化。
		金融業（副支店長）	受注価格や販売価格の動き	・製造業において原材料の高騰を受けた仕入価格の上昇を販売価格に十分転嫁しきれていない。
		税理士事務所	取引先の様子	・ウクライナ情勢により物価が高騰し経費がかさんでいるが、売上は伸びていない。
	x	化学工業（所長）	それ以外	・ウクライナ情勢による悪影響がますます拡大している。
雇用 関連 (四国)		-	-	-
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・当県内においても、ビジネスプロセスアウトソーシングが増加しており、オペレーターの需要が増加している。
		人材派遣会社（営業）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況は高止まりではあるものの、市場は感染回避行動を徹底しながら規制緩和の傾向。これまで人員体制を抑えていた公共施設、飲食店、宿泊施設などゴールデンウィークに向け求人確保に奔走する現状である。県下宿泊予約はどこも満室となるなど、一気に景気は回復している兆しがうかがえる。
		職業安定所（求人開発）	それ以外	・感染者は高止まりしているが、3回目のワクチン接種が進み、これまで控えられてきた、宿泊、飲食、サービス、娯楽業などに回復の兆しがみえる。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・県内の有効求人倍率も上昇傾向であり、求人数も上昇している。
		*	*	*
		求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・当県では、4月以降の感染拡大を受け、経済の停滞が続いている。飲食、宿泊業界においては、3月に1度回復傾向にあったものの感染拡大により宴会、宿泊の自粛、キャンセルが相次ぎ景気は停滞している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスに加えて、各種原材料の価格高騰など、一般企業にあっては好材料がない。
	x	-	-	-

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (九州)		一般小売店〔精肉〕（店員）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が解除されたことにより、飲食店向けの販売量が増加している。
		衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・今まで旅行等の行動を抑制していたため、外出も増え始め、衣服の購入も増加し始めている。
		住関連専門店（従業員）	単価の動き	・例年であれば、4月は気候が暖くなり、需要が高価格帯の秋冬寝具から安価な春夏寝具に移行する。しかし今月は、日中も肌寒い気候が続いているために、秋冬寝具の需要があり、平均単価が高い。
		観光型ホテル（総務）	販売量の動き	・新型コロナウイルス第6波によるまん延防止等重点措置が解除され、ホテル館内のレストランの売上が回復している。宿泊客も県や市の助成事業に後押しされ、稼働率が上がっている。新規感染者数は高止まりしているにもかかわらず、人の動きは以前とは明らかに違って活発である。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株新規感染者数の減少により、客自身の感染や感染症対策を理由としたサービスのキャンセルが大きく減少した。その結果、利用者数の伸びにつながっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が徐々に回復基調となり、客単価も前年の20%増加している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況にも対応が慣れているため、影響が少なくなっている。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が解除されたため、商店街に人通りが徐々に増加しており、にぎわいを取り戻しつつある。しかし、購買行動には活発さが見受けられない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		商店街（代表者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたことによるまん延防止等重点措置の解除が大きく影響し、人の動きが良くなったことで、客と売上が増加している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除になり、また、地域によって天候も大きく変わり不安定であるが、人通りは増加している。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・4月には通常、卒業式や退職等が終わり閑散期になるが、入学式や開店等の祝いの花の需要が多くあり、4月の売上としては良い状況である。
		百貨店（企画担当）	お客様の様子	・旅行者が増え、友人同士や家族連れでの来店が多くみられるようになっている。
		百貨店（経理担当）	競争相手の様子	・市内大型店4店の4月上見通しは前年比110.3%で、3か月前の売上の前年比は123.6%と比較すると全般的に回復傾向がみられる。特に、食品催事の来客数増加につながっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス対策の行動制限が緩和され、人の動きが前月から徐々に良くなっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる外出自粛の影響で下がり続けていた来客数が、前年に追い付いてきた。新型コロナウイルス発生前の水準には程遠いが、若干明るい兆しがみえ始め、日配品の好調さが続いている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスへの過剰自粛ムードが薄れ、新型コロナウイルス発生前に戻りつつある。事業所も出勤者が戻り、朝食や昼食需要は微増ではあるが回復傾向になっている。また、日祝日のイベントへの人流も増え、行楽型のドリンクや菓子類も回復している。在宅ニーズの特需は減少したことで、夜帯の来客数や売上は減少しているが、トータルではやや良くなっている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・ホテルの宿泊客数が安定していたときの来客数に戻ってきている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・コロナ禍であるため、客の動きが少なく、売上が余り上がらない。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・全体的に商品の売上はあり、やや良い状況であるが、特に冷蔵庫の単価は若干高くなっている。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・若干ではあるが、動きが良くなっているが、また下がっていく可能性もあるため危惧している。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	来客数の動き	・ここ2～3か月来客数が増加しており、今月は前年と比較すると上回っている。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	お客様の様子	・3か月前は、第6波により商況が悪化していたタイミングだったが、3月7日にまん延防止等重点措置が解除されたこともあり、景気は改善している。一方で、完全に回復したというよりは、まだ商圈の消費者動向としても状況次第という傾向が強い。自粛マインドの緩みはあるが、嗜好品への支出に対しては、まだ厳しい状況である。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	来客数の動き	・コロナ禍ではあるが、まん延防止等重点措置が解除されたため、人流は良くなっている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除になり、少しずつではあるが、来客数は増加している。新型コロナウイルスの新規感染者数の高止まりが続いており、外出自粛傾向で新型コロナウイルス発生前の活気には至っていないが、国や自治体の補助事業により景気は良くなりつつある。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・3月中旬に、まん延防止等重点措置に伴う休業要請が終わり、通常営業に戻った4月前半には、平常時の月間来客数に達することが期待できた。しかし、中旬から来客数は減少傾向に転じたため、新型コロナウイルス発生前の売上には届かなかった。
		その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が解除となることで外食する人が多くなり、販売量も回復傾向にある。新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向であるため油断はできないが、今後減少すると更に良くなる。県民割などの施策による効果が出ている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		観光型ホテル (専務)	来客数の動き	・景気状況は、まん延防止等重点措置が適用されるとキャンセルが発生するなど、新型コロナウイルスの感染状況に左右されるため、全く予想が付かない。家族連れの客は、休前日に集中して多いが、平日はまだ空室がある。
		都市型ホテル (販売担当)	来客数の動き	・稼働率は上がっているが、客室の平均単価は低く、売上が足りていない。
		都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・新型コロナウイルスが一段落し、まん延防止等重点措置も解除されてはいるが、人の動きが少なく宿泊稼働率は芳しくない。宴席もまだ復調には至っていない。
		旅行代理店(職員)	来客数の動き	・予約が3か月前と比較して約3倍に増加している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が高止まりしているとはいえ、まん延防止等重点措置が解除され、人流は戻りつつある。夜の繁華街はかなり活気を取り戻し、イベントも開催されるようになっており、売上も新型コロナウイルス発生前に近づいている。
		学習塾(従業員)	お客様の様子	・外出する家庭が増加している。
		住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除され、商店街等の人出が確実に増加している。特に、若年層が増えており、景気は少し良くなっている。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・ゴールデンウィークに入り、郊外や観光地等は増加している。一方で、まん延防止等重点措置は解除されているものの、商店街への人流がないため、来店も少ない。
		一般小売店[食料雑貨](店員)	販売量の動き	・まん延防止等重点措置の解除後の景況感回復に期待したが、新規感染者数の高止まりから飲食店への人の流れが少なく、受注額が伸びない。
		百貨店(企画担当)	来客数の動き	・来客数は前年の新型コロナウイルス第4波の時期と同水準で推移し、足踏み状態が続いている。特に若年層の新規感染者数が多いため、子供を中心としたファミリー層の入店が苦戦している。一方、物産催事等は旅行自粛の影響もあり、比較的順調に推移している。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・同地域における新規商業施設の開業効果や、感染症対策を実施した物産催事の開催効果により、客の関心が高まったことで、催事場への来場が増加し平日の来客数が伸びている。しかし、新型コロナウイルス新規感染者数の再増加による回復の鈍化を危惧している。平日午前の来客数は横ばいを維持しているが、土日祝と午後の来客数が減少しており、全店で開催する催事やクレジット催事はにぎわったものの、午前だけの来店や目的買いの来店が多く、店内の回遊による購買の波及効果が少ない。交通機関の利用は減少し、店舗周辺で買物待ちの路上駐車は多い。オンライン利用や県下のサテライトショップ、ギフトショップ利用は堅調である。遠出ししない人が多いため、地元店舗での購買も伸びている。しかし、感染症対策のための外出自粛は継続している。
		百貨店(業務担当)	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が解除されたため人出も多くなっているが、新型コロナウイルス発生前を基準にすると7割ほどの動きである。不要不急の物品は購入せず、生活必需品のみを購入する人が多い。また、外出自粛も定着しているため、以前のような動きに戻るにはかなり時間が必要である。
		スーパー(経理担当)	販売量の動き	・4月になり、様々な食品の値上げやウクライナ侵攻での海産物や小麦関係の先行き不安感はあるが、今のところ大きな影響はない。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・通常、週末は来客数が少ない傾向にあるが、近頃では家族連れが多く来店し、1~2割上昇した状況が続いている。
		コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルス対策による行動規制が解除されても、来客数は厳しい状況である。値上げの情報も影響している。
		コンビニ(店長)	販売量の動き	・ロシアのウクライナへの軍事侵攻による影響で値上げが続き、販売が落ち始めている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（エリア担当・店長）	販売量の動き	・曜日によって若干差があり、前年よりは来客数が悪かったり、客単価が高かったりしているが、全体的には前年並みの売上につながっている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、相変わらず客足が鈍い。
		衣料品専門店（取締役）	お客様の様子	・1月は寒い時期でもあり、またコロナ禍でもあるため、人通りが余りない様子であった。4月に入り暖かくなったことで来店が増えているものの、挨拶程度で売上につながらない状況である。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・メーカーの新車生産が一向に改善しない。改善どころか長納期の車種が更に増えており、納車待ちの客に対するコストが増加し、販売店は大変困っている。
		住関連専門店（経営者）	それ以外	・まん延防止等重点措置が解除され、店舗の来客数は増加しているが、都市部でのキャンペーンは減少している。売上の状況としては、前月同様下見していた客が、購入決定のため来店するケースが多くなっている。
		タクシー運転手	それ以外	・ゴールデンウィーク前で、大型商業施設の開業など集客に関する明るいニュースはあるが、ウクライナ情勢の影響で、燃料やエネルギーの価格が上昇し始めている。このことが消費行動にどのような影響を与えるのか想像ができない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・乗客数が増加しかけていたが、再度の新型コロナウイルスの感染拡大のため、乗客数が足踏みしている。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・光回線エリアの拡大が寄与し、販売量が増えている。
		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・ウィズコロナが定着しており、新型コロナウイルス発生前には及ばないものの、人の動きが出てきた。
		通信会社（統括者）	販売量の動き	・携帯電話の販売台数は、前年と比較するとやや下回るが、出張イベントの開催等により他社からの契約変更が増加しており、事業者からの支援金獲得も期待している。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・徐々に暖かくなっているため、景気が回復してくると予想されるが、業界の動きは余り出ていないのが現実である。自粛生活に慣れてしまい動きがなく、おしゃれシーズンではあるが、関心が薄れている。
		美容室（店長）	お客様の様子	・固定の客は戻ってきてはいるが、結婚式や卒業、入学等による着物の着付けの客は減少している。
		その他サービスの動向を把握できる者（所長）	それ以外	・客先の状況は当面、高操業ではあるが、新型コロナウイルスやウクライナ情勢の影響を受けた原料高や物価高で相殺されている。
		設計事務所（代表）	来客数の動き	・円安や原材料費高騰の影響が継続する。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・円安が進んでおり、固定金利が一部上昇傾向にあるため、住宅ローンの金利動向を気にする客が徐々に増えている。
		一般小売店〔青果〕（店長）	それ以外	・販売量や単価に関連して、当地の中央市場のピーマンや県外からのレタスは、連休前より相場がかなり安くなっている。物が動いておらず、売上や単価も低くなっている。加えて、来客数も減少しており、厳しい状況にある。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	お客様の様子	・市場の火災による影響で売上が悪くなっている。魚の漁獲量も少なく、思うように商売ができず、良い展望がみえない状態である。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、周辺は従来とは別の店舗に様変わりしている。人の動きも変わり、売上は新型コロナウイルス発生前と比較して半減しており、元の売上に戻すことも難しくなっている。物品の購入方法も変わり、多くの人インターネット等の通販で購入しているが、今から金を掛けてインターネット通販に切替えるのも難しい。飲食店は、まん延防止等重点措置も解除され通常の状況に戻ってきている。しかし、飲食店以外の小売店は、今も厳しい状況である。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・ウクライナ情勢による原油価格の高騰や原材料値上げに伴う商品値上げの影響が出ており、来客数減少や買上点数の落ち込みが続き、厳しい状況が継続している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	販売量の動き	・全体的に販売量が低下し、厳しい状況下である。主な要因としては、新型コロナウイルスの新規感染者数の減少による外出の増加と、原料の価格高騰による商品価格の上昇である。また、別の要因として、ウクライナ戦争による経済環境の悪化等が考えられる。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスに関する対策が落ち着き、感染者が出て重症化しない環境となったことで、巣籠り需要は減少している。食品を始めとした値上げラッシュに対する消費者の価格選好がより強く出ているため、一部ディスカウント店に客足が向いている状況である。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・コロナ禍の影響で景気が下向きになると予測していたが、このところの急激な円安等のため物価高への不安感が募り、販売数量が落ちている。今後もこの状況が続くと想定すると、販売数量の増加は望めず、徐々に下向きに推移していく。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が他県より増加傾向にあり、地域で人が集まるショッピングモール内の店舗であるため、明らかに客足へ悪影響を及ぼしている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・納期が長期化しており、客に納車を待ってもらっている状態である。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月は前月より予約数が増加しているが、まだ新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かないため、感染防止で予約のキャンセルが出ており、景気が上向きになる状況ではない。
		通信会社（業務担当）	単価の動き	・代理店の上位店から、来月より単価の下落という通達が届いている。大幅に下がる予想のため、今後の売上に影響が出てくる。新型コロナウイルスの影響が原因ではなく、半導体不足やウクライナ紛争による価格上昇が原因であり、今後単価が戻る見込みは不確定である。
		ゴルフ場（従業員）	それ以外	・来場者数は比較的良好な数字になっているが、県内の景気を考慮すると値上げが難しい状況である。一方、原油高や円安はしばらく続くことが予想されるため、経費は増加し徐々に悪くなっている。
		競馬場（職員）	単価の動き	・物価上昇が消費に影響を与えつつある。
		理容室（経営者）	来客数の動き	・4月から就職、進学、転勤により来客数が減少し、新規の客が増えるまでには時間が掛かるため、前年と比較すると非常に良くない状態である。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・やっとまん延防止等重点措置が解除され、ゴールデンウィークに入ったため、若干売上が良くなっている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・今月後半に商店街が火災に遭い、商店の入口を封鎖されているため、客が来店できない状況である。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・今までに前例のないほどに来客数が減少しており、当市民はコロナ禍の状況に対して敏感である。
	×	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・一時売上が良くなる兆しはあったが、新型コロナウイルスの新規感染者数が急に増加したため、人の動きが減少している。来客数も少ない状態のままゴールデンウィークを迎えることができるのか心配である。
	×	設計事務所（所長）	単価の動き	・建物の新築や改修は、材料や製品単価が3～4割上昇しており、製品の入手困難等が続いている。ただし、業務の対価は上昇していない。
企業動向関連 (九州)		-	-	-
		農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現在コロナ禍であるが、4月の計画対比は100%達成できそうである。不振であった外食部門では、様々な工夫をしながら客の戻りを図り、少しずつ景気が戻っている。量販店では、一頃の勢いはないが安定した需要になっている。冷凍食品メーカーは、従来と変わらず引き合いが強い。その要因としては、特に輸入とり肉が高騰しているためである。
		農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・アスパラガスは端境期に突入したため単価が上昇し、ニンジン、レタス、ブロッコリーの価格は月末にかけて上がっている。一方、なす、だいこん、白菜等は価格が低迷している。
		電気機械器具製造業（取締役）	取引先の様子	・車載関連を含む半導体設備や検査の引き合いがあり、設備や人的リソース等の条件が合えば引き合いは増えていく状況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・半導体関連客からの受注が継続して好調である。
		その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	取引先の様子	・金属相場の価格が上昇しているが、景気に余り影響していない。生産量が徐々に回復しており、需要はあるが、生産が追い付いていない状況である。
		広告代理店（役員）	受注量や販売量の動き	・客からの受注量や競合プレゼン件数が徐々に増えている。
		経営コンサルタント（代表取締役）	受注量や販売量の動き	・受注金額や件数共に伸びており、企業が人材投資に積極的になっている。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・輸出先の状況がなかなか把握できず、受注量が不安定である。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・海外からの原料入荷遅延と、船舶費用の高騰が続いている。原価の上昇を販売価格へ転嫁しているため受注量が減少気味である。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・ロシアのウクライナ侵攻問題等で原材料費の値上がりが目立つが、新型コロナウイルスの影響がやや和らいでおり、百貨店やスーパーマーケットの売上に改善の動きがみられる。一方、半導体の供給不足等もあり、乗用車の生産や販売が伸び悩んでいる。
		金融業（営業）	取引先の様子	・景気は低水準で推移している。新型コロナウイルスによる行動制限が緩和され、消費には少なくともプラス要因と考える。しかし、多くの人が自粛を継続しており、消費が活発に転じたとはいえない。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしており、飲食店の客の戻りは力強さに欠ける。一方、ホテル等の宿泊施設の稼働状況は、緩やかながらも回復の兆しがみられる。また、一部では、マンション建設が活発化している。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・まん延防止等重点措置が解除され、サービス業では利用客が戻ってきているが、資源や素材価格の高騰で取引先企業の収益力の低下も見受けられる。また、自動車業界にとどまらず、他の業界でも部品・材料不足による供給制約が発生している。
		経営コンサルタント（社員）	受注量や販売量の動き	・コロナ禍の生活に慣れ、早く家に帰ることが習慣になり、外食が減少している。
		経営コンサルタント（社員）	競争相手の様子	・同業の会合が4月初旬に行われたが、皆、共通して新しい動きや取組に積極性がみられない。
		その他サービス業〔物品リース〕（職員）	取引先の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数は下げ止まり傾向にあり、3か月前と比較して大きな変動はみられない。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・原料不足の影響で販売機会を逃している。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月に入り、売上や受注の落ち込みがひどい。新型コロナウイルスやウクライナ情勢で流通関係は混乱していると予想している。29日のイベントは雨のため、来場が少ない状況である。
		金属製品製造業（事業統括）	受注量や販売量の動き	・製品の部品不足は深刻で、納期が間に合わない状態である。また、当社以外のメーカーも案件自体の納期延期により、受注残は増加傾向にあり、売上が立たない状況である。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・電気料金や食品、木材の値上げなど、消費者にとってマイナスばかりである。コロナ禍で厳しかった輸入業者にとっては、円安で輸入品が大きな影響を受け、追い打ちを掛ける状況となり経済が回復していない。
		輸送業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・原油高やウクライナ情勢、上海ロックダウンの影響などで、各業界から値上げ要請があり、状況は厳しくなっている。新しい生活様式になり、物量は回復しているものの、節約による消費減少が見込まれる。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数はまだ減少傾向がみえない状況である。また、ロシアによるウクライナ侵攻により物価が上がり、製造業を始め各業種で仕入価格の高騰を販売価格へ転嫁しにくい状況になっており、商い自体が活発ではない。そのため、3か月前と比較して悪くなっている。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・取引先や他の企業の多くは、利益が減少傾向にある。
		新聞社〔広告〕（担当者）	受注価格や販売価格の動き	・旅行や観光の広告出稿の動きが鈍い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		広告代理店（従業員）	それ以外	・ワクチン接種により新型コロナウイルスの重症化が抑制され、通常の社会生活に移行しつつあると実感している。しかし、2月24日のロシアのウクライナ侵攻により、エネルギーと穀物等の価格が高騰し、景気は若干悪くなっている。
	x	繊維工業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・電気代や資材の価格が急激に上昇している。今の工賃は、最低賃金の上昇を辛うじて乗り切れるラインで、工賃の上昇が危惧される。
	x	建設業（社員）	受注量や販売量の動き	・市役所から4年度の発注予定の公表があり、ある程度の不安の解消になっているが、実際に発注されるまでは心配である。県の発注予定は、例年5月末に公表があり、それまでは自社の社員や作業員を遊ばせないように、今できる仕事を実施して現状をしのぐ計画である。
雇用 関連 (九州)		-	-	-
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況に応じた対応で、イベント案件が増えている。
		人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・中心市街地の仕事でもエントリーの問合せが少なく、案内に時間が掛かる。そのため、求職者数が仕事を選ぶ余裕が出ている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・例年、第4四半期の求人の動きは活発であるが、今年は年初から新型コロナウイルスの影響があり、動きが鈍化している。まん延防止等重点措置が解除されているが、積極的ではない。ゴールデンウィークを控え、少し活性化すると期待していたが、期待外れとなっている。
		新聞社〔求人広告〕（社員）	周辺企業の様子	・3か月前はまん延防止等重点措置が適用されていたが、その頃と比べると新聞広告の量は上向きになっている。3月から、旅行や宿泊施設関係の新聞広告の出稿が回復しつつあり、それは今も続いている。近距離の旅行への補助である県民割等はスタートしたが、政府による新キャンペーンの開始までは、広告は回復しないという見方もあっただけに、うれしい誤算である。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・コロナ禍で採用抑制が続いていたが、当市でも求人数が増えている。学生の採用活動の早期化もあるが、現時点の大学4年生の内定状況も良い。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数が約2割減少しており、派遣登録を希望するスタッフ数も約3割落ち込んでいる。求人を出しても反応がない状態である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は高水準で推移しているが、求職者にその実感はない状態である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大の影響で、求職者数の減少が継続している。一方、求人数は前年比で増加が続いており、有効求人倍率も4か月連続で増加傾向にある。
		学校〔大学〕（就職支援業務）	求人数の動き	・2023年卒業の求人数は、前年との比較では増加しており、企業の採用意欲も高くなっている。また、内定を得ている学生も増加している。現在のウクライナ情勢が長引けば、日本経済も大きな打撃を受け、企業の求人にも影響が出るのではないかと心配している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・ここ数か月、家計をチェックしており、特に電気やガス等の光熱費とガソリンや灯油の燃料費が高くなっている。収入が増加しないため、生活関連費の値上げが続き、景気にはとても悪い影響である。
	x	-	-	-

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況がまだまだ多い地域であるが、消費マインドは高いとみられ、衣料品や服飾雑貨の動向が前年と比べ良くなっている。
		コンビニ（副店長）	来客数の動き	・前月後半より来客数も増え、日販金額もかなり回復してきている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・来客数が増えて人の動きが活発になって、客単価や1人当たりの買上数量が上がっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・ゴールデンウィークも制限なしで行われるなど、国民が新型コロナウイルスに慣れてきたせいがあるかもしれない。
		その他専門店 [陶器](製造)	来客数の動き	・道を歩く観光客が増えている。表情も明るくなっている。
		その他飲食[居酒屋] (経営者)	お客様の様子	・地元客は上から会食自粛を言い渡されているので、ビジネス街ではほとんど見掛けないが、観光客が増え始めており、徐々に予約が入り始めている。
		観光型ホテル (代表取締役)	来客数の動き	・最低だった1~2月と比べて宿泊客数は増えている。ただし、2019年比40%程度である。料飲部門は、昼食や会議は増えているが、宴会はほぼゼロである。
		観光名所(職員)	来客数の動き	・ゴールデンウィークは良い。
		住宅販売会社 (役員)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除され、住宅売買の問合せや内覧者も徐々に増えつつあり、成約件数もある程度見込めそうである。
		旅行代理店(マネージャー)	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が解除され約1か月、新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりして、なかなか需要が伸びずゴールデンウィークの予約もかなり低調である。
		住宅販売会社 (代表取締役)	お客様の様子	・投資、住宅建築に関する相談件数が減少傾向にある。また、金融機関の融資スタンスが厳しくなっている。
		スーパー(企画担当)	来客数の動き	・来客数は下げ止まりの状態にあるが、コロナ禍で節約志向が強まった影響で客単価が落ちており、厳しい状況である。
		観光型ホテル (企画担当)	販売量の動き	・ホテルの1月の販売室数が前年比36%増加なのに対し、4月の販売室数は前年比1%増加とプラス幅が小さくなっている。
		通信会社(営業担当)	来客数の動き	・沖縄県の新型コロナウイルス新規感染者数が下がる気配がないことも関連しているのか、来客数が前年の70%となっており厳しい状況である。
		x	商店街(代表者)	来客数の動き
	x	スーパー(販売企画)	来客数の動き	・引き続き来客数減少による厳しい状況が続いている。
企業 動向 関連 (沖縄)		食料品製造業 (役員)	受注量や販売量の動き	・沖縄を舞台にしたドラマの放映開始もあり、沖縄そば具材の売上が好調である。新規の問合せも増加している。
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・契約の兆しがやっとみえてきている。
		輸送業(経営企画室)	それ以外	・新型コロナウイルスの感染者は3か月前と比べ増加傾向にはあるが特に規制等はなく、経済活動は止まっていない。外食業界、観光業界も物量にさほど変化はなく維持している。
		窯業土石業(取締役)	受注価格や販売価格の動き	・受注、生産とも大きな変化はないが、原材料の価格高騰の影響で利益率が低下している。
		会計事務所(所長)	それ以外	・ウクライナ情勢、コロナ禍による物流停滞で、物品のコスト上昇分が所得ではカバーできない人が増えている。
	x	-	-	-
雇用 関連 (沖縄)		学校[専門学校] (就職担当)	求人数の動き	・大手企業を中心に各企業の新卒採用が始まっており、多くの求人が届いている。初めての企業からのアプローチもあり、需要の高さを実感している。
		人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・派遣依頼が前月まで停滞していたが、中旬から動き出してきている。新規依頼や既存客の増員の依頼も増えている。
		人材派遣会社 (総務担当)	求人数の動き	・求人案件が増加傾向にある。新型コロナウイルス関係も新型コロナウイルス新規感染者数が減少しない限り、延長傾向にある。
		求人情報誌製作 会社(営業)	求人数の動き	・3か月前と比較し、求人数は約10%増加している。当初は減少と見込んでいたが、接客、サービス系における求人数の増加が3か月前の予測を上回り、その結果が増加分といえる。3年ぶりに何の制限もないゴールデンウィークとなるため、マンパワー確保への採用意欲と推測している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の増加を受けても、求人数の減少は見受けられない。
		*	*	*
		-	-	-
	x	-	-	-